

資料 1

平成 26 年度 仕事と家庭の両立に関する実態把握のための調査
調査結果概要（介護開始時雇用者限定）

2015年6月26日
(株) 三菱総合研究所

目次

1. 調査の実施体制	1
2. 調査の概要	1
(1) 労働者調査	1
1) 調査方法	1
2) 調査対象	1
3) 調査期間	1
4) 有効回答数	1
(2) 企業調査	1
1) 調査方法	1
2) 調査対象	1
3) 調査期間	1
4) 有効回答数	1
3. 主な調査結果	2
(1) 労働者調査	2
1) 集計対象	2
2) 介護期間別集計対象について	2
3) 介護状況について	3
① 介護を必要とするようになった原因	3
② 介護期間	3
③ 在宅介護の有無	5
④ 要介護者の日常生活について	6
⑤ 介護の頻度	7
⑥ 他の介護担い手の有無	8
⑦ 介護の終了	9
4) 介護と仕事の両立支援制度	10
① 介護を始めた当時の勤務先の仕事と介護の両立支策	10
② 介護休業制度の概況	10
③ 介護休暇制度の概況	12
5) 仕事と介護の両立状況（必要性和実績）	13
① 介護離職の状況	13
② 両立支援制度の利用状況	15
③ 介護のための連続した休みに関する状況	46
④ 介護のために必要な連続した休みの日数と実際に取得した日数（介護期間別）	54
⑤ 介護のために休みを取得する際に活用した制度【介護のために連続した期間仕事を休んだ場合のみ】	55
⑥ 介護のために休みを取得した理由【介護のために連続した期間仕事を休んだ場合のみ】	56
⑦ 介護のために取得した休みに行った活動【介護のために連続した期間仕事を休んだ場合のみ】	57
⑧ 介護のための年間休暇・休日日数	58
(2) 企業調査	59
1) 社員の介護状況	59
① 介護実施者の状況	59
② 介護離職の状況	59
2) 課題認識	60
① 経営への影響	60

②	影響の内容	60
3)	介護休業	61
①	対象要介護者の範囲	62
②	要介護状態の判断	62
③	用途の説明	62
④	介護休業最長限度	63
⑤	介護休業分割取得	63
⑥	介護休業所得保障	64
⑦	介護休業制度拡充に対する負担感	64
4)	介護休暇	65
①	介護休暇の有無	65
②	介護休暇取得単位	65
③	介護休暇取得可能日数上限	66
④	介護休暇中の所得保障	66
⑤	介護休暇制度拡充に対する負担感	67
5)	介護を理由とした時短勤務	68
①	制度の有無	68
②	制度の適用可能期間	68
6)	介護を理由とした残業免除	69
①	制度の有無	68
②	制度の適用可能期間	69
7)	転勤配慮	70
8)	両立支援で期待される効果	70
9)	介護離職を防ぐために有効と考えられる方策	71
10)	回答企業分布	72
①	業種	72
②	従業員規模	72

平成26年度 仕事と家庭の両立に関する実態把握のための調査
調査結果概要（介護開始時雇用者限定）

1. 調査の実施体制

厚生労働省雇用均等・児童家庭局委託

研究指導：独立行政法人 労働政策研究・研修機構 企業と雇用部門

副主任研究員 池田 心豪 氏

実施主体：株式会社三菱総合研究所

2. 調査の概要

(1) 労働者調査

1) 調査方法

株式会社マクロミルのネットリサーチに登録しているモニターから、平成24年就業構造基本調査における性・年齢階級別雇用形態による比例割付を実施すると共に、同調査の職業別比率に近似するよう回答依頼を実施した。

2) 調査対象

2015年1月末日時点で20～64歳の全国男女のうち、1999年4月以降に家族、親戚等の介護に関わったことがあり、2010年7月から調査時点（1月末日）までの間に要介護者の快復や死亡によって介護を終了した者。

3) 調査期間

・平成27年3月7日（土）～平成27年3月18日（水）

4) 有効回答数

・有効回答数 2819件（回収 3128件に対してデータクリーニングを実施。）

(2) 企業調査

1) 調査方法

・郵送配布、ウェブ回収方式

郵送により回答依頼を配布し、ウェブサイトアクセスの上回答を入力する方式とした。

※ウェブ回答が困難な客体に対しては別途自記式調査票を配布した。

2) 調査対象

・経済センサスの標準産業分類に基づく、全国の従業員規模10名以上の企業5,000社

3) 調査期間

・平成27年2月21日（土）～3月16日（月）

4) 有効回答数

・有効回答数：629票（回収率12.6%）

3. 主な調査結果

(1) 労働者調査

1) 集計対象

追加集計にあたっては、「介護開始時点で雇用されていた者」を対象とした。

	合計	正規雇用	非正規雇用
回収数	3128	—	—
有効回答	2819	—	—
介護開始時点で雇用されていた者	1666	1077	589
主たる介護者	700	450	250
従たる介護者	966	627	339
介護開始時点で無職・雇用されていなかった者	1153	—	—

【集計定義】

介護開始時点で雇用されていた者：介護開始時点において収入を伴う仕事についており、かつ「雇用」されていた者（[会社経営者、役員、自営業、自由業、家族従業者、内職]を除く）。

主たる介護者：期間を問わず「主たる介護者」の経験を有する者。

従たる介護者：介護開始から終了まで一貫して主たる介護者の経験を有さない者。

2) 介護期間別集計対象について

本調査では、介護の開始から終了までを以下の3期間に区分して回答を得た。

介護が始まった当時：要介護者の介護を開始してから概ね3ヶ月程度の期間
 介護が終わった当時：要介護者の介護を終了するまでの概ね3ヶ月程度の期間
 最初と最後以外の介護期間：上記2期間以外の期間

各期間における集計対象は以下の通り。

	介護開始当時	介護終了当時	左記以外の時期
介護開始時点で雇用されていた者	1666	1460	1438
正規雇用	1077	952	1019
主たる介護者	450	421	654
従たる介護者	627	531	365
非正規雇用	589	508	419
主たる介護者	250	229	192
従たる介護者	339	279	227

なお、3期間の経験期間別回答者数（例：6か月以上の期間介護に従事した者等）は以下の通り。

	介護期間3か月未満	介護期間3か月以上6か月未満	介護期間6か月以上	総計
介護開始時点で雇用されていた者	206	249	1211	1666
正規雇用	125	160	792	1077
主たる介護者	29	56	365	450
従たる介護者	96	104	427	627
非正規雇用	81	89	419	589
主たる介護者	21	37	192	250
従たる介護者	60	52	227	339

3) 介護状況について

① 介護を必要とするようになった原因

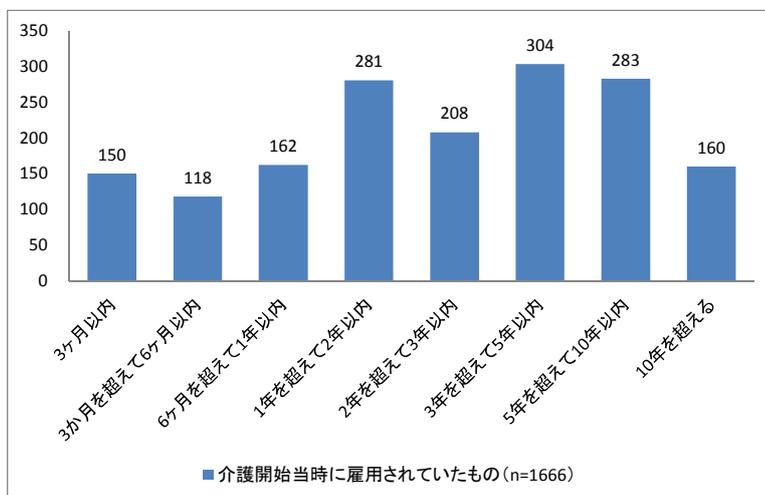
- 要介護者が介護を要するようになった直接的な原因は認知症が19.1%で最も多く、次いで悪性新生物(がん)が18.1%、脳血管疾患が14.6%と続いた。

		Q5 要介護者が介護を必要とするようになった原因は何ですか。当てはまるものを一つ選んでください。 複数の疾患に罹患していた場合には介護の直接的な原因となった疾患を選んでください。(回答はひとつ)																			
		全体	脳血管疾患(脳卒中)	心疾患(心臓病)	悪性新生物(がん)	呼吸器疾患	関節疾患	認知症	パーキンソン病	糖尿病	視覚・聴覚障害	骨折・転倒	脊髄損傷	高齢による衰弱	性・後天性双方を含む	身体障がい(先天性・後天性双方を含む)	知的障害(先天性・後天性双方を含む)	後天性障がい(先天性・後天性双方を含む)	精神障害(発達障害を含む)	その他	わからない
全体		1666 100.0	244 14.6	57 3.4	301 18.1	61 3.7	24 1.4	319 19.1	55 3.3	52 3.1	9 0.5	136 8.2	15 0.9	203 12.2	33 2.0	2 0.1	2 0.1	21 1.3	98 5.9	36 2.2	
全体	主介護者	700 100.0	98 14.0	27 3.9	140 20.0	30 4.3	17 2.4	131 18.7	20 2.9	23 3.3	8 1.1	47 6.7	8 1.1	64 9.1	15 2.1	0 0.0	0 0.0	14 2.0	45 6.4	13 1.9	
	従たる介護者	966 100.0	146 15.1	30 3.1	161 16.7	31 3.2	7 0.7	188 19.5	35 3.6	29 3.0	1 0.1	89 9.2	7 0.7	139 14.4	18 1.9	2 0.2	2 0.2	7 0.7	53 5.5	23 2.4	
全体		1077 100.0	176 16.3	33 3.1	193 17.9	42 3.9	12 1.1	194 18.0	35 3.2	38 3.5	5 0.5	93 8.6	12 1.1	130 12.1	25 2.3	2 0.2	2 0.2	16 1.5	46 4.3	25 2.3	
正規雇用	主介護者	450 100.0	71 15.8	18 4.0	90 20.0	21 4.7	7 1.6	82 18.2	13 2.9	16 3.6	4 0.9	32 7.1	6 1.3	39 8.7	13 2.9	0 0.0	0 0.0	12 2.7	17 3.8	9 2.0	
	従たる介護者	627 100.0	105 16.7	15 2.4	103 16.4	21 3.3	5 0.8	112 17.9	22 3.5	22 3.5	1 0.2	61 9.7	6 1.0	91 14.5	12 1.9	2 0.3	2 0.3	4 0.6	29 4.6	16 2.6	
全体		589 100.0	68 11.5	24 4.1	108 18.3	19 3.2	12 2.0	125 21.2	20 3.4	14 2.4	4 0.7	43 7.3	3 0.5	73 12.4	8 1.4	0 0.0	0 0.0	5 0.8	52 8.8	11 1.9	
非正規雇用	主介護者	250 100.0	27 10.8	9 3.6	50 20.0	9 3.6	10 4.0	49 19.6	7 2.8	7 2.8	4 1.6	15 6.0	2 0.8	25 10.0	2 0.8	0 0.0	0 0.0	2 0.8	28 11.2	4 1.6	
	従たる介護者	339 100.0	41 12.1	15 4.4	58 17.1	10 2.9	2 0.6	76 22.4	13 3.8	7 2.1	0 0.0	28 8.3	1 0.3	48 14.2	6 1.8	0 0.0	0 0.0	3 0.9	24 7.1	7 2.1	

② 介護期間

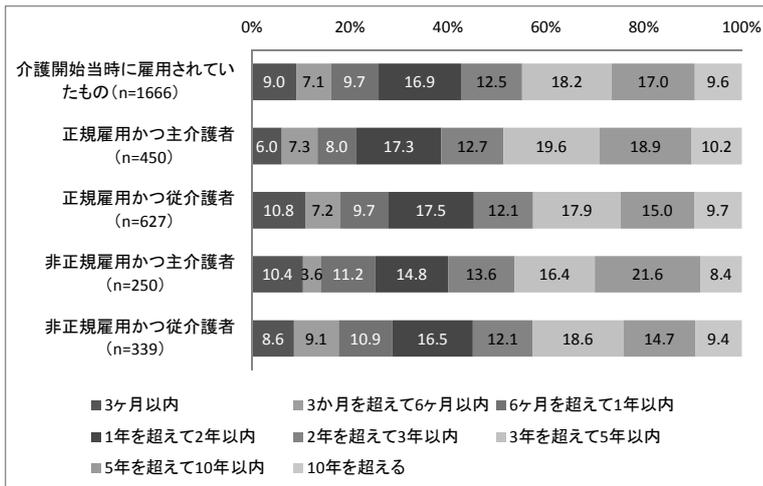
- 介護期間は3～5年(18.2%)、5～10年(17.0%)、1～2年(16.9%)の回答割合が多かった。
- カテゴリ回答を数値換算した場合の雇用者全体の平均介護月数は45.2ヶ月、中央値は31.0ヶ月であった。
- 介護の原因疾患別の平均介護月数は脳血管疾患が62.2ヶ月(中央値47.0ヶ月)、障がいが51.8ヶ月(同40.5ヶ月)、認知症が49.7ヶ月(同40.0ヶ月)と続き、最も平均介護月数が短かったのは悪性新生物(がん)の26.1ヶ月(中央値14.0ヶ月)であった。
- 在宅介護期間は平均30.2ヶ月(中央値21.5ヶ月)、悪性新生物が平均6.2ヶ月(同3.0ヶ月)と他の疾患と比べて短い結果となった。

ア) 分布



※3ヶ月以内/6ヶ月以内/1年以内(12ヶ月以内)/2年以内(24ヶ月以内)/3年以内(36ヶ月以内)/5年以内(60ヶ月以内)/10年以内(120ヶ月以内)/10年以上(121ヶ月以上)に分類して人数をカウントしたもの

イ) 雇用形態別



※3ヶ月以内/6ヶ月以内/1年以内(12ヶ月以内)/2年以内(24ヶ月以内)/3年以内(36ヶ月以内)/5年以内(60ヶ月以内)/10年以内(120ヶ月以内)/10年以上(121ヶ月以上)に分類して人数をカウントしたものを

ウ) 原因疾患別介護期間

【全期間】

		介護期間(月)							
		全体	無回答	統計量母数	平均	標準偏差	最小値	最大値	中央値
全体		1666	0	1666	45.21	42.74	0.00	180.00	31.00
原因疾患	脳血管障害	244	0	244	62.23	49.15	0.00	180.00	47.00
	悪性新生物(がん)	301	0	301	26.13	31.77	0.00	157.00	14.00
	認知症	319	0	319	49.74	41.14	0.00	179.00	40.00
	骨折・転倒	136	0	136	44.32	41.74	0.00	170.00	28.00
	障がい	56	0	56	51.82	45.54	1.00	175.00	40.50
	その他	610	0	610	45.05	42.00	0.00	179.00	31.00

【在宅介護期間】

		在宅介護期間(月)							
		全体	算出不能	統計量母数	平均	標準偏差	最小値	最大値	中央値
全体		179	9	170	30.16	30.73	0.00	167.00	21.50
原因疾患	脳血管障害	20	1	19	31.74	38.07	0.00	111.00	8.00
	悪性新生物(がん)	19	2	17	6.24	9.02	0.00	35.00	3.00
	認知症	51	1	50	32.24	29.74	0.00	167.00	24.00
	骨折・転倒	15	0	15	32.20	19.38	1.00	62.00	35.00
	障がい	6	2	4	57.75	43.08	5.00	124.00	51.00
	その他	68	3	65	32.20	30.62	0.00	134.00	24.00

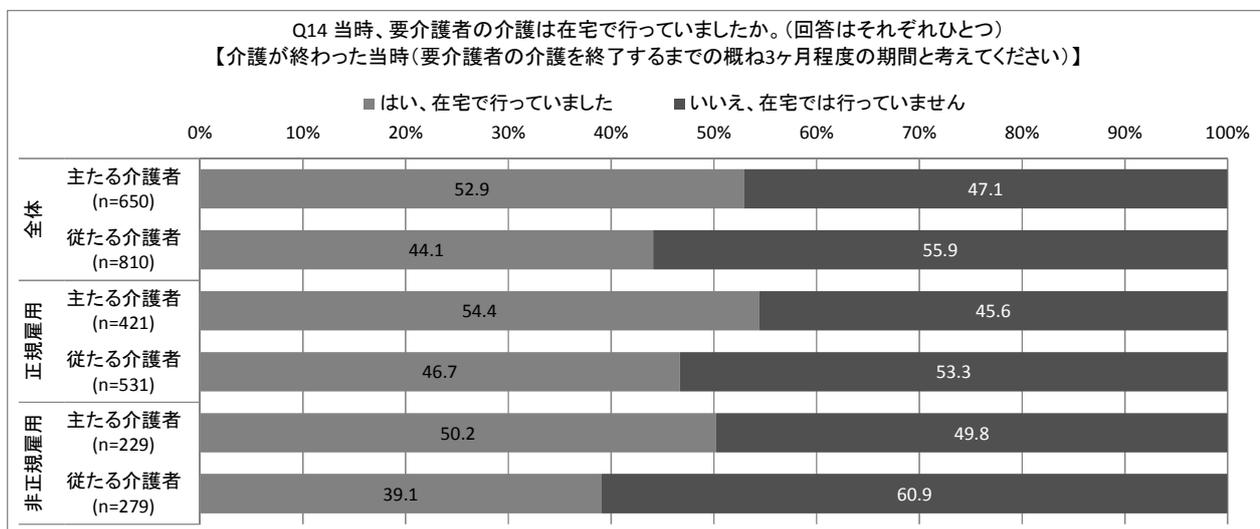
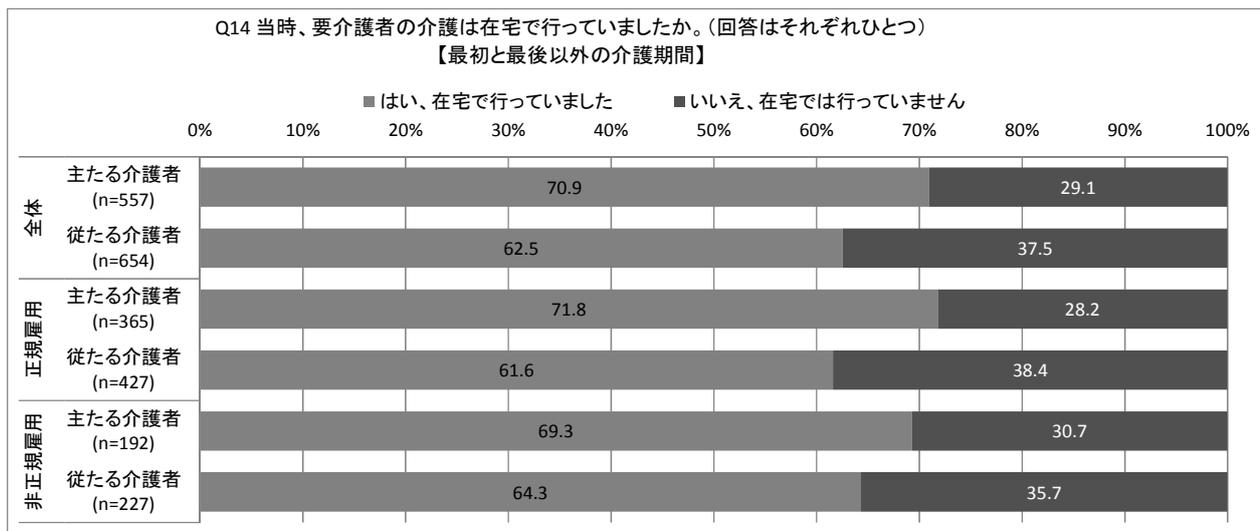
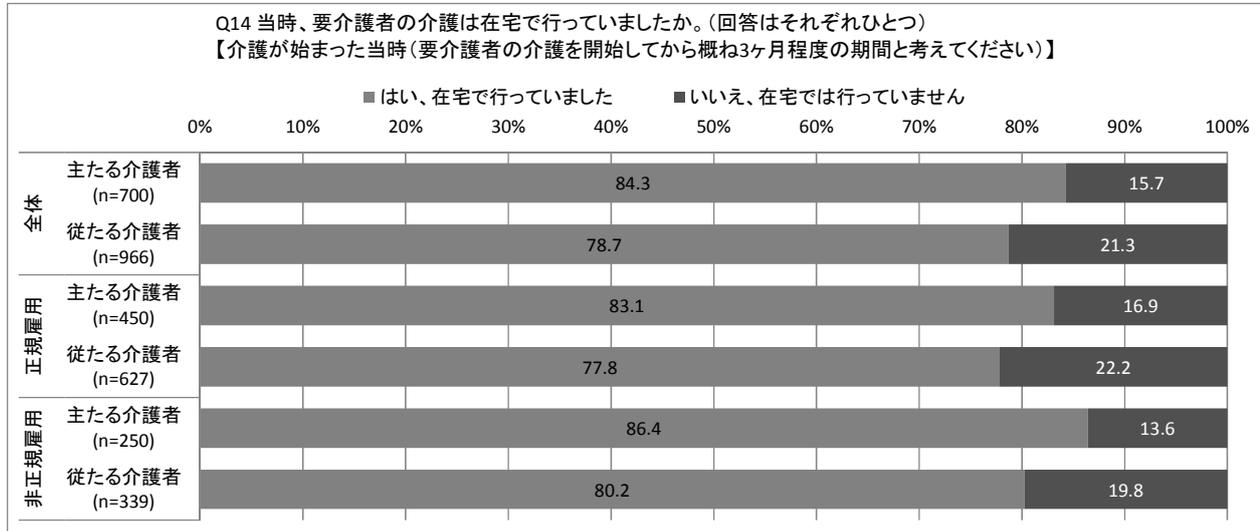
※介護開始後別居した者のうち、施設・病院等での介護への切り替えが明確であった者(症状が悪化し、施設や病院等へ入所・入院したから、もともと入所・入院待ちをしていた施設・病院等に入ることになったから、と回答した者)に限り集計を実施。

※「算出不能」は在宅介護期間に関して期間の算出が別居時点の誤回答等により不可能であったもの。

③ 在宅介護の有無

- 在宅介護・施設介護の別は、主たる介護者において介護開始時で84.3%が在宅介護、中間期で同70.9%、介護終了時で52.9%であった。
- 雇用形態の別を問わず、在宅介護・施設介護の別は期間の推移とともに上記と同様の傾向を示した。

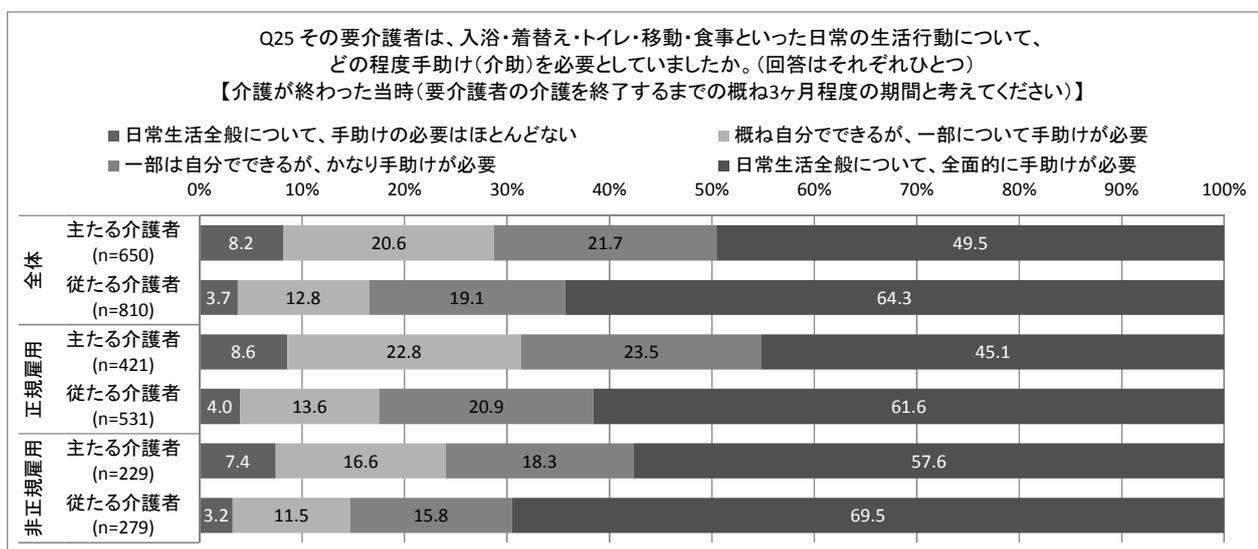
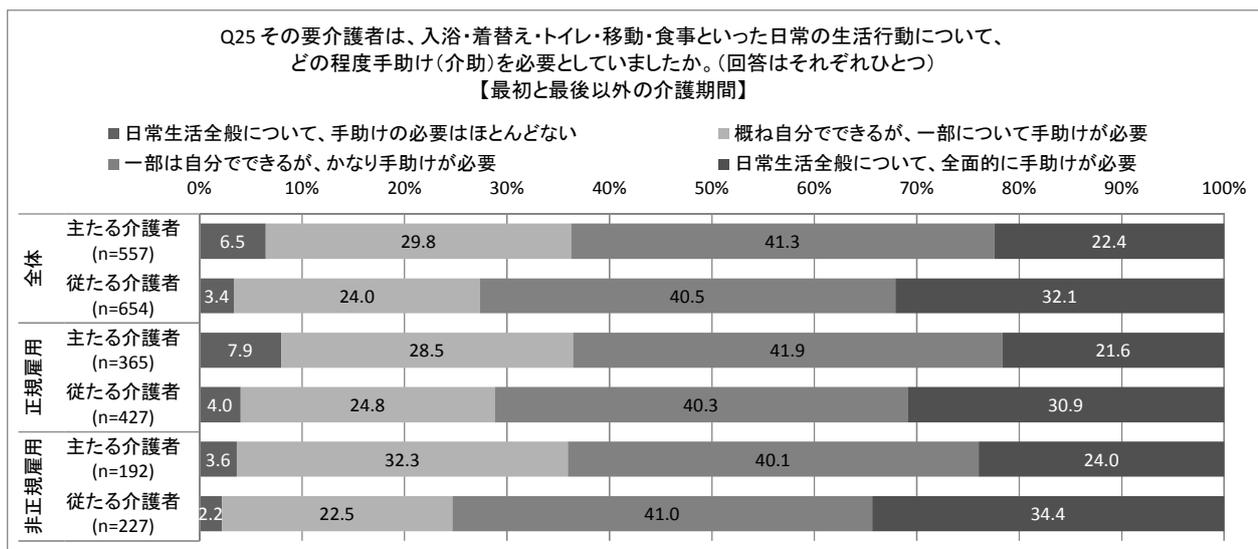
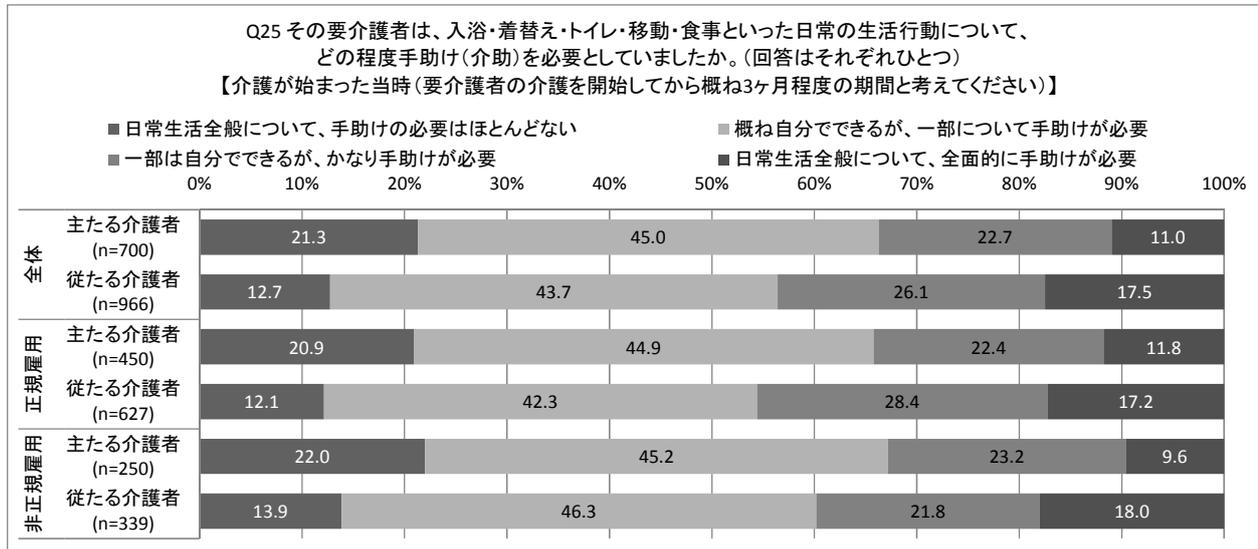
【雇用形態別】



④ 要介護者の日常生活について

- 要介護者の日常生活について、「日常生活全般について、手助けの必要がほとんどない」との回答は介護開始時に21.3%、中間期に6.5%、終了時に8.2%と推移。
- 同様に「日常生活について、全面的に手助けが必要」との回答は介護開始時11.0%、中間期22.4%、終了時49.5%と推移。

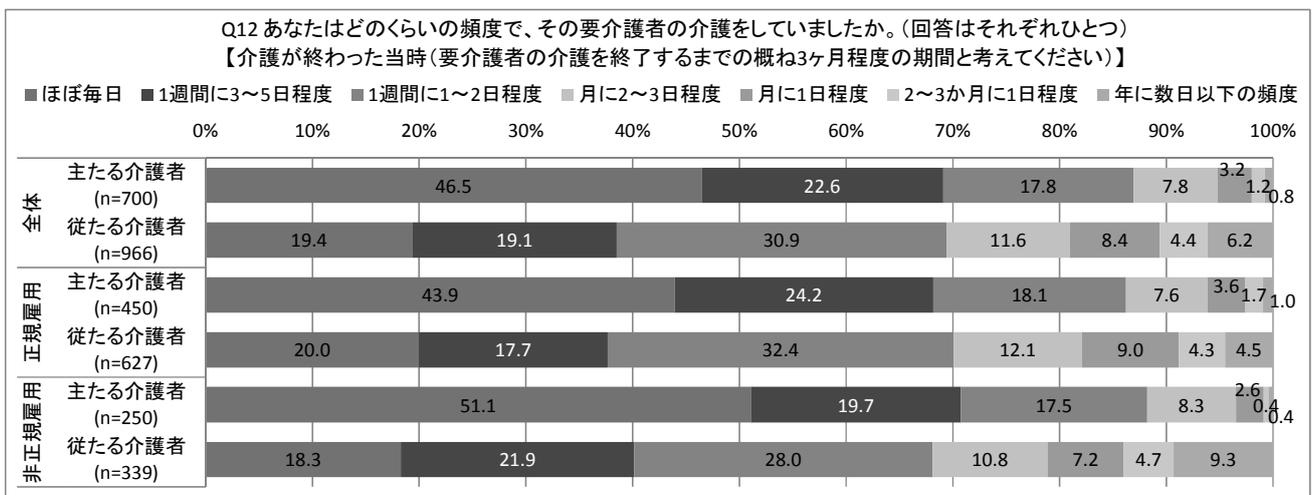
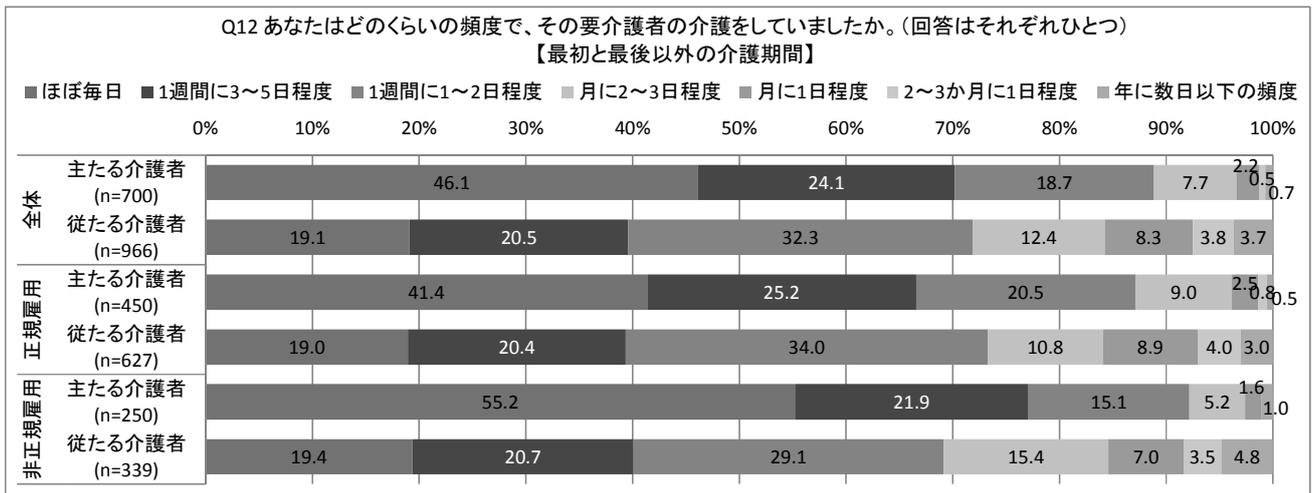
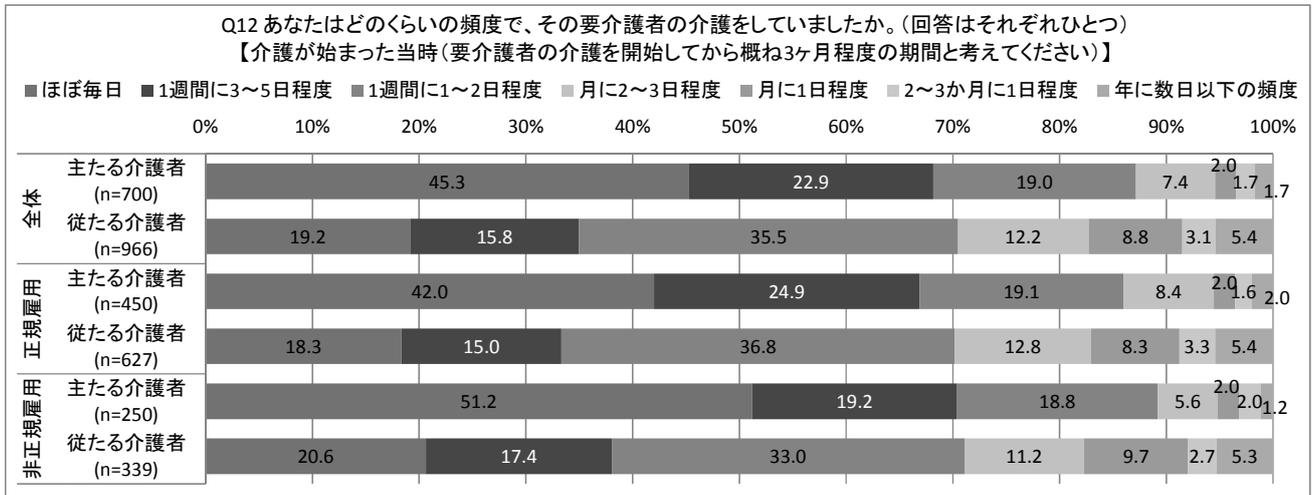
【雇用形態別】



⑤ 介護の頻度

- 介護の頻度については介護時期よりも主たる介護者か否かで差がみられた。
- 主たる介護者全体では期間を通して45.3～46.5%が「ほぼ毎日」と回答。
- 主たる介護者のうち、正規雇用では期間を通して50%を超える「ほぼ毎日」の回答であった。

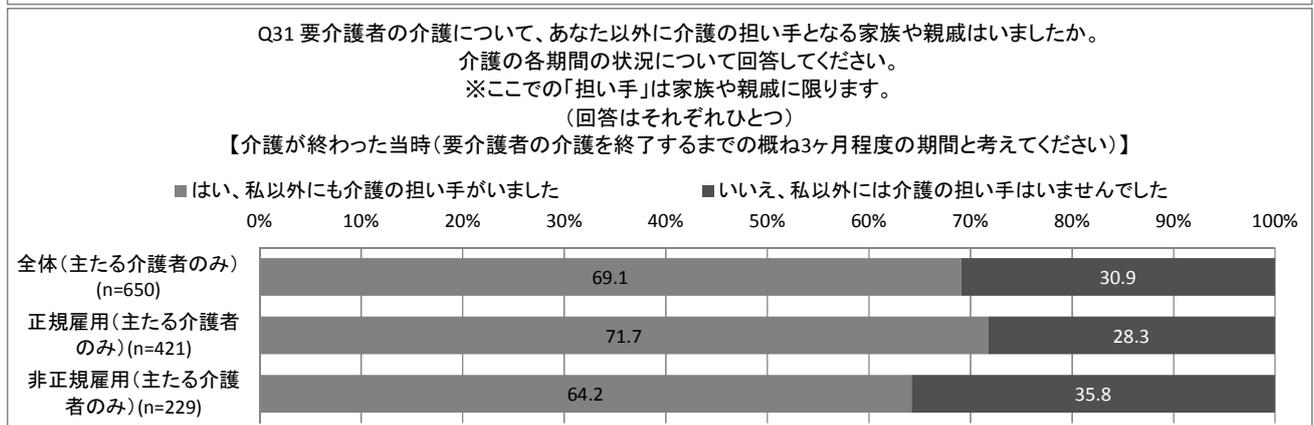
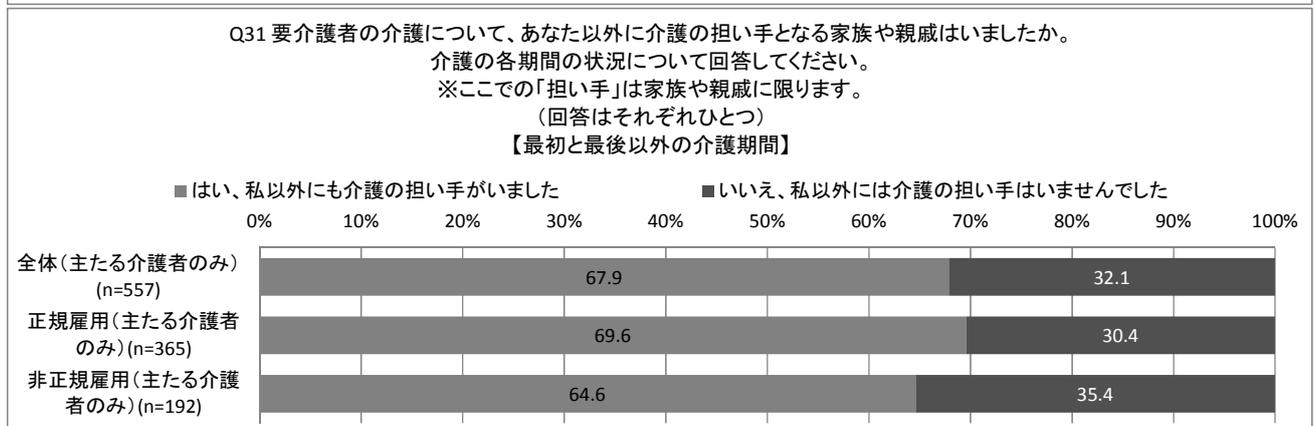
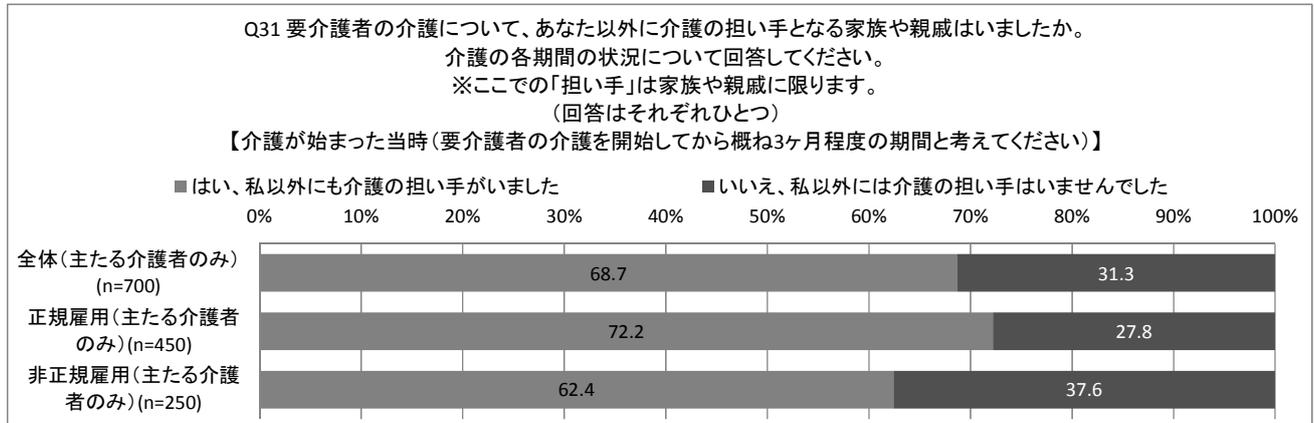
【雇用形態別】



⑥ 他の介護担い手の有無

- 回答者以外の介護者の有無について、自身が主たる介護者である回答者のみについて把握したところ、全体で期間を通じて70%弱が他に介護者を有していると回答した。
- 雇用形態別にみると正規雇用では70%前後が他の介護者を有しており、非正規雇用の60%代前半の回答割合を上回った。

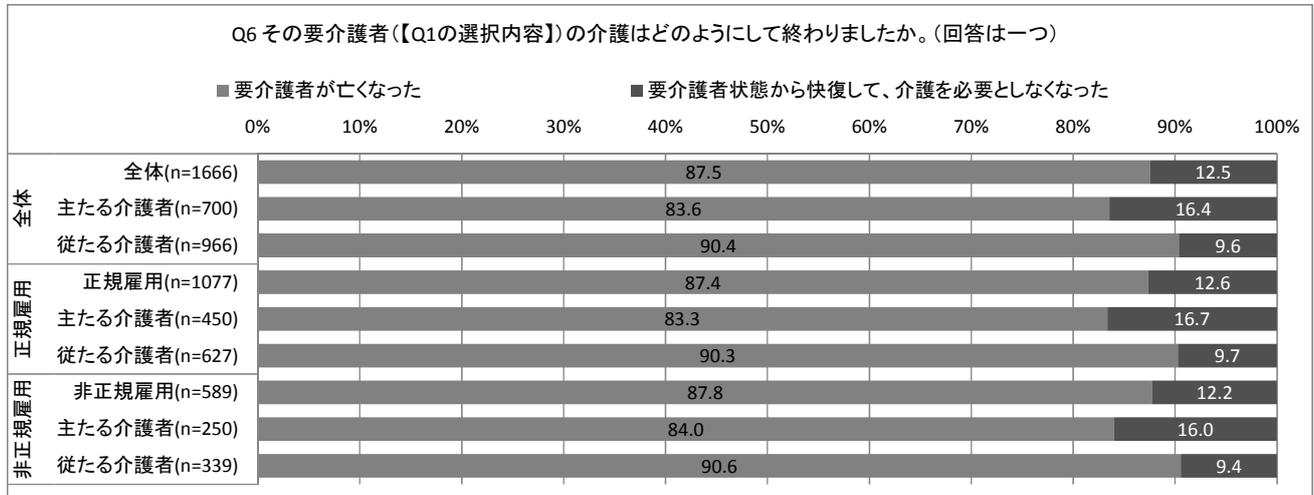
【雇用形態別】



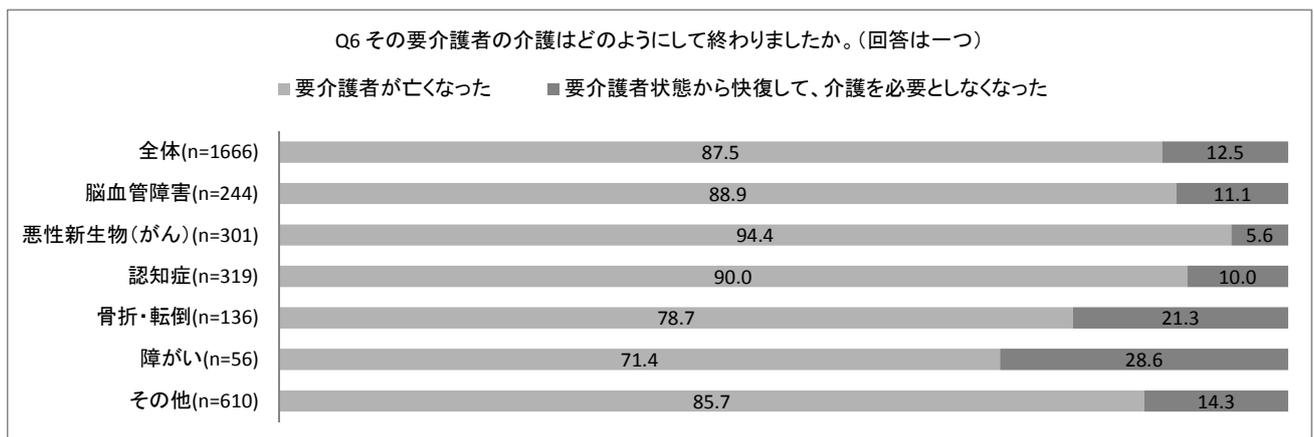
⑦ 介護の終了

- 介護の終了については、全体の87.5%が要介護者の死亡による介護の終了と回答。
- 原因疾患別にみると死亡による介護終了は「悪性新生物(がん)」が94.4%で最も多く、「骨折・転倒」、「障がい」はそれぞれ78.7%、71.4%と他の疾患と比較して割合が低かった。

【雇用形態別】



【原因疾患別】



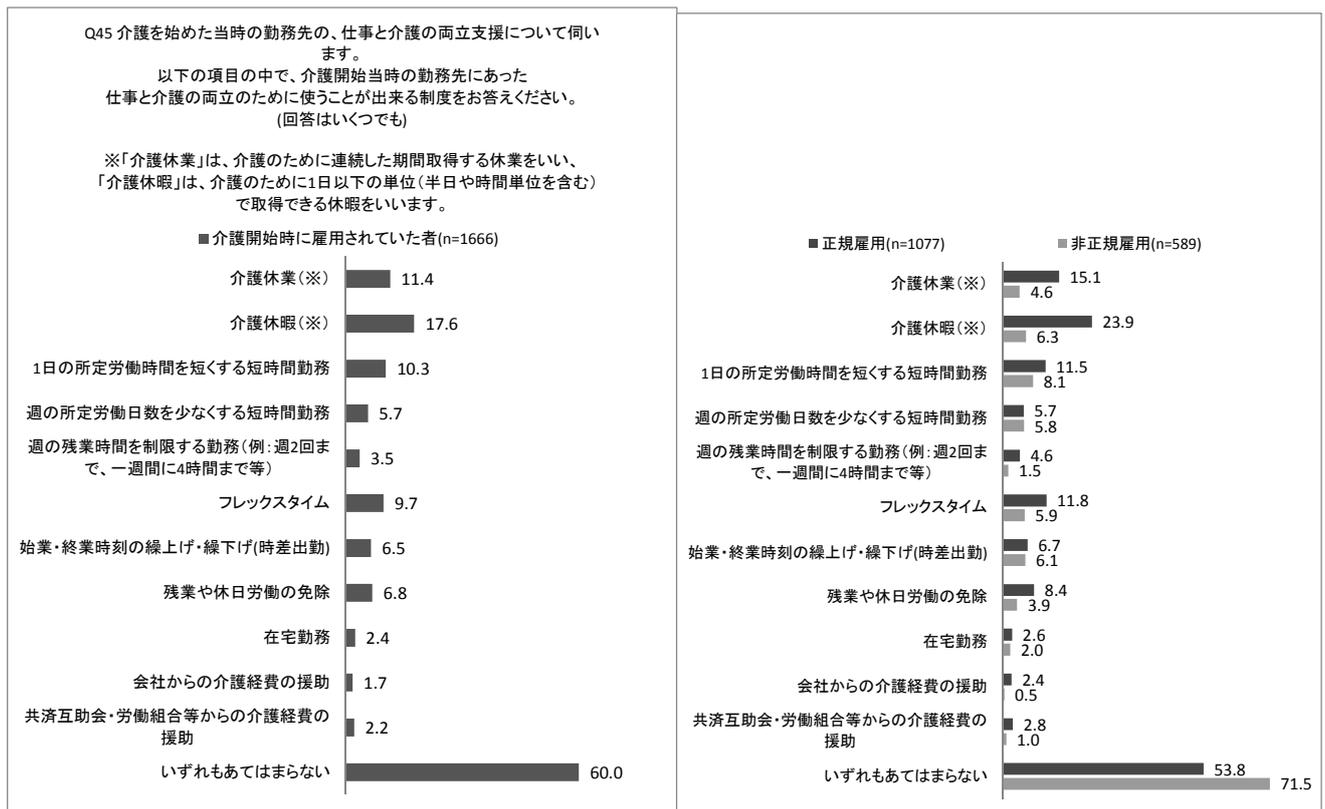
4) 介護と仕事の両立支援制度

① 介護を始めた当時の勤務先の仕事と介護の両立支援策

- 介護開始時の勤務先の両立支援制度について、雇用者の6割が「いずれもあてはまらない(不明、知らないを含む)」と回答。
- 雇用形態別では正規雇用の53.8%、非正規雇用の71.5%が「いずれもあてはまらない」と回答した。
- 両立支援策を認識していた回答者では雇用者全体では介護休暇が17.6%、次いで介護休業が11.4%、1日の所定労働時間を短くする短時間勤務が10.3%と続いた。
- 正規雇用では介護休暇23.9%、介護休業15.1%、フレックスタイムが11.8%の順であった。
- 非正規雇用では1日の所定労働時間を短くする短時間勤務が8.1%、介護休暇が6.3%、始業・終業時刻の繰り上げ・繰り下げが6.1%と続いた。

ア) 両立支援策(全体)

イ) 両立支援策(雇用形態別)

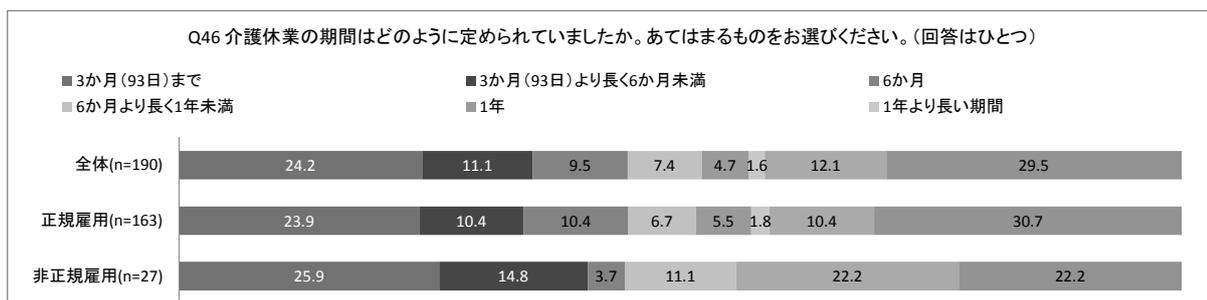


② 介護休業制度の概況

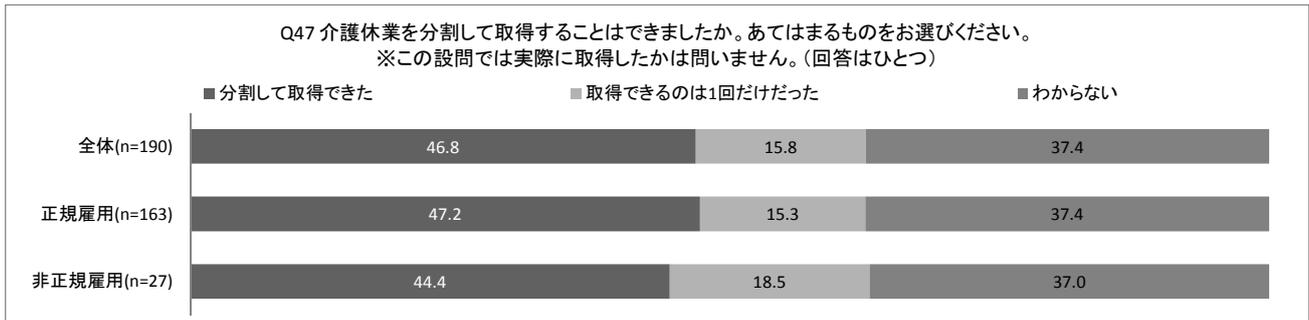
【Q45 仕事と介護の両立のための勤務先の制度において「介護休業」を挙げた者(n=190)に限る】

- 介護休業の期間設定は雇用者全体では24.2%が3か月(93日まで)、「法定水準」と回答。正規雇用では同23.9%、非正規雇用では同25.9%であった。
- 分割取得の可否については雇用者全体で46.8%が分割可能と回答。正規雇用では同47.2%、非正規雇用では同44.4%であった。
- 休業中の所得保障は雇用者全体で雇用保険からの給付との回答が32.6%と最も多く、次いで会社からの賃金として支払われたとの回答が23.2%であった。
- 休業期間の所得保障の水準は雇用者全体で4割との回答が18.5%と最も多く、同率で5割超6割以下の回答が多かった。

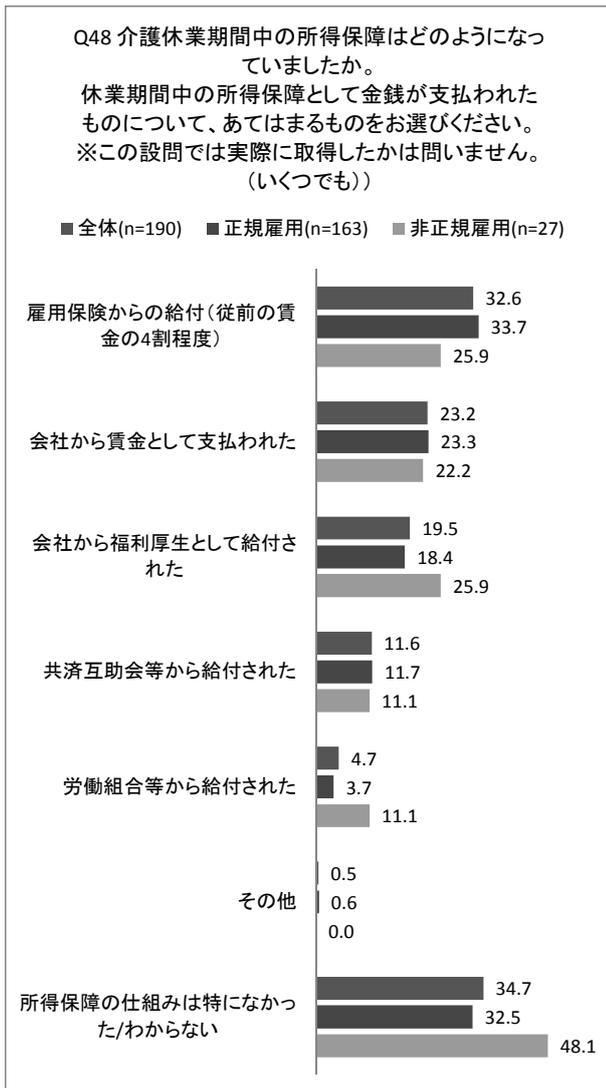
ア) 介護休業の期間設定



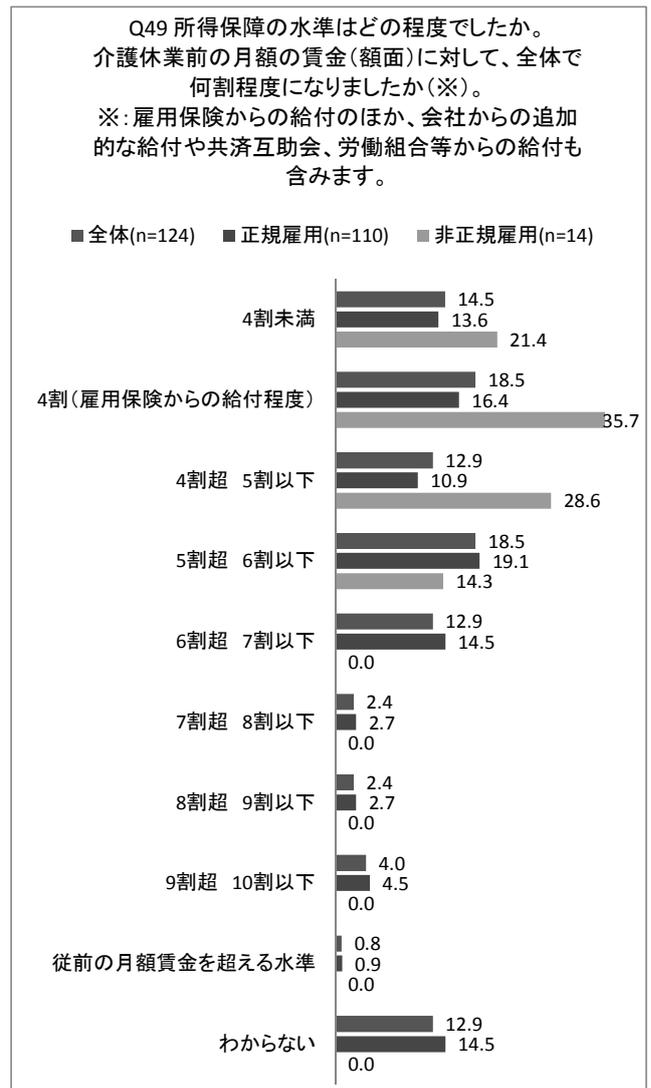
イ) 介護休業分割取得の可否



ウ) 介護休業期間の所得保障



エ) 介護休業期間の所得保障の水準



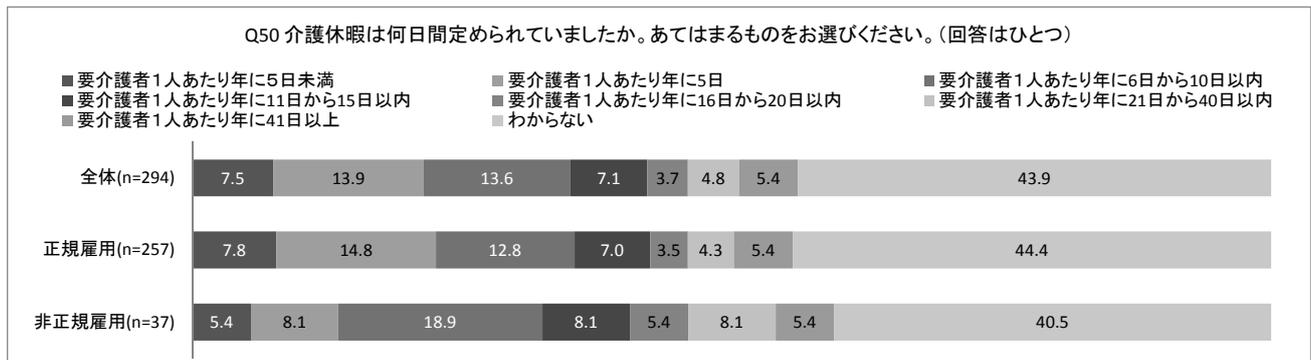
※) ウ) で所得保障の仕組みは特になかった/わからないと回答した者を除く 124 件の回答を集計対象とした。

③ 介護休暇制度の概況

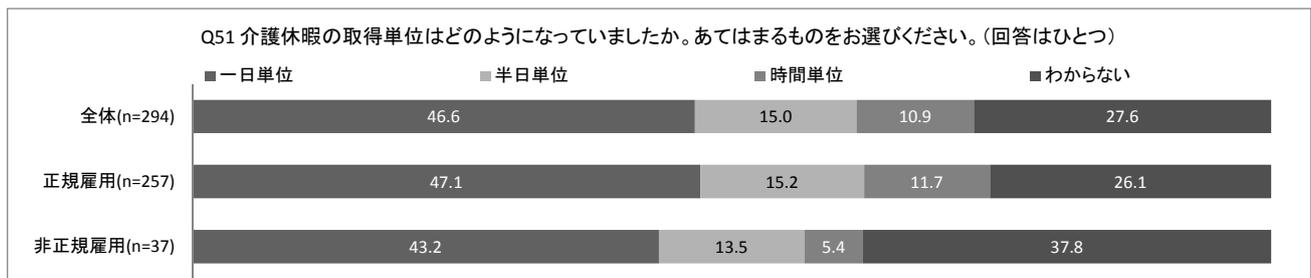
【Q45 仕事と介護の両立のための勤務先の制度において「介護休暇」を挙げた者 (n=294) に限る】

- 介護休暇の年間取得可能日数について、雇用形態を問わず「わからない」の回答割合が最も多かった。
- 日数回答を得た者については雇用者全体で「要介護者1人あたり年に5日」が13.9%で最も多く、次いで「要介護者1人あたり年に6日から10日」が13.6%であった。
- 取得可能単位は雇用形態を問わず「1日単位」との回答が4割以上と最も多かった。非正規雇用については取得単位が「わからない」と回答する者が37.8%と正規雇用と比べ多かった。
- 有給・無給の別では雇用者全体、正規雇用で6割弱が有給と回答。非正規雇用では有給は51.4%、無給が27.0%と正規雇用と比較して無給の比率が高かった。

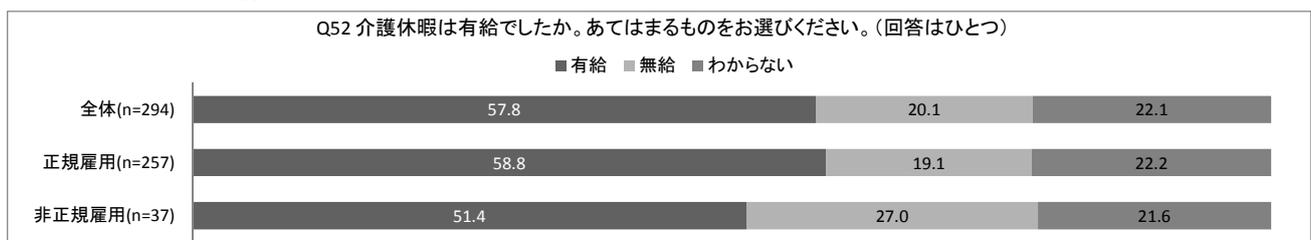
ア) 介護休暇の年間取得可能日数



イ) 介護休暇の取得可能単位



ウ) 有給・無給の別



5) 仕事と介護の両立状況 (必要性と実績)

① 介護離職の状況

ア) 介護開始時点で勤務していた職場を離職した者

- 介護開始時点での勤務先の離職状況について、雇用者全体では 80.9%が離職せず、介護を理由として離職した者は全体の 10.1%であった。
- 雇用形態別にみると正規雇用では 85.6%が同一勤務先での就業を継続し、7.5%が介護を理由に離職した。非正規雇用では同様に 72.2%が就業継続し、14.9%が介護を理由に離職したと回答。
- 主たる介護者か否かでは、主たる介護者全体で 77.9%が就業継続、15.7%が介護を理由として離職、従たる介護者では同様に 83.0%が就業継続、介護を理由に離職した者は 6.1%であった。
- 非正規雇用かつ主たる介護者であった場合は、就業継続は 67.2%、介護を理由とした離職は 23.6%であった。

【表例1】あなたの雇用形態は正規・非正規どちらですか。 【表例2】あなたは主介護者でしたか。		離職の有無と理由 【あなたは介護開始当時の勤務先を離職しましたか。また、その理由は何ですか。】			
		全体	いいえ、介護開始当時の勤務先で勤務を継続しました。	いいえ、介護以外の理由で介護開始当時の勤務先を離職しました。	はい、介護が理由で介護開始当時の勤務先を離職しました。
全体		1666 100.0	1347 80.9	150 9.0	169 10.1
全体	はい、主介護者でした。	700 100.0	545 77.9	45 6.4	110 15.7
	いいえ、従たる介護者でした。	966 100.0	802 83.0	105 10.9	59 6.1
全体		1077 100.0	922 85.6	74 6.9	81 7.5
正規雇用	はい、主介護者でした。	450 100.0	377 83.8	22 4.9	51 11.3
	いいえ、従たる介護者でした。	627 100.0	545 86.9	52 8.3	30 4.8
全体		589 100.0	425 72.2	76 12.9	88 14.9
非正規雇用	はい、主介護者でした。	250 100.0	168 67.2	23 9.2	59 23.6
	いいえ、従たる介護者でした。	339 100.0	257 75.8	53 15.6	29 8.6

イ) 介護開始から離職までの期間

【前項の離職経験あり (n=319) のうち、離職までの期間について有効データを得られた 278 件について集計を実施】

介護開始から離職までの期間(介護開始時の勤務先)

	N	平均(月)	中央値(月)	最大値	最小値	標準偏差
雇用者	278	32.1	20.0	174.0	0.0	35.0
正規雇用	134	32.1	20.5	174.0	0.0	34.0
非正規雇用	144	32.2	19.0	174.0	0.0	36.1
在宅(一部期間在宅含む)	246	31.5	20.0	174.0	0.0	34.3
正規雇用	120	31.4	20.5	174.0	0.0	33.2
非正規雇用	126	31.7	19.0	174.0	0.0	35.5

集計条件: 雇用者・介護期間データクリーニング済・離職までの介護期間データクリーニング済

介護開始から離職までの期間(介護開始時の勤務先)【離職理由: 介護に関係ないものを除く】

	N	平均(月)	中央値(月)	最大値	最小値	標準偏差
雇用者	175	29.0	18.0	174.0	0.0	34.5
正規雇用	81	26.6	13.0	174.0	0.0	34.2
非正規雇用	94	31.0	19.5	174.0	0.0	34.8
在宅(一部期間在宅含む)	159	29.0	18.0	174.0	0.0	33.3
正規雇用	73	26.9	13.0	174.0	0.0	33.2
非正規雇用	86	30.7	19.5	174.0	0.0	33.5

集計条件: 雇用者・介護期間データクリーニング済・離職までの介護期間データクリーニング済・離職理由限定(介護以外の理由=0に限定)

<主たる介護者のみ>

介護開始から離職までの期間(介護開始時の勤務先)

	N	平均(月)	中央値(月)	最大値	最小値	標準偏差
雇用者	137	28.9	17.0	174.0	0.0	36.2
正規雇用	64	25.6	13.0	174.0	0.0	34.1
非正規雇用	73	31.8	19.0	174.0	0.0	38.0
在宅(一部期間在宅含む)	125	28.2	18.0	174.0	0.0	34.1
正規雇用	59	24.9	13.0	174.0	0.0	32.2
非正規雇用	66	31.3	19.5	174.0	0.0	35.8

集計条件: 雇用者・主介護者・介護期間データクリーニング済・離職までの介護期間データクリーニング済

介護開始から離職までの期間(介護開始時の勤務先)【離職理由: 介護に関係ないものを除く】

	N	平均(月)	中央値(月)	最大値	最小値	標準偏差
雇用者	105	25.8	13.0	174.0	0.0	36.6
正規雇用	48	20.5	10.0	174.0	0.0	33.1
非正規雇用	57	30.3	18.0	174.0	0.0	39.1
在宅(一部期間在宅含む)	96	24.9	14.0	174.0	0.0	34.0
正規雇用	44	18.8	10.0	174.0	0.0	29.7
非正規雇用	52	30.2	19.0	174.0	0.0	36.8

集計条件: 雇用者・主介護者・介護期間データクリーニング済・離職までの介護期間データクリーニング済・離職理由限定(介護以外の理由=0に限定)

イ) -2 度数分布(雇用者・主介護者)

雇用者			正規			非正規			在宅			在宅正規			在宅非正規		
データ区間	頻度	累積%	データ区間	頻度	累積%	データ区間	頻度	累積%	データ区間	頻度	累積%	データ区間	頻度	累積%	データ区間	頻度	累積%
3	24	17.52%	3	13	20.31%	3	11	15.07%	3	19	15.20%	3	11	18.64%	3	8	12.12%
6	15	28.47%	6	8	32.81%	6	7	24.66%	6	15	27.20%	6	8	32.20%	6	7	22.73%
12	19	42.34%	12	9	46.88%	12	10	38.36%	12	16	40.00%	12	8	45.76%	12	8	34.85%
18	16	54.01%	18	8	59.38%	18	8	49.32%	18	16	52.80%	18	8	59.32%	18	8	46.97%
24	18	67.15%	24	7	70.31%	24	11	64.38%	24	17	66.40%	24	6	69.49%	24	11	63.64%
30	6	71.53%	30	1	71.88%	30	5	71.23%	30	6	71.20%	30	1	71.19%	30	5	71.21%
36	6	75.91%	36	5	79.69%	36	1	72.60%	36	6	76.00%	36	5	79.66%	36	1	72.73%
42	3	78.10%	42	2	82.81%	42	1	73.97%	42	3	78.40%	42	2	83.05%	42	1	74.24%
48	6	82.48%	48	2	85.94%	48	4	79.45%	48	6	83.20%	48	2	86.44%	48	4	80.30%
54	3	84.67%	54	1	87.50%	54	2	82.19%	54	3	85.60%	54	1	88.14%	54	2	83.33%
60	2	86.13%	60	2	90.63%	60	0	82.19%	60	2	87.20%	60	2	91.53%	60	0	83.33%
66	2	87.59%	66	0	90.63%	66	2	84.93%	66	2	88.80%	66	0	91.53%	66	2	86.36%
72	1	88.32%	72	0	90.63%	72	1	86.30%	72	1	89.60%	72	0	91.53%	72	1	87.88%
78	3	90.51%	78	1	92.19%	78	2	89.04%	78	3	92.00%	78	1	93.22%	78	2	90.91%
84	1	91.24%	84	1	93.75%	84	0	89.04%	84	1	92.80%	84	1	94.92%	84	0	90.91%
90	3	93.43%	90	1	95.31%	90	2	91.78%	90	3	95.20%	90	1	96.61%	90	2	93.94%
96	1	94.16%	96	0	95.31%	96	1	93.15%	96	0	95.20%	96	0	96.61%	96	0	93.94%
102	0	94.16%	102	0	95.31%	102	0	93.15%	102	0	95.20%	102	0	96.61%	102	0	93.94%
108	0	94.16%	108	0	95.31%	108	0	93.15%	108	0	95.20%	108	0	96.61%	108	0	93.94%
114	0	94.16%	114	0	95.31%	114	0	93.15%	114	0	95.20%	114	0	96.61%	114	0	93.94%
120	1	94.89%	120	0	95.31%	120	1	94.52%	120	1	96.00%	120	0	96.61%	120	1	95.45%
174	7	100.00%	174	3	100.00%	174	4	100.00%	174	5	100.00%	174	2	100.00%	174	3	100.00%
計	137		次の級	64		計	73		計	125		計	59		計	66	

イ) -3 度数分布(雇用者・主介護者・介護に関係ない離職理由を除く)

雇用者			正規			非正規			在宅			在宅正規			在宅非正規		
データ区間	頻度	累積%	データ区間	頻度	累積%	データ区間	頻度	累積%	データ区間	頻度	累積%	データ区間	頻度	累積%	データ区間	頻度	累積%
3	24	22.86%	3	13	27.08%	3	11	19.30%	3	19	19.79%	3	11	25.00%	3	8	15.38%
6	12	34.29%	6	7	41.67%	6	5	28.07%	6	12	32.29%	6	7	40.91%	6	5	25.00%
12	14	47.62%	12	7	56.25%	12	7	40.35%	12	13	45.83%	12	7	56.82%	12	6	36.54%
18	14	60.95%	18	8	72.92%	18	6	50.88%	18	14	60.42%	18	8	75.00%	18	6	48.08%
24	14	74.29%	24	4	81.25%	24	10	68.42%	24	13	73.96%	24	3	81.82%	24	10	67.31%
30	4	78.10%	30	0	81.25%	30	4	75.44%	30	4	78.13%	30	0	81.82%	30	4	75.00%
36	3	80.95%	36	2	85.42%	36	1	77.19%	36	3	81.25%	36	2	86.36%	36	1	76.92%
42	0	80.95%	42	0	85.42%	42	0	77.19%	42	0	81.25%	42	0	86.36%	42	0	76.92%
48	5	85.71%	48	2	89.58%	48	3	82.46%	48	5	86.46%	48	2	90.91%	48	3	82.69%
54	2	87.62%	54	1	91.67%	54	1	84.21%	54	2	88.54%	54	1	93.18%	54	1	84.62%
60	1	88.57%	60	1	93.75%	60	0	84.21%	60	1	89.58%	60	1	95.45%	60	0	84.62%
66	1	89.52%	66	0	93.75%	66	1	85.96%	66	1	90.63%	66	0	95.45%	66	1	86.54%
72	1	90.48%	72	0	93.75%	72	1	87.72%	72	1	91.67%	72	0	95.45%	72	1	88.46%
78	1	91.43%	78	0	93.75%	78	1	89.47%	78	1	92.71%	78	0	95.45%	78	1	90.38%
84	1	92.38%	84	1	95.83%	84	0	89.47%	84	1	93.75%	84	1	97.73%	84	0	90.38%
90	2	94.29%	90	0	95.83%	90	2	92.98%	90	2	95.83%	90	0	97.73%	90	2	94.23%
96	0	94.29%	96	0	95.83%	96	0	92.98%	96	0	95.83%	96	0	97.73%	96	0	94.23%
102	0	94.29%	102	0	95.83%	102	0	92.98%	102	0	95.83%	102	0	97.73%	102	0	94.23%
108	0	94.29%	108	0	95.83%	108	0	92.98%	108	0	95.83%	108	0	97.73%	108	0	94.23%
114	0	94.29%	114	0	95.83%	114	0	92.98%	114	0	95.83%	114	0	97.73%	114	0	94.23%
120	0	94.29%	120	0	95.83%	120	0	92.98%	120	0	95.83%	120	0	97.73%	120	0	94.23%
174	6	100.00%	174	2	100.00%	174	4	100.00%	174	4	100.00%	174	1	100.00%	174	3	100.00%
計	105		次の級	48		計	57		計	96		計	44		計	52	

② 両立支援制度の利用状況

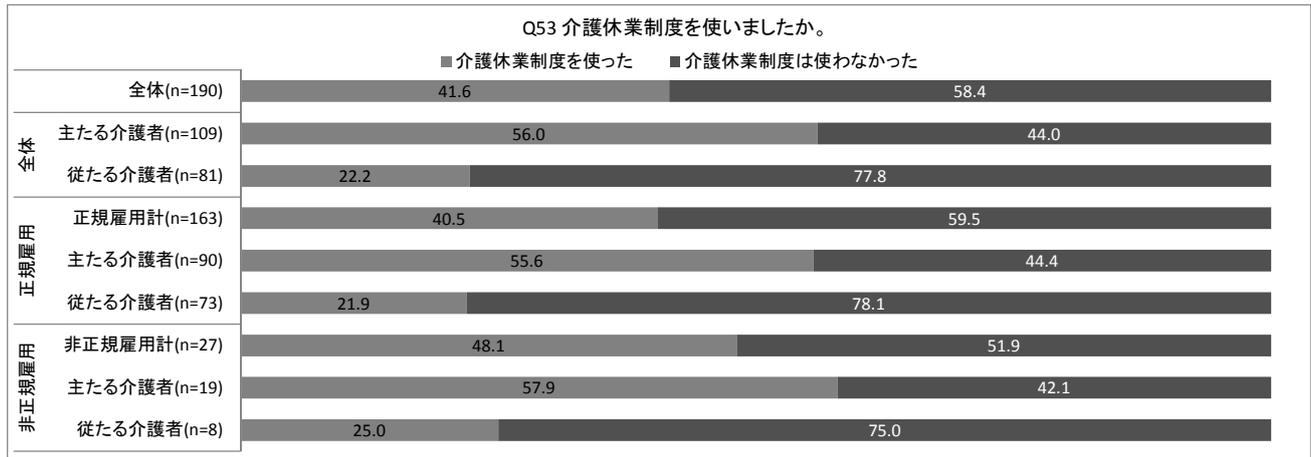
ア) 介護休業の取得状況

- 両立支援制度として介護休業を認識していた者のうち、41.6%が介護休業を利用。主たる介護者では56.0%、従たる介護者では22.2%であった。この傾向は雇用形態を問わず共通している。
- 利用状況を原因疾患別にみると、「障がい」(57.1%)、「脳血管疾患」(56.3%)で利用回答が多く、「骨折・転倒」では86.7%が利用していない。
- 介護休業制度を使って休んだ日数(通算)は「1週間を超え2週間以内」が24.1%で最も多く、次いで「2週間を超え1か月以内」が17.7%であった。

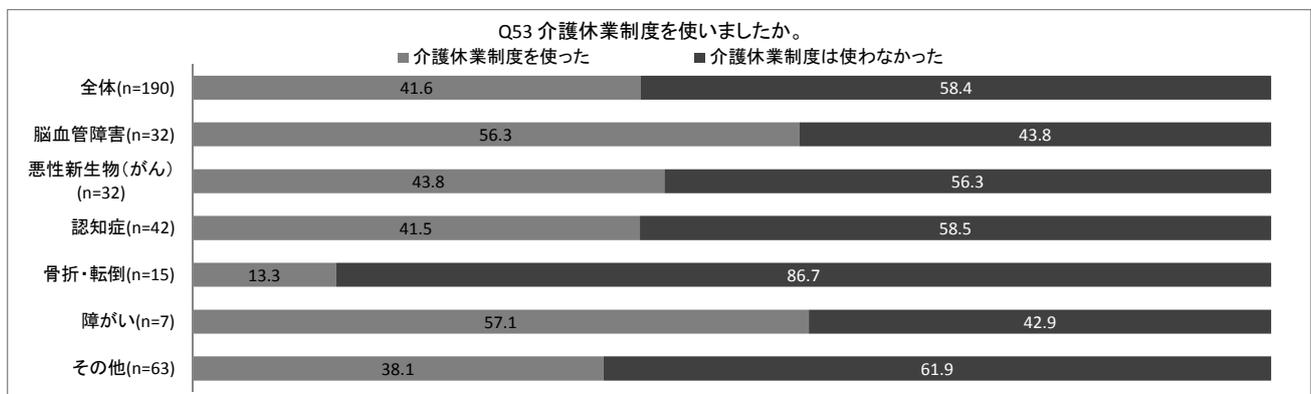
(a) 介護休業制度の利用有無

【Q45 仕事と介護の両立のための勤務先の制度において「介護休業」を挙げた者 (n=190) に限る】

【雇用形態別】

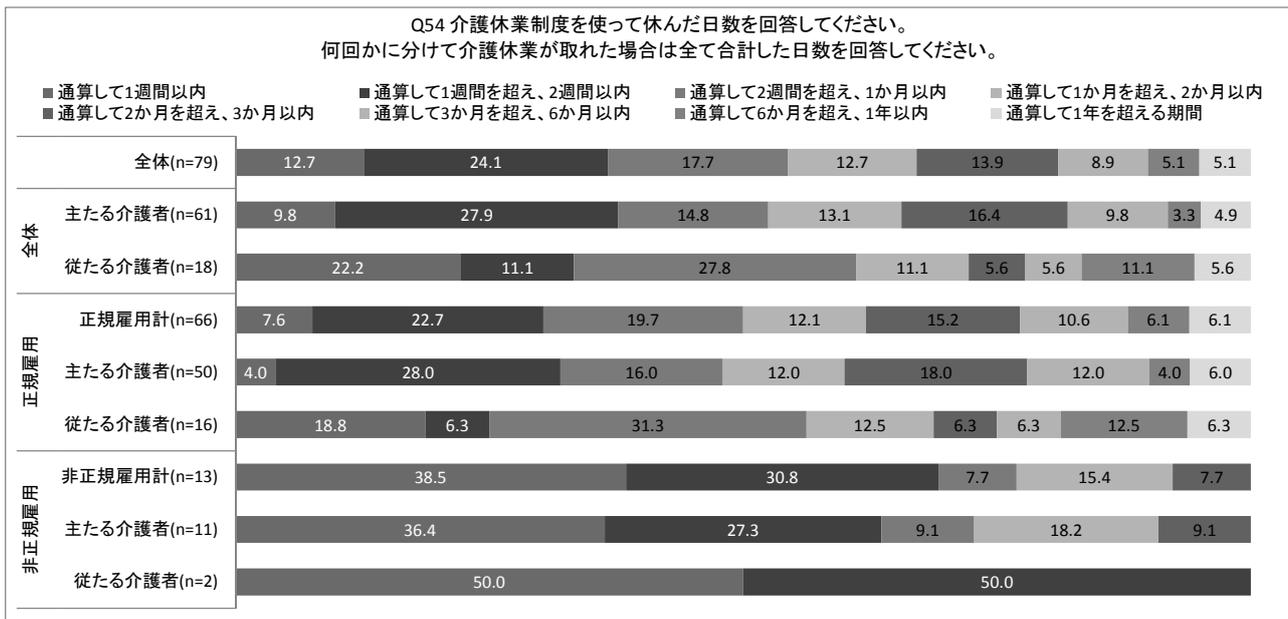


【原因疾患別】

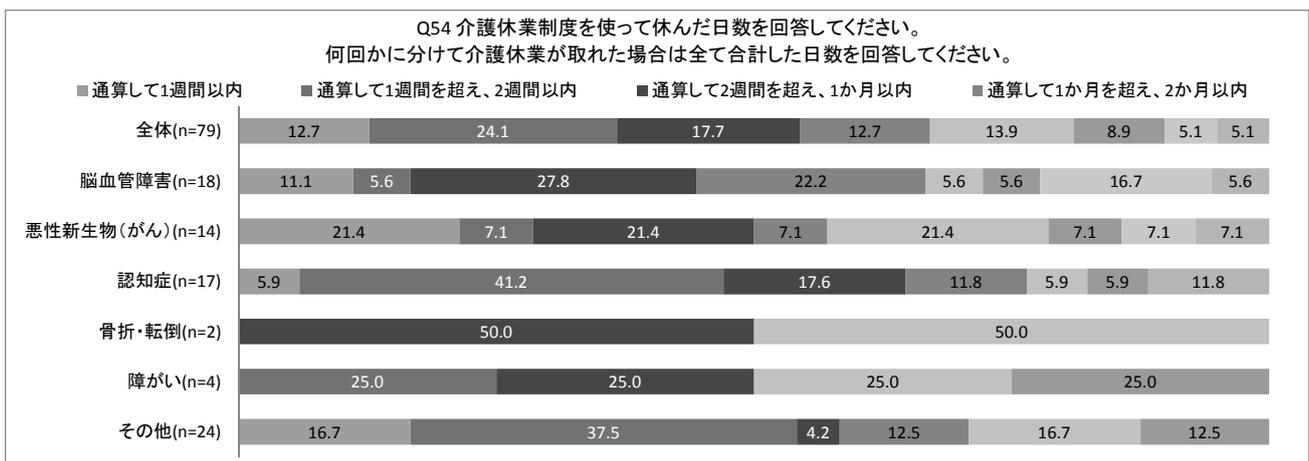


(b) 介護休業取得日数 (通算) 【Q53 介護休業制度を使った者に限る (n=79)】

【雇用形態別】



【原因疾患別】



(c) 介護休業取得日数 (通算・換算)

【Q53 介護休業制度を使った者に限る (n=79) (介護期間を問わない)】

週換算		介護休業制度を使って休んだ日数を回答してください。 何回かに分けて介護休業が取れた場合は全て合計した日数を回答してください。						
		全体	統計量母数	平均	標準偏差	最小値	最大値	中央値
全体		79	79	10.47	17.85	0.5	96.0	3.0
全体	脳血管障害	18	18	13.86	18.60	0.5	72.0	6.0
	悪性新生物(がん)	14	14	12.43	18.91	0.5	72.0	4.5
	認知症	17	17	13.41	26.44	0.5	96.0	3.0
	骨折・転倒	2	2	6.50	3.50	3.0	10.0	6.5
	障がい	4	4	8.13	6.54	1.5	18.0	6.5
	その他	24	24	5.44	5.78	0.5	18.0	1.5
主たる介護者		61	61	9.83	15.99	0.5	72.0	3.0
主たる介護者	脳血管障害	12	12	13.96	19.82	1.5	72.0	6.0
	悪性新生物(がん)	11	11	14.59	20.71	0.5	72.0	6.0
	認知症	13	13	9.58	18.63	0.5	72.0	1.5
	骨折・転倒	2	2	6.50	3.50	3.0	10.0	6.5
	障がい	3	3	9.83	6.74	1.5	18.0	10.0
	その他	20	20	5.23	5.49	0.5	18.0	1.5
従たる介護者		18	18	12.67	22.93	0.5	96.0	3.0
従たる介護者	脳血管障害	6	6	13.67	15.90	0.5	36.0	4.5
	悪性新生物(がん)	3	3	4.50	4.02	0.5	10.0	3.0
	認知症	4	4	25.88	40.49	1.5	96.0	3.0
	骨折・転倒							
	障がい	1	1	3.00	0.00	3.0	3.0	3.0
	その他	4	4	6.50	6.96	0.5	18.0	3.8

日換算		介護休業制度を使って休んだ日数を回答してください。 何回かに分けて介護休業が取れた場合は全て合計した日数を回答してください。						
		全体	統計量母数	平均	標準偏差	最小値	最大値	中央値
全体		79	79	73.32	124.98	3.5	672.0	21.0
全体	脳血管障害	18	18	97.03	130.22	3.5	504.0	42.0
	悪性新生物(がん)	14	14	87.00	132.39	3.5	504.0	31.5
	認知症	17	17	93.88	185.06	3.5	672.0	21.0
	骨折・転倒	2	2	45.50	24.50	21.0	70.0	45.5
	障がい	4	4	56.88	45.79	10.5	126.0	45.5
	その他	24	24	38.06	40.43	3.5	126.0	10.5
主たる介護者		61	61	68.80	111.96	3.5	504.0	21.0
主たる介護者	脳血管障害	12	12	97.71	138.71	10.5	504.0	42.0
	悪性新生物(がん)	11	11	102.14	144.98	3.5	504.0	42.0
	認知症	13	13	67.04	130.39	3.5	504.0	10.5
	骨折・転倒	2	2	45.50	24.50	21.0	70.0	45.5
	障がい	3	3	68.83	47.16	10.5	126.0	70.0
	その他	20	20	36.58	38.40	3.5	126.0	10.5
従たる介護者		18	18	88.67	160.53	3.5	672.0	21.0
従たる介護者	脳血管障害	6	6	95.67	111.30	3.5	252.0	31.5
	悪性新生物(がん)	3	3	31.50	28.15	3.5	70.0	21.0
	認知症	4	4	181.13	283.44	10.5	672.0	21.0
	骨折・転倒							
	障がい	1	1	21.00	0.00	21.0	21.0	21.0
	その他	4	4	45.50	48.69	3.5	126.0	26.3

【Q53 介護休業制度を使った者に限る・介護期間6か月以上の者のみ (n=51)】

週換算		介護休業制度を使って休んだ日数を回答してください。 何回かに分けて介護休業が取れた場合は全て合計した日数を回答してください。						
		全体	統計量母数	平均	標準偏差	最小値	最大値	中央値
全体		51	51	12.68	21.12	0.5	96.0	3.0
全体	脳血管障害	13	13	15.58	19.98	0.5	72.0	6.0
	悪性新生物(がん)	10	10	14.25	21.99	0.5	72.0	3.0
	認知症	11	11	17.73	31.77	0.5	96.0	1.5
	骨折・転倒							
	障がい	1	1	1.50	0.00	1.5	1.5	1.5
	その他	16	16	6.56	5.52	0.5	18.0	6.0
主たる介護者		41	41	11.68	18.77	0.5	72.0	6.0
主たる介護者	脳血管障害	10	10	16.30	20.93	3.0	72.0	6.0
	悪性新生物(がん)	8	8	17.38	23.57	0.5	72.0	4.5
	認知症	8	8	11.81	22.95	0.5	72.0	1.5
	骨折・転倒							
	障がい	1	1	1.50	0.00	1.5	1.5	1.5
	その他	14	14	5.79	4.98	0.5	18.0	4.5
従たる介護者		10	10	16.75	28.45	0.5	96.0	3.0
従たる介護者	脳血管障害	3	3	13.17	16.18	0.5	36.0	3.0
	悪性新生物(がん)	2	2	1.75	1.25	0.5	3.0	1.8
	認知症	3	3	33.50	44.20	1.5	96.0	3.0
	骨折・転倒							
	障がい							
	その他	2	2	12.00	6.00	6.0	18.0	12.0

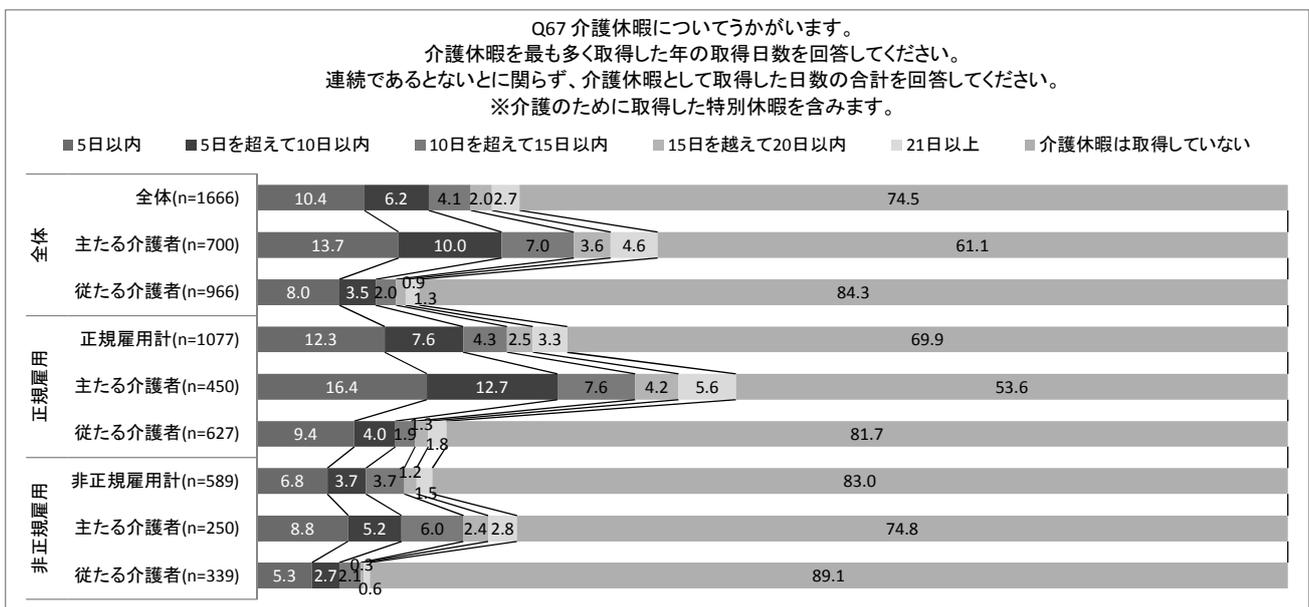
日換算		介護休業制度を使って休んだ日数を回答してください。 何回かに分けて介護休業が取れた場合は全て合計した日数を回答してください。						
		全体	統計量母数	平均	標準偏差	最小値	最大値	中央値
全体		51	51	88.74	147.85	3.5	672.0	21.0
全体	脳血管障害	13	13	109.04	139.86	3.5	504.0	42.0
	悪性新生物(がん)	10	10	99.75	153.95	3.5	504.0	21.0
	認知症	11	11	124.09	222.36	3.5	672.0	10.5
	骨折・転倒							
	障がい	1	1	10.50	0.00	10.5	10.5	10.5
	その他	16	16	45.94	38.64	3.5	126.0	42.0
主たる介護者		41	41	81.78	131.41	3.5	504.0	42.0
主たる介護者	脳血管障害	10	10	114.10	146.53	21.0	504.0	42.0
	悪性新生物(がん)	8	8	121.63	164.97	3.5	504.0	31.5
	認知症	8	8	82.69	160.64	3.5	504.0	10.5
	骨折・転倒							
	障がい	1	1	10.50	0.00	10.5	10.5	10.5
	その他	14	14	40.50	34.89	3.5	126.0	31.5
従たる介護者		10	10	117.25	199.18	3.5	672.0	21.0
従たる介護者	脳血管障害	3	3	92.17	113.24	3.5	252.0	21.0
	悪性新生物(がん)	2	2	12.25	8.75	3.5	21.0	12.3
	認知症	3	3	234.50	309.39	10.5	672.0	21.0
	骨折・転倒							
	障がい							
	その他	2	2	84.00	42.00	42.0	126.0	84.0

イ) 介護休暇の取得状況

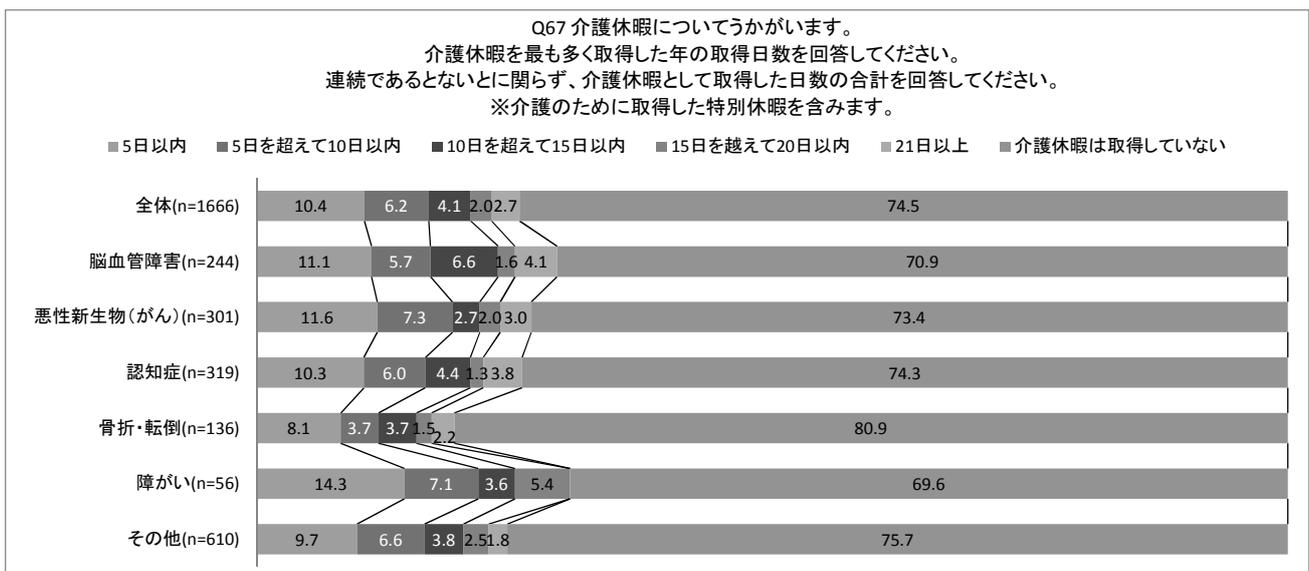
- 介護休暇の取得状況について、最も多く介護休暇を取得した年の取得日数について、雇用者全体で74.5%が「介護休暇は取得していない」と回答。取得者は「5日以内」との回答が全体の10.4%で最も多く、次いで「5日を超えて10日以内」が6.2%であった。
- 主たる介護者では「介護休暇を取得していない」回答が61.1%と減少し、「5日以内」が13.7%、「5日を超えて10日以内」が10.0%であった。
- 雇用形態別にみると正規雇用では非正規雇用と比較して「介護休暇を取得していない」との回答割合が低い傾向にあり、正規雇用の主たる介護者では約半数が介護休暇を取得していた。
- 原因疾患別にみると「骨折・転倒」では介護休暇取得者が他と比べて少ない傾向がみられた。
- 介護の時期別にみると、開始時から中間期、終了時に向けて「介護休暇を取得しなかった」回答の減少がみられた。また、従たる介護者の場合、主たる介護者と比べ「介護休暇を取得しなかった」割合は高い傾向がみられた。
- 介護3期間すべてに回答した者（6か月以上の介護を行った者）のみで集計を行うと、介護開始時（3か月）では「介護休暇を取得しなかった」者が41.8%存在したが、中間期には23.7%に減少、終了時（終端3か月程度）でも22.4%程度であった。

(a) 介護休暇取得日数（最も多く介護休暇を取得した年1年間の取得日数）

【雇用形態別】



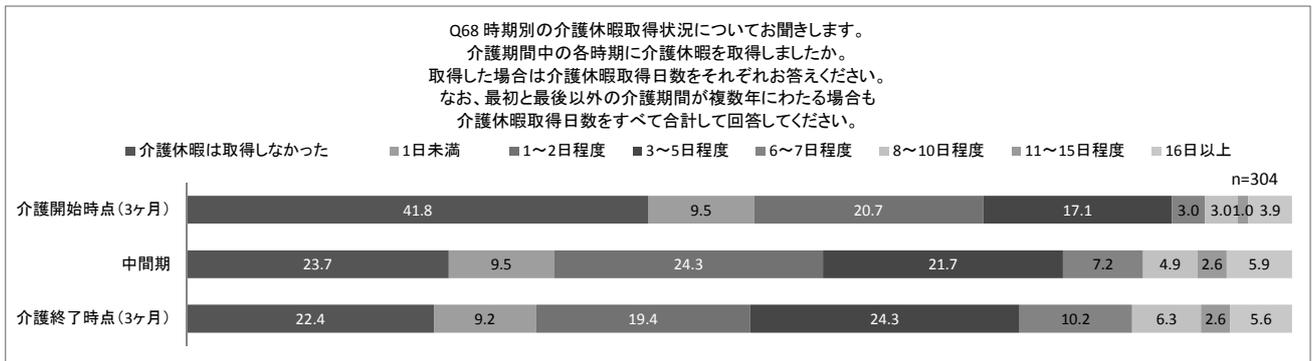
【原因疾患別】



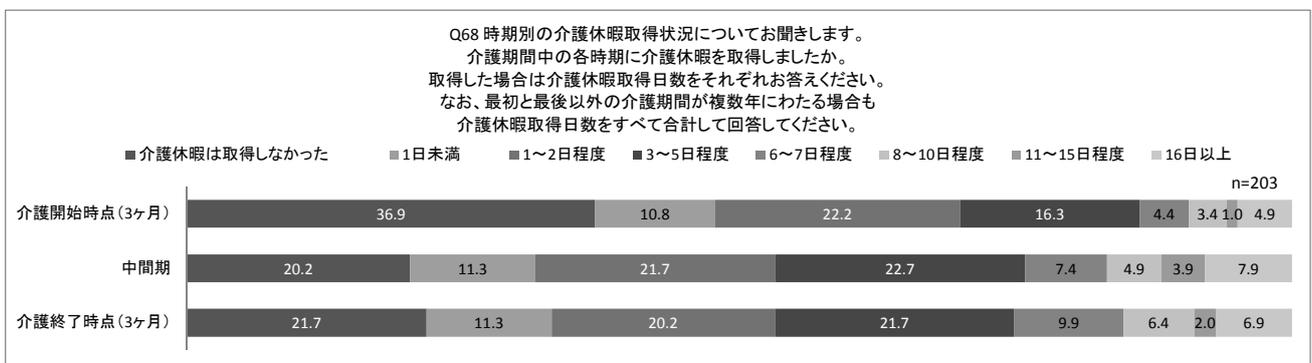
(b) 介護休暇取得日数（介護時期別取得日数）

【3 期間全回答者（介護期間 6 か月以上の者のみ）】

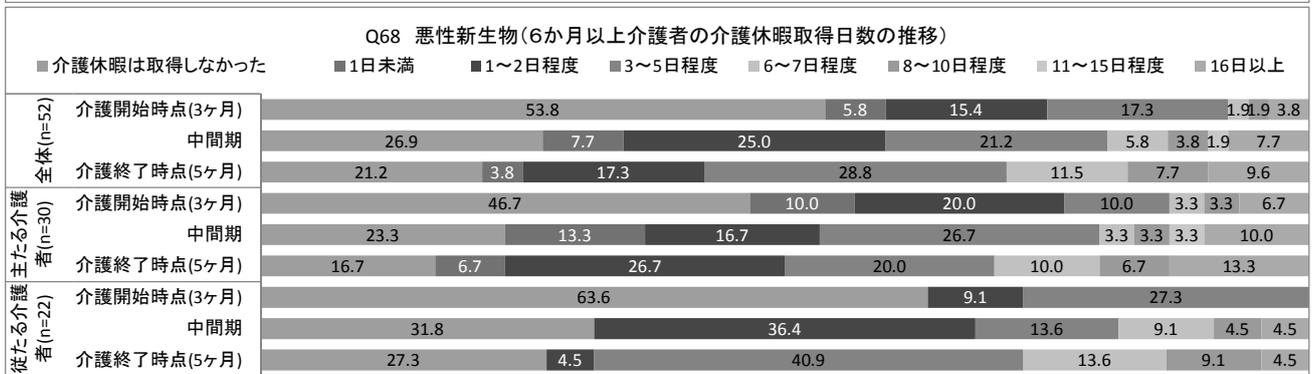
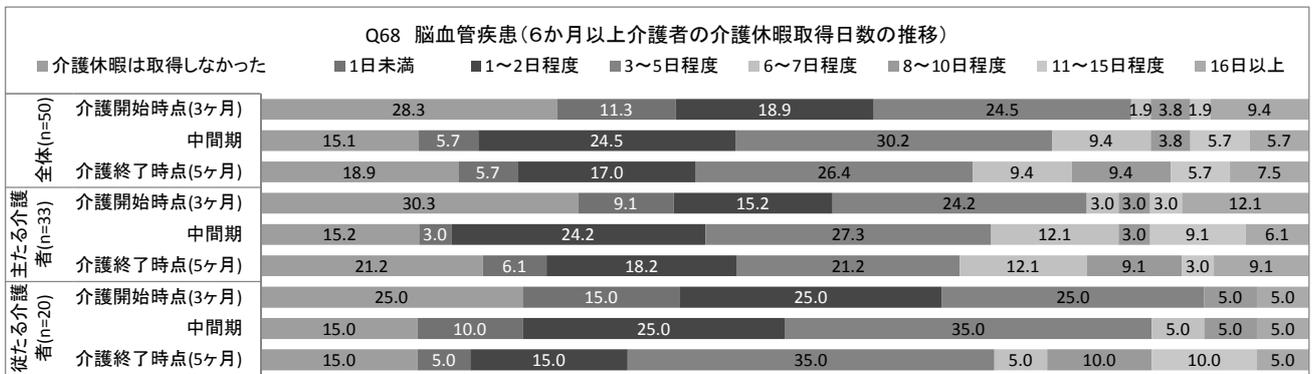
【介護開始時、中間期、介護終了時の 3 期間すべてについて回答した者について集計（介護期間が 6 ヶ月以上に及んだ者で介護期間中に介護休暇を取得した経験を有する者）】

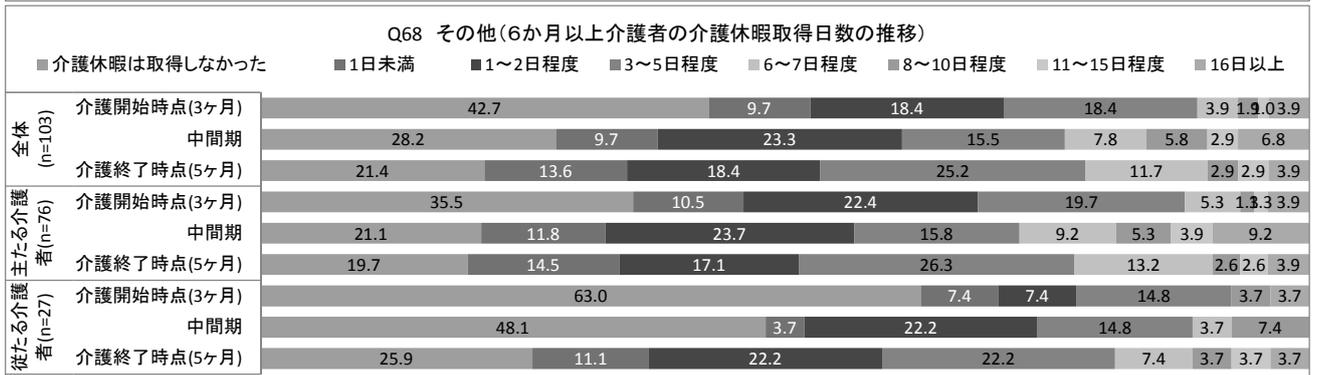
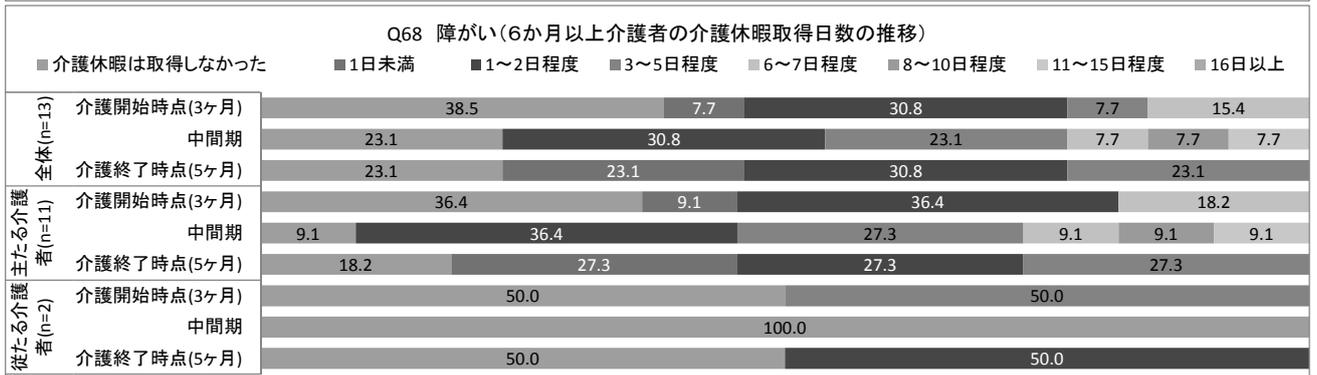
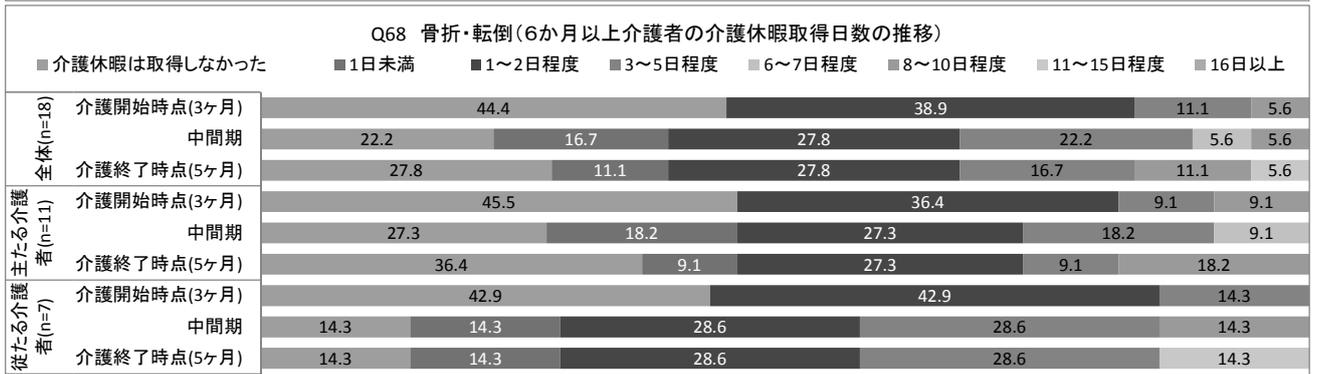
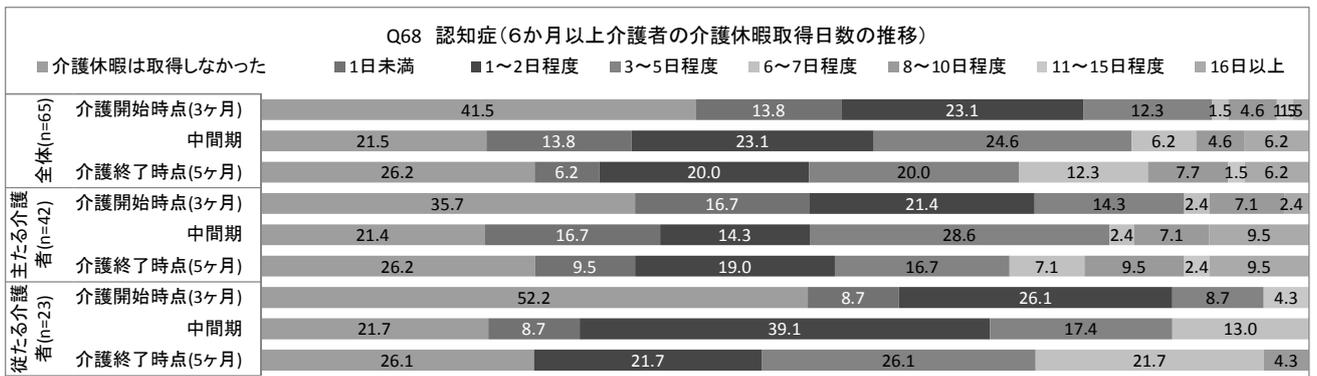


<うち主たる介護者>



<原因疾患別・期間別（介護期間 6 か月以上の者のみ）推移>





【参考】 <原因疾患別・期間別（介護期間6か月以上の者のみ）（n=304）>

		Q68 時期別の介護休暇取得状況についてお聞きます。 介護期間中の各時期に介護休暇を取得しましたか。 取得した場合は介護休暇取得日数をそれぞれお答えください。 なお、最初と最後以外の介護期間が複数年にわたる場合も 介護休暇取得日数をすべて合計して回答してください。（前問の回答によっては表示されない項目がございます） 【介護が始まった当時（要介護者の介護を開始してから概ね3ヶ月程度の期間と考えてください）】								
		全体	介護休暇 は取得し なかった	1日未満	1～2日程 度	3～5日程 度	6～7日程 度	8～10日 程度	11～15日 程度	16日以上
全体		304	41.8	9.5	20.7	17.1	3.0	3.0	1.0	3.9
あなたの介護 原因疾患は 何ですか。	脳血管障害	53	28.3	11.3	18.9	24.5	1.9	3.8	1.9	9.4
	悪性新生物(がん)	52	53.8	5.8	15.4	17.3	1.9	1.9	0.0	3.8
	認知症	65	41.5	13.8	23.1	12.3	1.5	4.6	1.5	1.5
	骨折・転倒	18	44.4	0.0	38.9	11.1	0.0	5.6	0.0	0.0
	障がい	13	38.5	7.7	30.8	7.7	15.4	0.0	0.0	0.0
	その他	103	42.7	9.7	18.4	18.4	3.9	1.9	1.0	3.9
主たる 介護者	全体	203	36.9	10.8	22.2	16.3	4.4	3.4	1.0	4.9
	脳血管障害	33	30.3	9.1	15.2	24.2	3.0	3.0	3.0	12.1
	悪性新生物(がん)	30	46.7	10.0	20.0	10.0	3.3	3.3	0.0	6.7
	認知症	42	35.7	16.7	21.4	14.3	2.4	7.1	0.0	2.4
	骨折・転倒	11	45.5	0.0	36.4	9.1	0.0	9.1	0.0	0.0
	障がい	11	36.4	9.1	36.4	0.0	18.2	0.0	0.0	0.0
従たる 介護者	全体	101	51.5	6.9	17.8	18.8	0.0	2.0	1.0	2.0
	脳血管障害	20	25.0	15.0	25.0	25.0	0.0	5.0	0.0	5.0
	悪性新生物(がん)	22	63.6	0.0	9.1	27.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	認知症	23	52.2	8.7	26.1	8.7	0.0	0.0	4.3	0.0
	骨折・転倒	7	42.9	0.0	42.9	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	障がい	2	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	27	63.0	7.4	7.4	14.8	0.0	3.7	0.0	3.7	

		Q68 時期別の介護休暇取得状況についてお聞きます。 介護期間中の各時期に介護休暇を取得しましたか。 取得した場合は介護休暇取得日数をそれぞれお答えください。 なお、最初と最後以外の介護期間が複数年にわたる場合も 介護休暇取得日数をすべて合計して回答してください。（前問の回答によっては表示されない項目がございます） 【最初と最後以外の介護期間】								
		全体	介護休暇 は取得し なかった	1日未満	1～2日程 度	3～5日程 度	6～7日程 度	8～10日 程度	11～15日 程度	16日以上
全体		304	23.7	9.5	24.3	21.7	7.2	4.9	2.6	5.9
あなたの介護 原因疾患は 何ですか。	脳血管障害	53	15.1	5.7	24.5	30.2	9.4	3.8	5.7	5.7
	悪性新生物(がん)	52	26.9	7.7	25.0	21.2	5.8	3.8	1.9	7.7
	認知症	65	21.5	13.8	23.1	24.6	6.2	4.6	0.0	6.2
	骨折・転倒	18	22.2	16.7	27.8	22.2	5.6	5.6	0.0	0.0
	障がい	13	23.1	0.0	30.8	23.1	7.7	7.7	7.7	0.0
	その他	103	28.2	9.7	23.3	15.5	7.8	5.8	2.9	6.8
主たる 介護者	全体	203	56.9	79.3	59.5	69.7	68.2	66.7	100.0	88.9
	脳血管障害	33	6.9	3.4	10.8	13.6	18.2	6.7	37.5	11.1
	悪性新生物(がん)	30	9.7	13.8	6.8	12.1	4.5	6.7	12.5	16.7
	認知症	42	12.5	24.1	8.1	18.2	4.5	20.0	0.0	22.2
	骨折・転倒	11	4.2	6.9	4.1	3.0	4.5	0.0	0.0	0.0
	障がい	11	1.4	0.0	5.4	4.5	4.5	6.7	12.5	0.0
従たる 介護者	全体	101	43.1	20.7	40.5	30.3	31.8	33.3	0.0	11.1
	脳血管障害	20	4.2	6.9	6.8	10.6	4.5	6.7	0.0	5.6
	悪性新生物(がん)	22	9.7	0.0	10.8	4.5	9.1	6.7	0.0	5.6
	認知症	23	6.9	6.9	12.2	6.1	13.6	0.0	0.0	0.0
	骨折・転倒	7	1.4	3.4	2.7	3.0	0.0	6.7	0.0	0.0
	障がい	2	2.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	27	18.1	3.4	8.1	6.1	4.5	13.3	0.0	0.0	

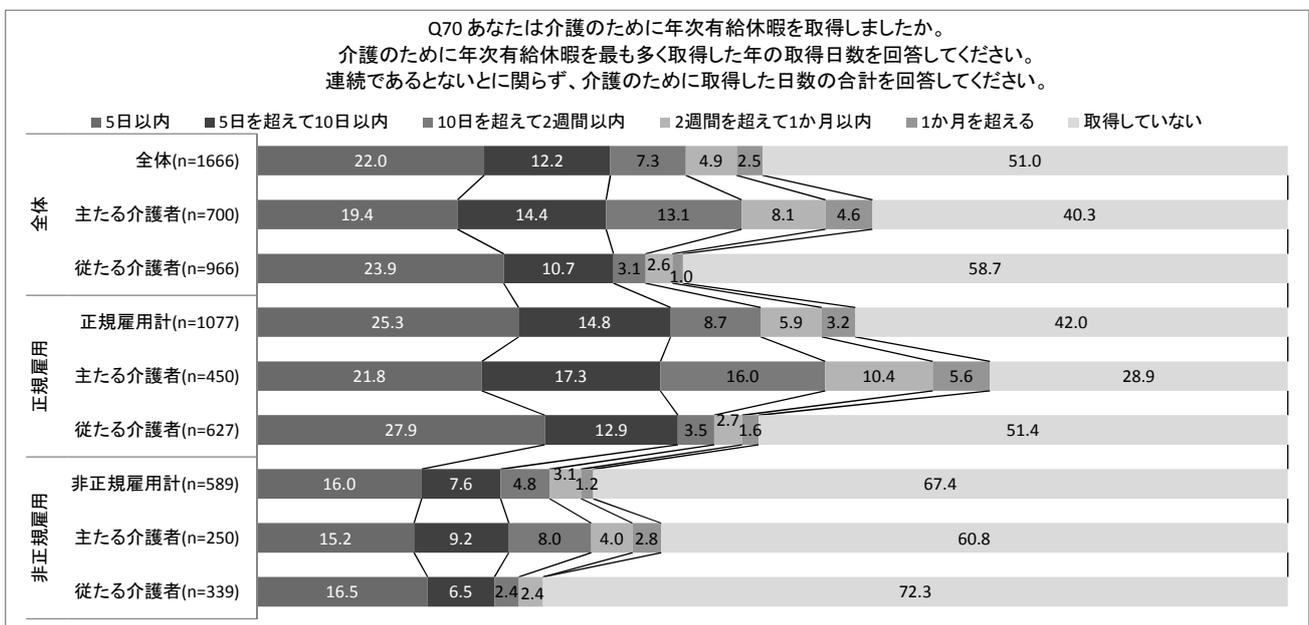
		<p>Q68 時期別の介護休暇取得状況についてお聞きます。 介護期間中の各時期に介護休暇を取得しましたか。 取得した場合は介護休暇取得日数をそれぞれお答えください。 なお、最初と最後以外の介護期間が複数年にわたる場合も 介護休暇取得日数をすべて合計して回答してください。(前問の回答によっては表示されない項目がございます) 【介護が終わった当時(要介護者の介護を終了するまでの概ね3ヶ月程度の期間と考えてください)】</p>								
		全体	介護休暇は取得しなかった	1日未満	1～2日程度	3～5日程度	6～7日程度	8～10日程度	11～15日程度	16日以上
全体		304	22.4	9.2	19.4	24.3	10.2	6.3	2.6	5.6
あなた の介護 原因疾 患は何 です か。	脳血管障害	53	18.9	5.7	17.0	26.4	9.4	9.4	5.7	7.5
	悪性新生物(がん)	52	21.2	3.8	17.3	28.8	11.5	7.7	0.0	9.6
	認知症	65	26.2	6.2	20.0	20.0	12.3	7.7	1.5	6.2
	骨折・転倒	18	27.8	11.1	27.8	16.7	0.0	11.1	5.6	0.0
	障がい	13	23.1	23.1	30.8	23.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	103	21.4	13.6	18.4	25.2	11.7	2.9	2.9	3.9
主たる 介護者	全体	203	21.7	11.3	20.2	21.7	9.9	6.4	2.0	6.9
	脳血管障害	33	21.2	6.1	18.2	21.2	12.1	9.1	3.0	9.1
	悪性新生物(がん)	30	16.7	6.7	26.7	20.0	10.0	6.7	0.0	13.3
	認知症	42	26.2	9.5	19.0	16.7	7.1	9.5	2.4	9.5
	骨折・転倒	11	36.4	9.1	27.3	9.1	0.0	18.2	0.0	0.0
	障がい	11	18.2	27.3	27.3	27.3	0.0	0.0	0.0	0.0
従たる 介護者	全体	101	23.8	5.0	17.8	29.7	10.9	5.9	4.0	3.0
	脳血管障害	20	15.0	5.0	15.0	35.0	5.0	10.0	10.0	5.0
	悪性新生物(がん)	22	27.3	0.0	4.5	40.9	13.6	9.1	0.0	4.5
	認知症	23	26.1	0.0	21.7	26.1	21.7	4.3	0.0	0.0
	骨折・転倒	7	14.3	14.3	28.6	28.6	0.0	0.0	14.3	0.0
	障がい	2	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	27	25.9	11.1	22.2	22.2	7.4	3.7	3.7	3.7

ウ) 年次有給休暇の取得状況

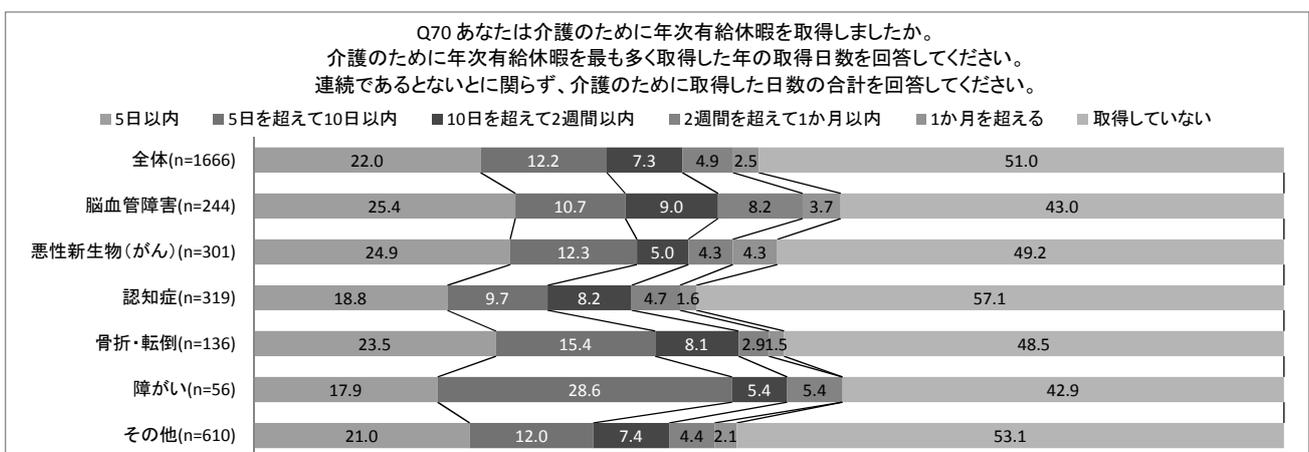
- 介護のための年次有給休暇の取得状況について、最も多く休暇を取得した年の取得日数について、雇用者全体で51.0%が「取得していない」と回答。取得者は「5日以内」との回答が全体の22.0%で最も多く、次いで「5日を超えて10日以内」が12.2%であった。
- 主たる介護者では「取得していない」回答が40.3%と減少し、「5日以内」が19.4%、「5日を超えて10日以内」が14.4%、「10日を超えて2週間以内」が13.1%であった。
- 雇用形態別にみると正規雇用では非正規雇用と比較して「取得していない」との回答割合が低い傾向にあり、正規雇用の主たる介護者では「取得していない」は28.9%に留まった。
- 原因疾患別にみると「認知症」では介護休暇取得者が他と比べて少ない傾向がみられた。
- 介護の時期別にみると、開始時から中間期、終了時に向けて「年次有給休暇は取得しなかった」回答の減少がみられた。また、従たる介護者の場合、主たる介護者と比べ「年次有給休暇を取得しなかった」割合は高い傾向がみられた。
- 介護3期間すべてに回答した者（6か月以上の介護を行った者）のみで集計を行うと、介護開始時（3か月）では「年次有給休暇を取得しなかった」者が24.6%存在したが、中間期には11.2%に減少、終了時（終端3か月程度）でも12.4%程度であった。

(a) 年次有給休暇取得日数（最も多く介護のための年次有給休暇を取得した年1年間の取得日数）

【雇用形態別】



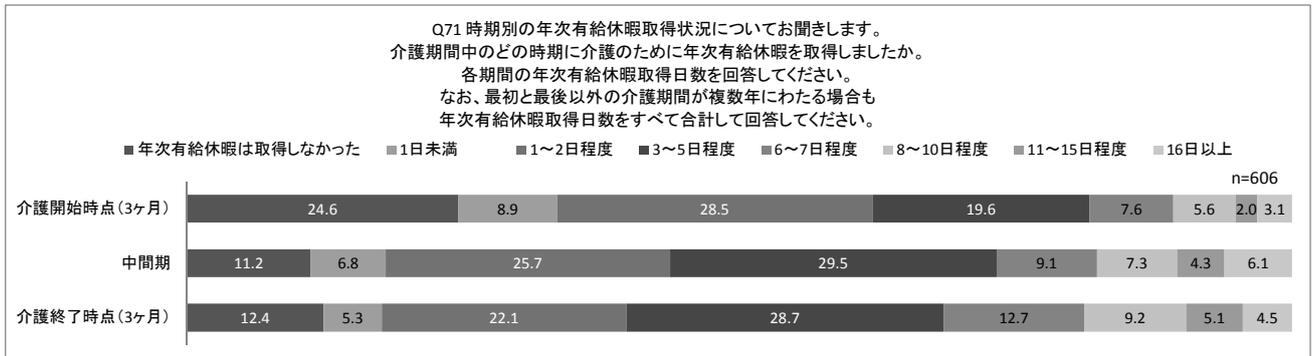
【原因疾患別】



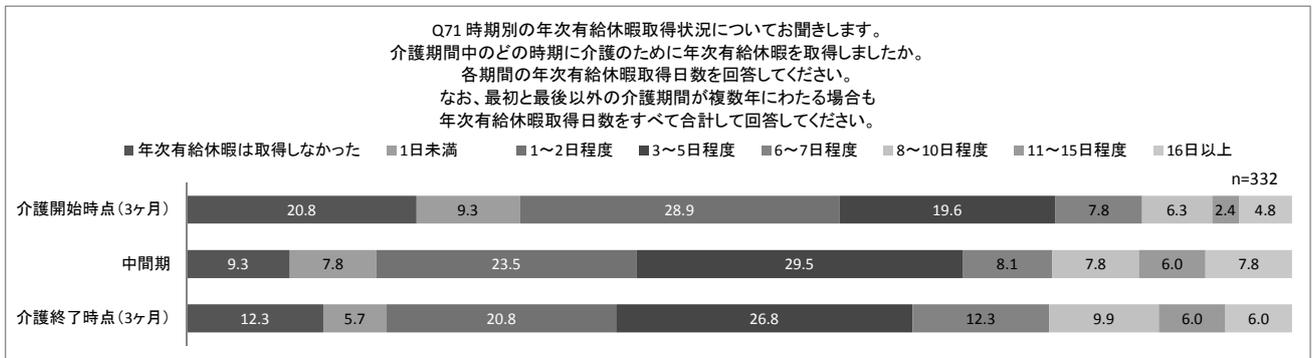
(b) 年次有給休暇取得日数（介護時期別取得日数）

【3 期間全回答者（介護期間 6 か月以上の者のみ）】

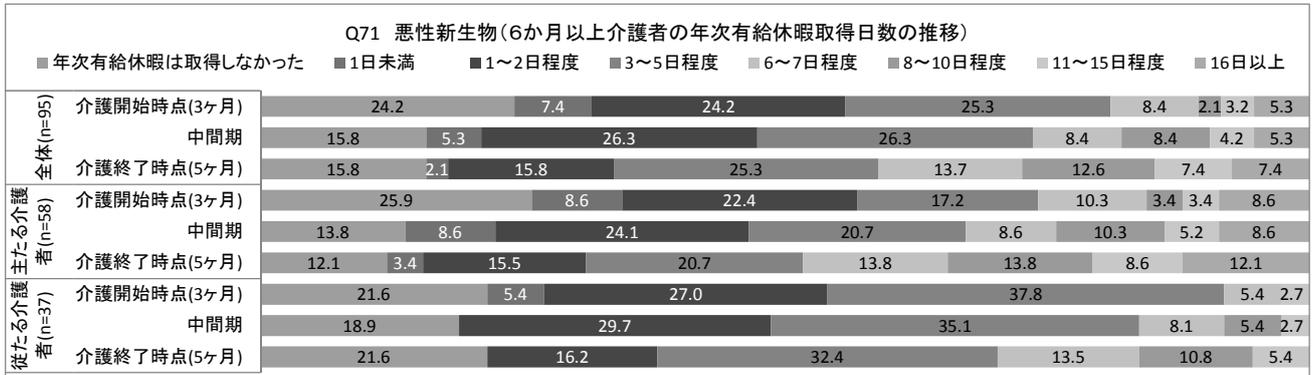
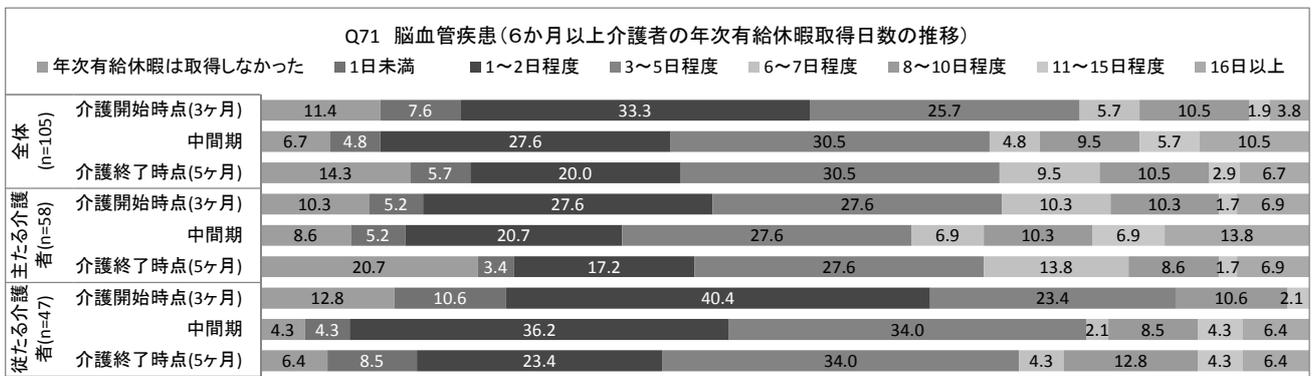
【介護開始時、中間期、介護終了時の 3 期間すべてについて回答した者について集計（介護期間が 6 ヶ月以上に及んだ方で介護期間中に介護のための年次有給休暇を取得した経験を有する者）】

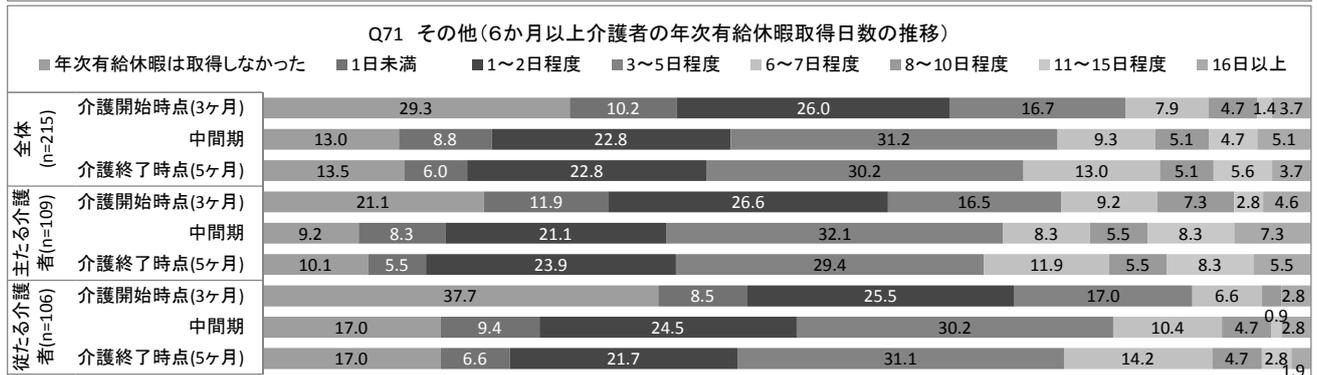
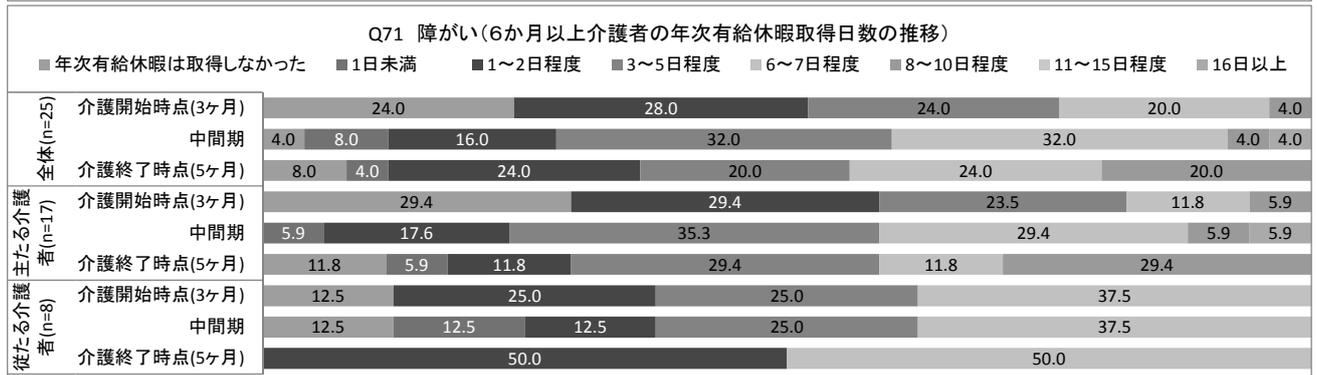
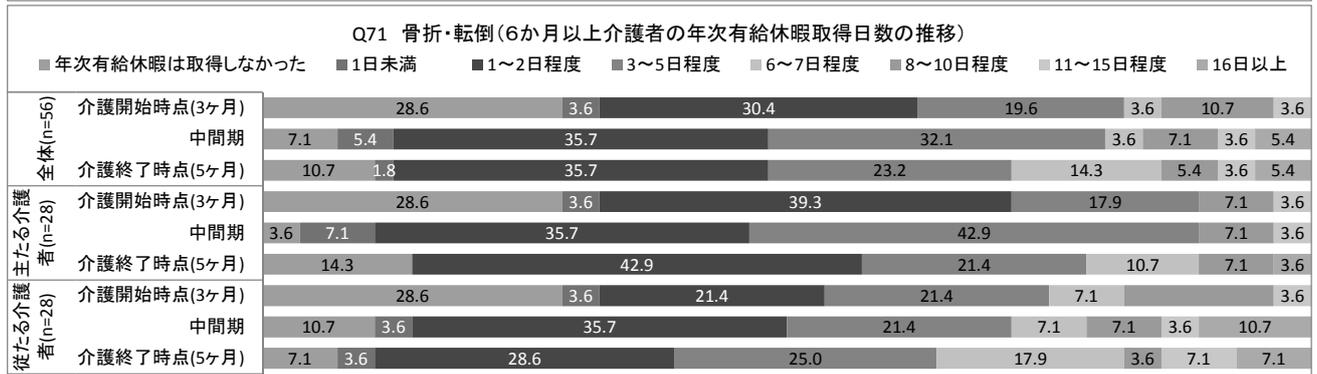
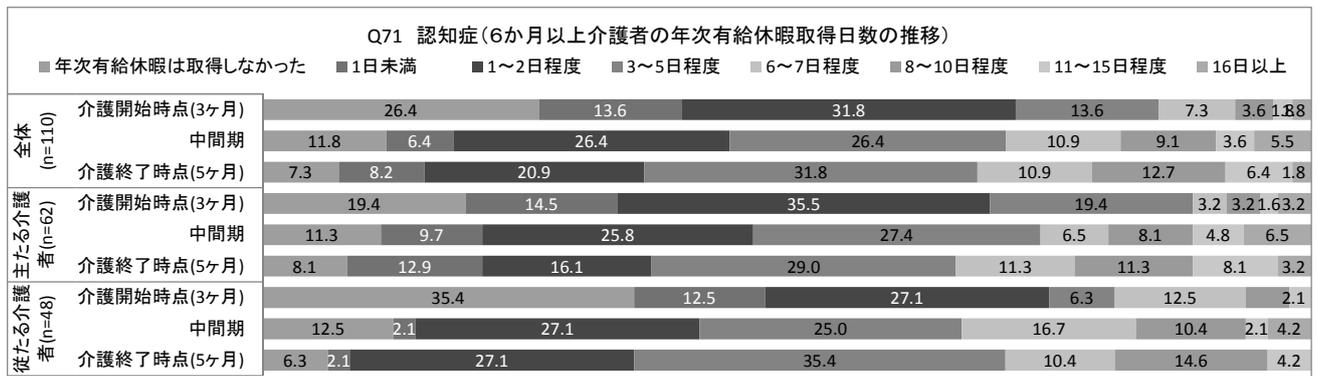


<うち主たる介護者>



<原因疾患別・期間別（介護期間 6 か月以上の者のみ）推移>





【参考】＜原因疾患別・期間別（介護期間6か月以上の者のみ）（n=606）＞

		Q71 時期別の年次有給休暇取得状況についてお聞きします。 介護期間中のどの時期に介護のために年次有給休暇を取得しましたか。 各期間の年次有給休暇取得日数を回答してください。 なお、最初と最後以外の介護期間が複数年にわたる場合も 年次有給休暇取得日数をすべて合計して回答してください。 （前問の回答によっては表示されない項目がございます） 【介護が始まった当時（要介護者の介護を開始してから概ね3ヶ月程度の期間と考えてください）】								
		全体	年次有給 休暇は取 得しな かった	1日未満	1～2日程 度	3～5日程 度	6～7日程 度	8～10日 程度	11～15日 程度	16日以上
全体		606	24.6	8.9	28.5	19.6	7.6	5.6	2.0	3.1
あなたの介護 原因疾患は 何ですか。	脳血管障害	105	11.4	7.6	33.3	25.7	5.7	10.5	1.9	3.8
	悪性新生物(がん)	95	24.2	7.4	24.2	25.3	8.4	2.1	3.2	5.3
	認知症	110	26.4	13.6	31.8	13.6	7.3	3.6	1.8	1.8
	骨折・転倒	56	28.6	3.6	30.4	19.6	3.6	10.7	3.6	0.0
	障がい	25	24.0	0.0	28.0	24.0	20.0	4.0	0.0	0.0
	その他	215	29.3	10.2	26.0	16.7	7.9	4.7	1.4	3.7
主たる 介護者	全体	332	20.8	9.3	28.9	19.6	7.8	6.3	2.4	4.8
	脳血管障害	58	10.3	5.2	27.6	27.6	10.3	10.3	1.7	6.9
	悪性新生物(がん)	58	25.9	8.6	22.4	17.2	10.3	3.4	3.4	8.6
	認知症	62	19.4	14.5	35.5	19.4	3.2	3.2	1.6	3.2
	骨折・転倒	28	28.6	3.6	39.3	17.9	0.0	7.1	3.6	0.0
	障がい	17	29.4	0.0	29.4	23.5	11.8	5.9	0.0	0.0
従たる 介護者	全体	274	29.2	8.4	28.1	19.7	7.3	4.7	1.5	1.1
	脳血管障害	47	12.8	10.6	40.4	23.4	0.0	10.6	2.1	0.0
	悪性新生物(がん)	37	21.6	5.4	27.0	37.8	5.4	0.0	2.7	0.0
	認知症	48	35.4	12.5	27.1	6.3	12.5	4.2	2.1	0.0
	骨折・転倒	28	28.6	3.6	21.4	21.4	7.1	14.3	3.6	0.0
	障がい	8	12.5	0.0	25.0	25.0	37.5	0.0	0.0	0.0
その他	106	37.7	8.5	25.5	17.0	6.6	1.9	0.0	2.8	

		Q71 時期別の年次有給休暇取得状況についてお聞きします。 介護期間中のどの時期に介護のために年次有給休暇を取得しましたか。 各期間の年次有給休暇取得日数を回答してください。 なお、最初と最後以外の介護期間が複数年にわたる場合も 年次有給休暇取得日数をすべて合計して回答してください。 （前問の回答によっては表示されない項目がございます） 【最初と最後以外の介護期間】								
		全体	年次有給 休暇は取 得しな かった	1日未満	1～2日程 度	3～5日程 度	6～7日程 度	8～10日 程度	11～15日 程度	16日以上
全体		606	11.2	6.8	25.7	29.5	9.1	7.3	4.3	6.1
あなたの介護 原因疾患は 何ですか。	脳血管障害	105	6.7	4.8	27.6	30.5	4.8	9.5	5.7	10.5
	悪性新生物(がん)	95	15.8	5.3	26.3	26.3	8.4	8.4	4.2	5.3
	認知症	110	11.8	6.4	26.4	26.4	10.9	9.1	3.6	5.5
	骨折・転倒	56	7.1	5.4	35.7	32.1	3.6	7.1	3.6	5.4
	障がい	25	4.0	8.0	16.0	32.0	32.0	4.0	0.0	4.0
	その他	215	13.0	8.8	22.8	31.2	9.3	5.1	4.7	5.1
主たる 介護者	全体	332	9.3	7.8	23.5	29.5	8.1	7.8	6.0	7.8
	脳血管障害	58	8.6	5.2	20.7	27.6	6.9	10.3	6.9	13.8
	悪性新生物(がん)	58	13.8	8.6	24.1	20.7	8.6	10.3	5.2	8.6
	認知症	62	11.3	9.7	25.8	27.4	6.5	8.1	4.8	6.5
	骨折・転倒	28	3.6	7.1	35.7	42.9	0.0	7.1	3.6	0.0
	障がい	17	0.0	5.9	17.6	35.3	29.4	5.9	0.0	5.9
従たる 介護者	全体	274	13.5	5.5	28.5	29.6	10.2	6.6	2.2	4.0
	脳血管障害	47	4.3	4.3	36.2	34.0	2.1	8.5	4.3	6.4
	悪性新生物(がん)	37	18.9	0.0	29.7	35.1	8.1	5.4	2.7	0.0
	認知症	48	12.5	2.1	27.1	25.0	16.7	10.4	2.1	4.2
	骨折・転倒	28	10.7	3.6	35.7	21.4	7.1	7.1	3.6	10.7
	障がい	8	12.5	12.5	12.5	25.0	37.5	0.0	0.0	0.0
その他	106	17.0	9.4	24.5	30.2	10.4	4.7	0.9	2.8	

		Q71 時期別の年次有給休暇取得状況についてお聞きます。 介護期間中のどの時期に介護のために年次有給休暇を取得しましたか。 各期間の年次有給休暇取得日数を回答してください。 なお、最初と最後以外の介護期間が複数年にわたる場合も 年次有給休暇取得日数をすべて合計して回答してください。 (前問の回答によっては表示されない項目がございます) 【介護が終わった当時(要介護者の介護を終了するまでの概ね3ヶ月程度の期間と考えてください)】								
		全体	年次有給 休暇は取 得しな かった	1日未満	1～2日程 度	3～5日程 度	6～7日程 度	8～10日 程度	11～15日 程度	16日以上
全体		606	12.4	5.3	22.1	28.7	12.7	9.2	5.1	4.5
あなた の介護 原因疾 患は何 です か。	脳血管障害	105	14.3	5.7	20.0	30.5	9.5	10.5	2.9	6.7
	悪性新生物(がん)	95	15.8	2.1	15.8	25.3	13.7	12.6	7.4	7.4
	認知症	110	7.3	8.2	20.9	31.8	10.9	12.7	6.4	1.8
	骨折・転倒	56	10.7	1.8	35.7	23.2	14.3	5.4	3.6	5.4
	障がい	25	8.0	4.0	24.0	20.0	24.0	20.0	0.0	0.0
	その他	215	13.5	6.0	22.8	30.2	13.0	5.1	5.6	3.7
主たる 介護者	全体	332	12.3	5.7	20.8	26.8	12.3	9.9	6.0	6.0
	脳血管障害	58	20.7	3.4	17.2	27.6	13.8	8.6	1.7	6.9
	悪性新生物(がん)	58	12.1	3.4	15.5	20.7	13.8	13.8	8.6	12.1
	認知症	62	8.1	12.9	16.1	29.0	11.3	11.3	8.1	3.2
	骨折・転倒	28	14.3	0.0	42.9	21.4	10.7	7.1	0.0	3.6
	障がい	17	11.8	5.9	11.8	29.4	11.8	29.4	0.0	0.0
従たる 介護者	全体	274	12.4	4.7	23.7	31.0	13.1	8.4	4.0	2.6
	脳血管障害	47	6.4	8.5	23.4	34.0	4.3	12.8	4.3	6.4
	悪性新生物(がん)	37	21.6	0.0	16.2	32.4	13.5	10.8	5.4	0.0
	認知症	48	6.3	2.1	27.1	35.4	10.4	14.6	4.2	0.0
	骨折・転倒	28	7.1	3.6	28.6	25.0	17.9	3.6	7.1	7.1
	障がい	8	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	その他	106	17.0	6.6	21.7	31.1	14.2	4.7	2.8	1.9

エ) 労働時間の短縮に関する制度の利用状況

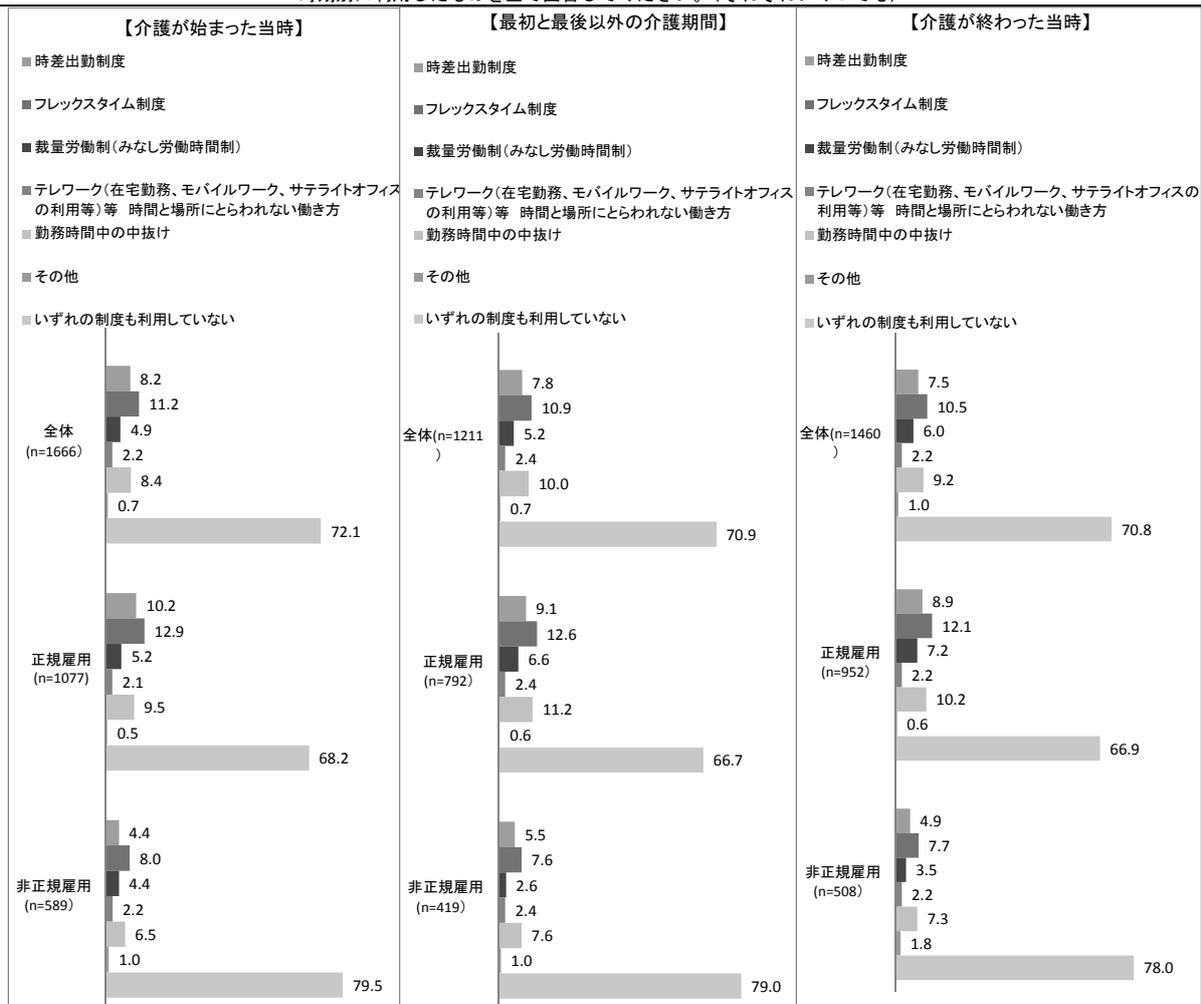
(a) 勤務時間に関して利用した制度

- 雇用者全体では勤務時間の変更に関する制度は活用しなかったとの回答が3期間とも7割を超えた。
- 制度を活用した場合には「フレックスタイム制度」や「勤務時間中の中抜け」などの回答割合が高かった。
- 雇用形態別では非正規雇用と比較して正規雇用において制度利用の割合が高かった。
- 主たる介護者であった場合は従たる介護者であった場合よりも制度利用の回答割合が高かった。
- 原因疾患別では「脳血管疾患」において制度利用の回答割合が高かった。

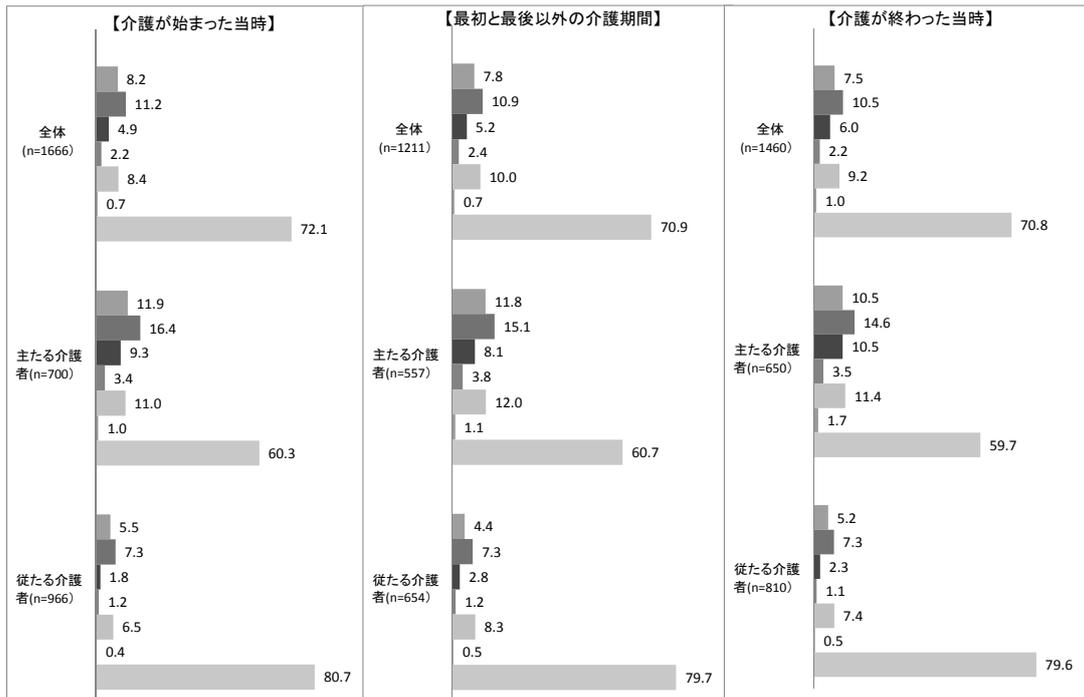
【雇用形態別】

Q78 勤務時間に関する状況についてうかがいます。

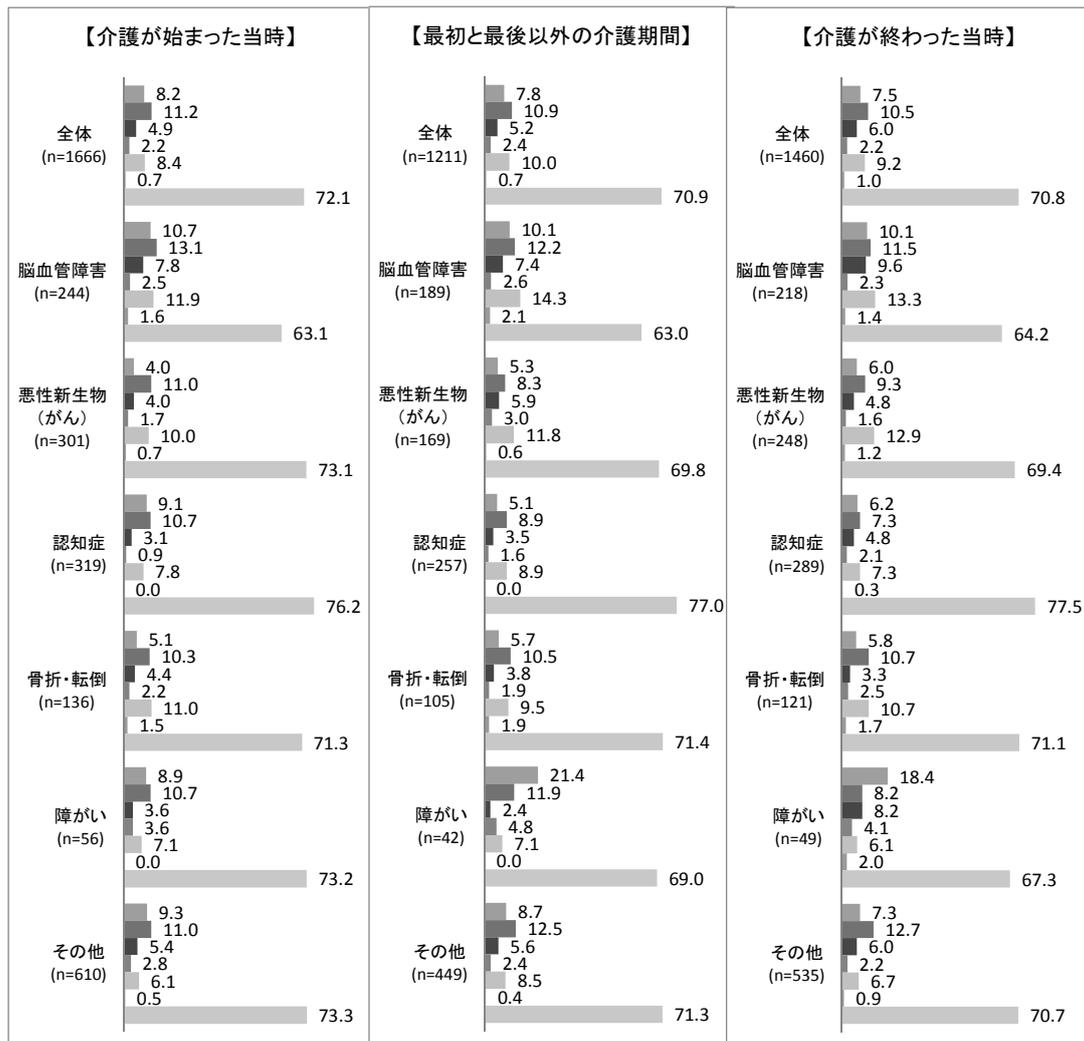
仕事と介護の両立に際して、
 出勤や退勤など勤務時間の変更や日中の介護対応時間を確保できる制度や工夫をしましたか。
 時期別に利用したものを全て回答してください。(それぞれいくつでも)



【主たる介護者が否か】

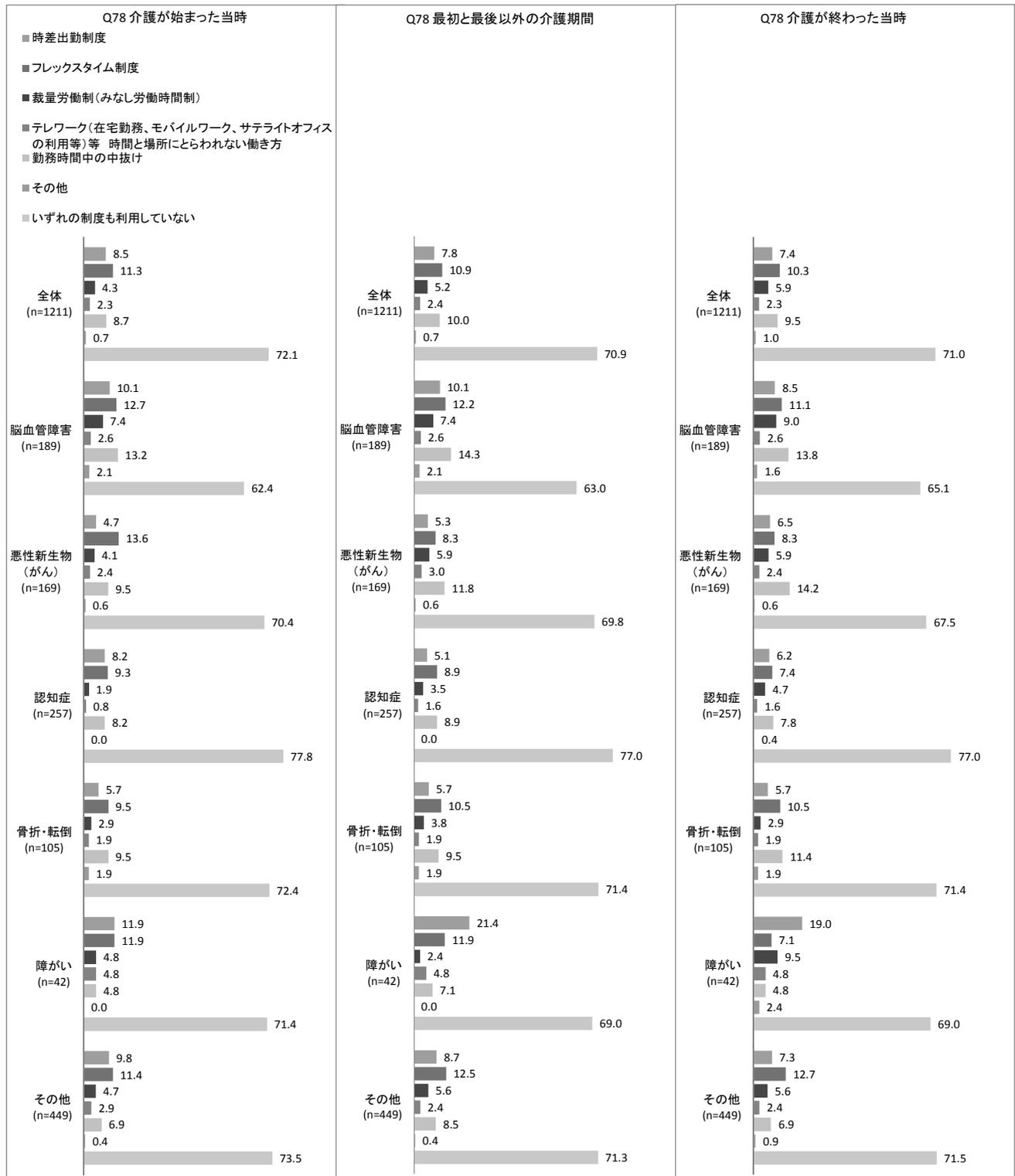


【原因疾患別】

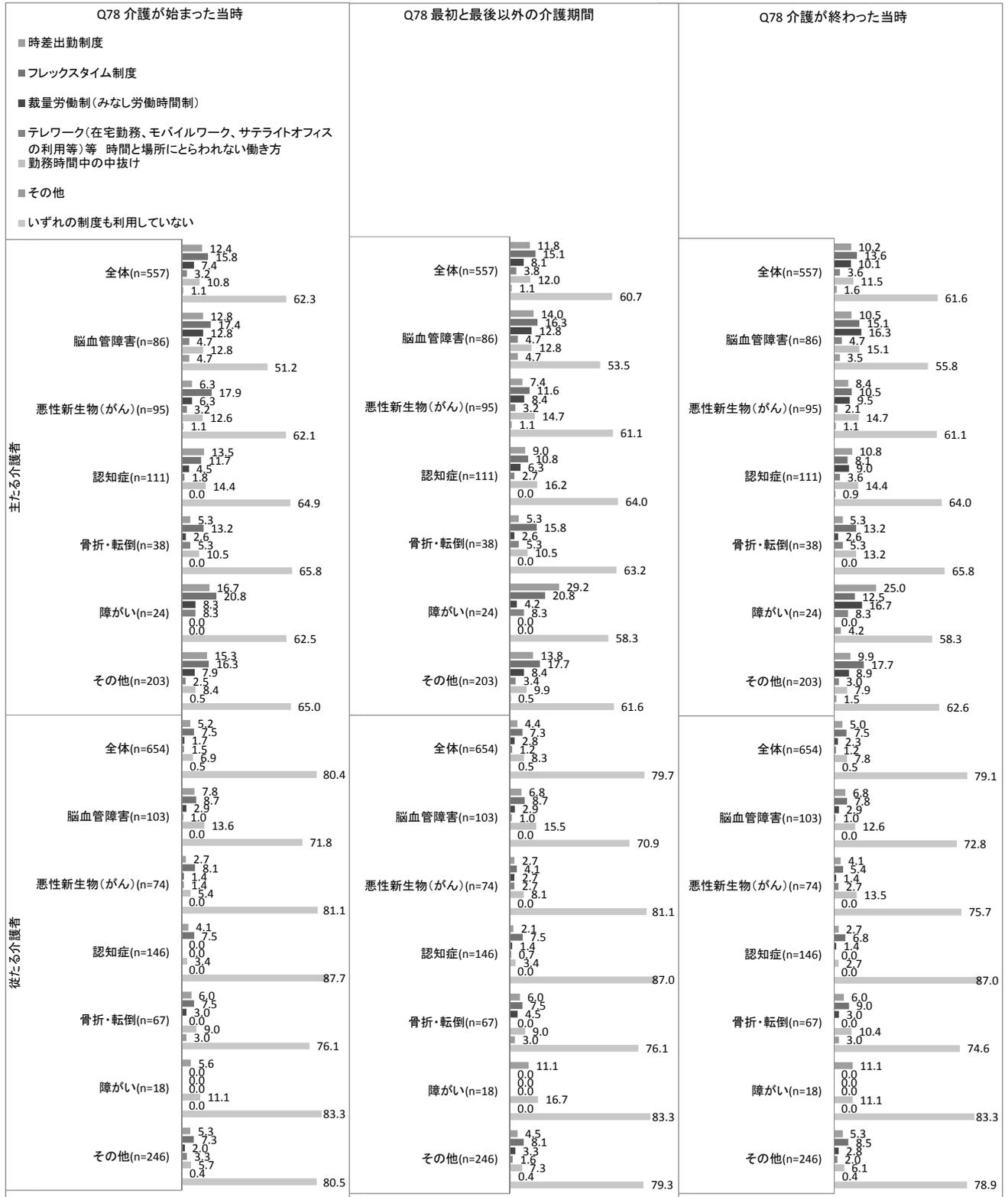


<原因疾患別・期間別（介護期間6か月以上の者のみ）（n=1211）>

【主たる介護者・従たる介護者計】



【主たる介護者・従たる介護者別】

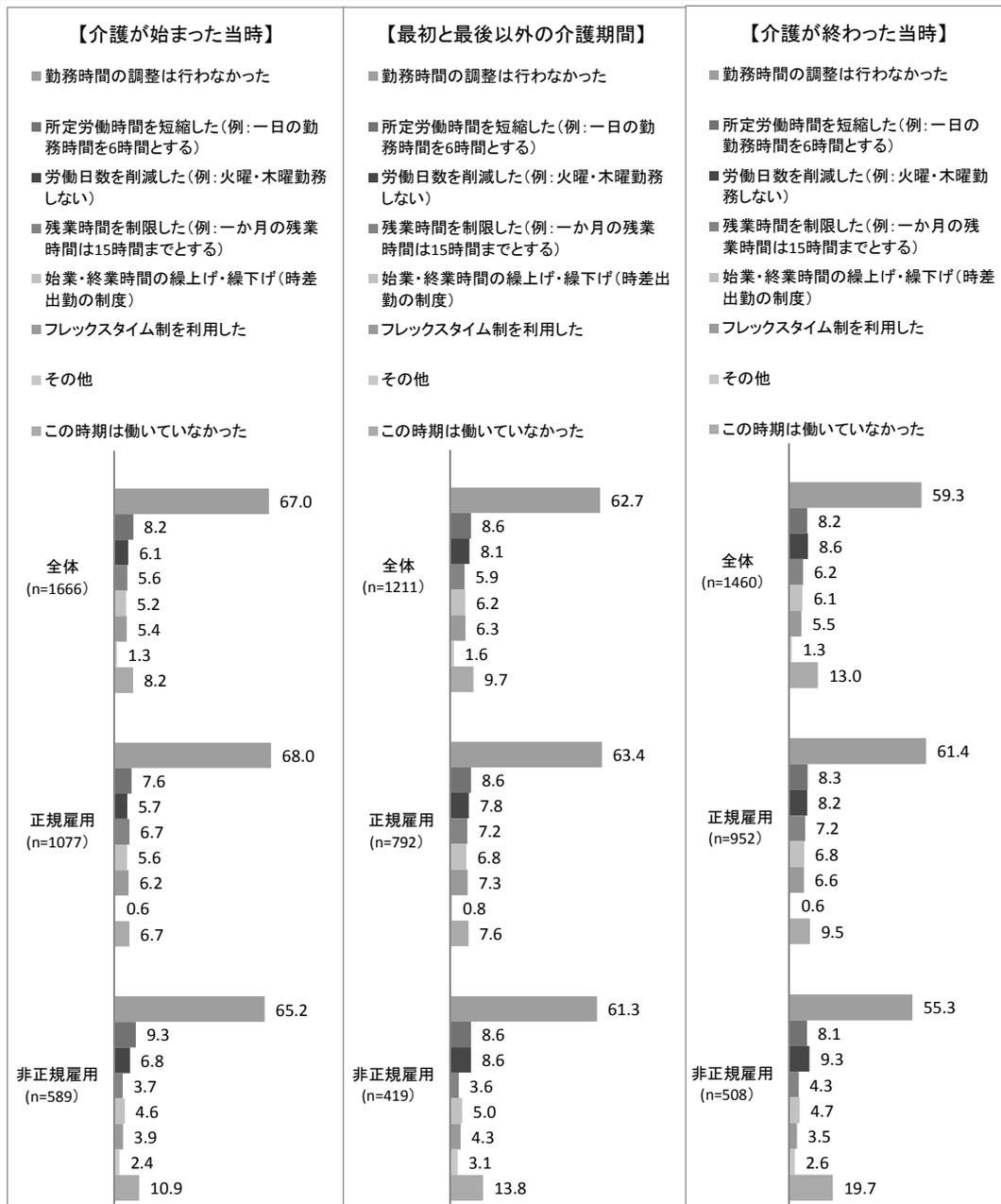


(b) 勤務時間の調整方法

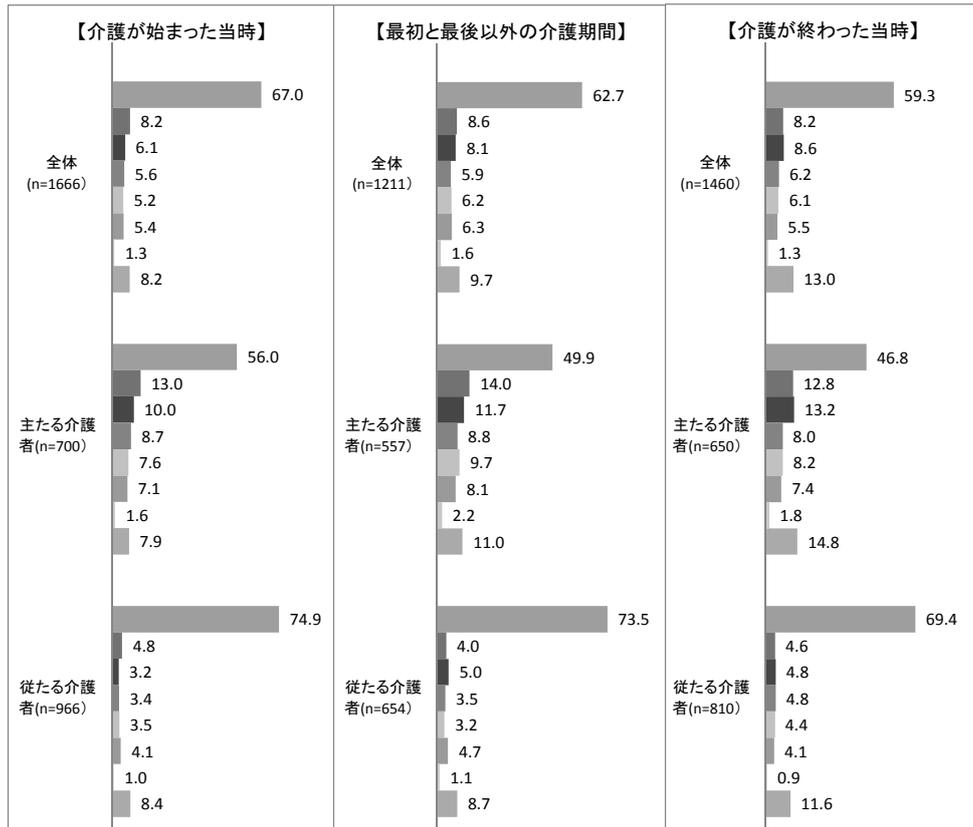
- 雇用者全体では3期間すべてで「勤務時間の調整は行わなかった」の回答割合が最も多かったが、介護開始時から中間期、介護終了時にかけて「勤務時間調整を行わなかった」者の割合は低下した。
- 正規雇用かつ主たる介護者においては介護開始と介護終了時で「勤務時間調整を行わなかった」者の割合が1割近く低下した。

【雇用形態別】

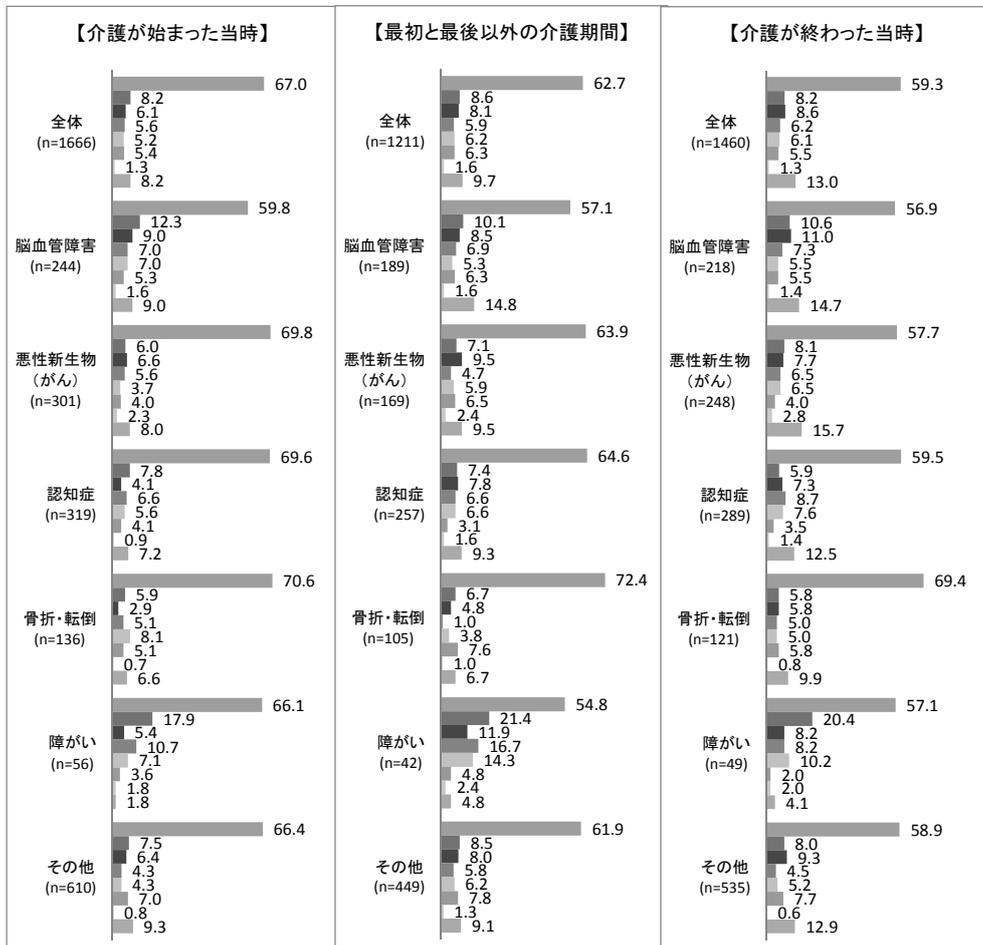
Q79 介護を理由としての勤務時間に関してうかがいます。
次の各時期に勤務時間の調整を行いましたか。
調整を行った方はその方法をお答えください。(それぞれいくつでも)



【主たる介護者が否か】

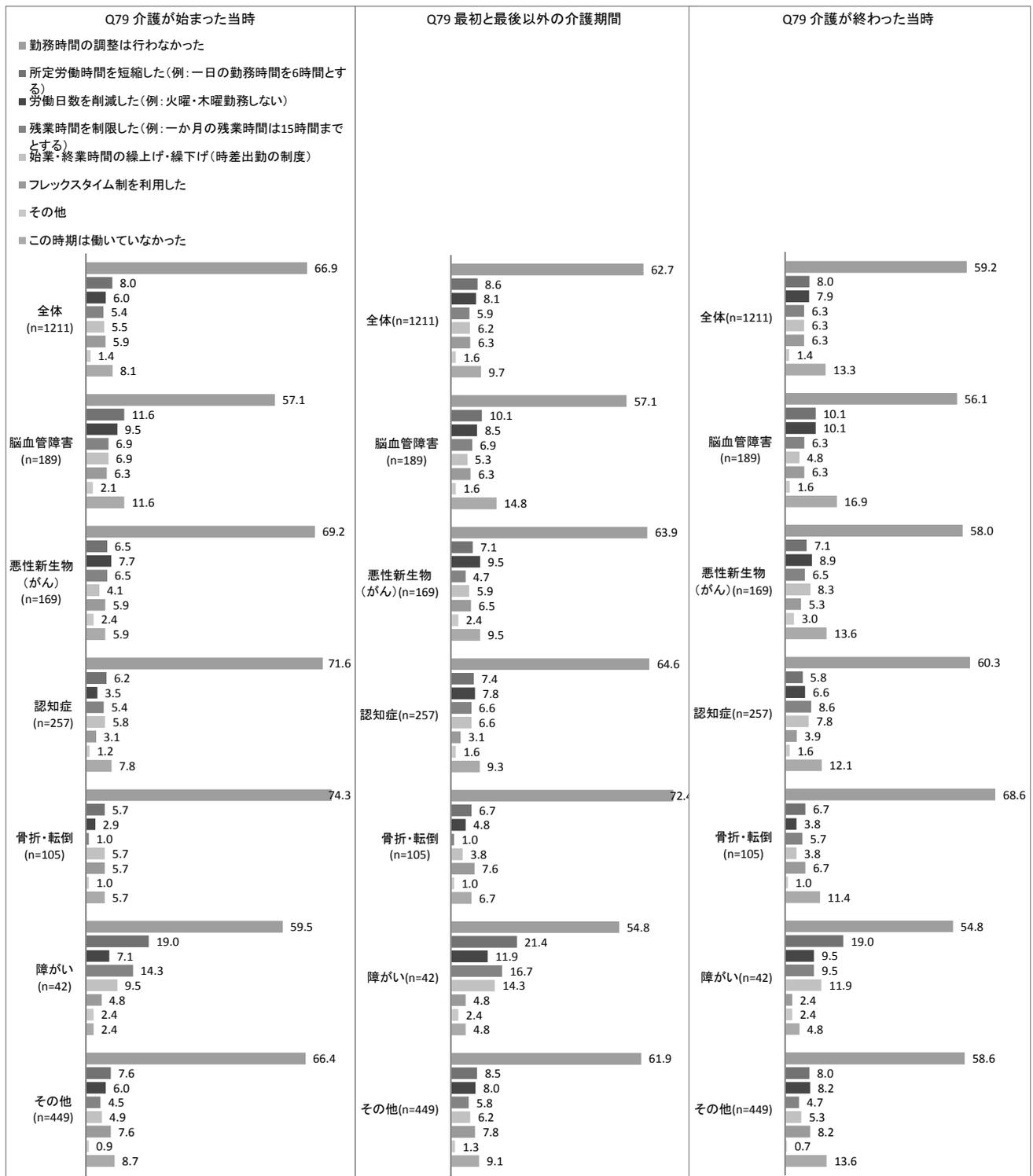


【原因疾患別】

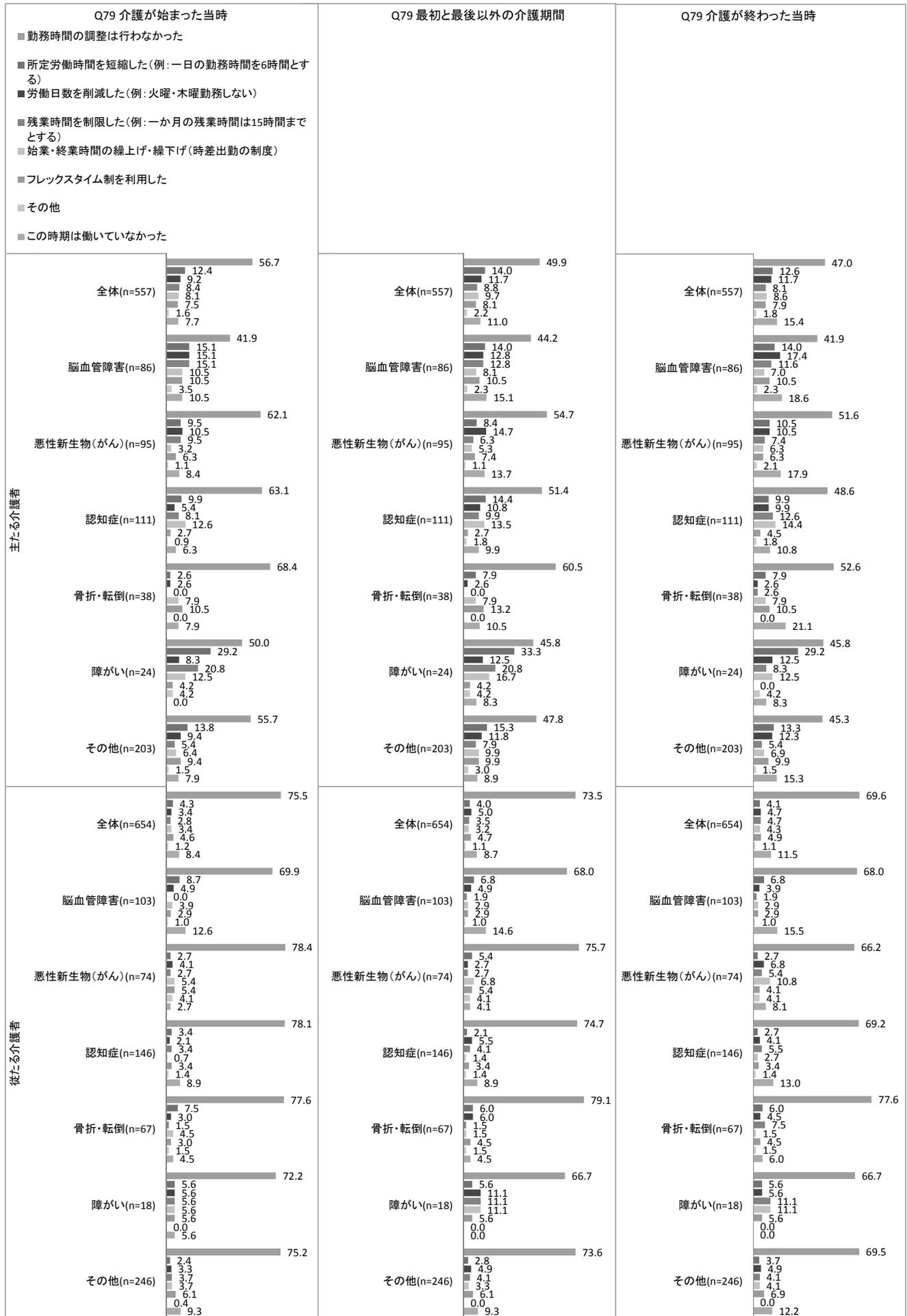


<原因疾患別・期間別（介護期間6か月以上の者のみ）（n=1211）>

【主たる介護者・従たる介護者計】



【主たる介護者・従たる介護者別】

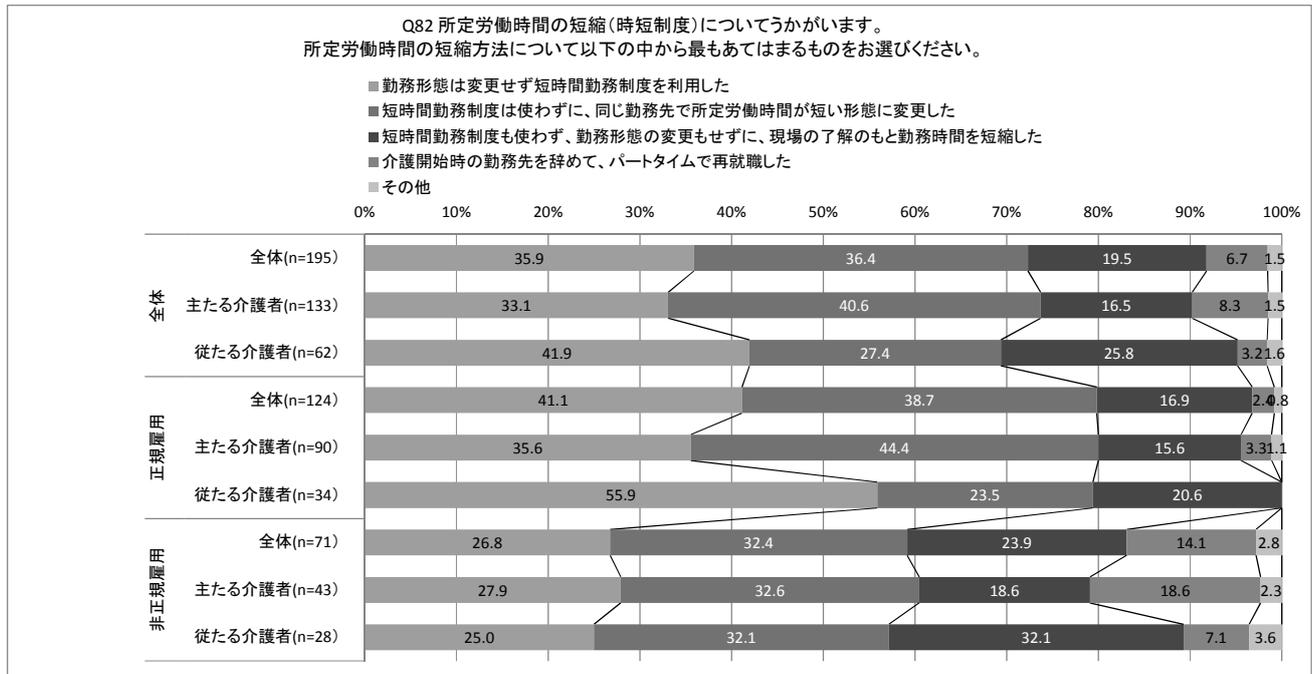


(c) 所定労働時間の短縮方法

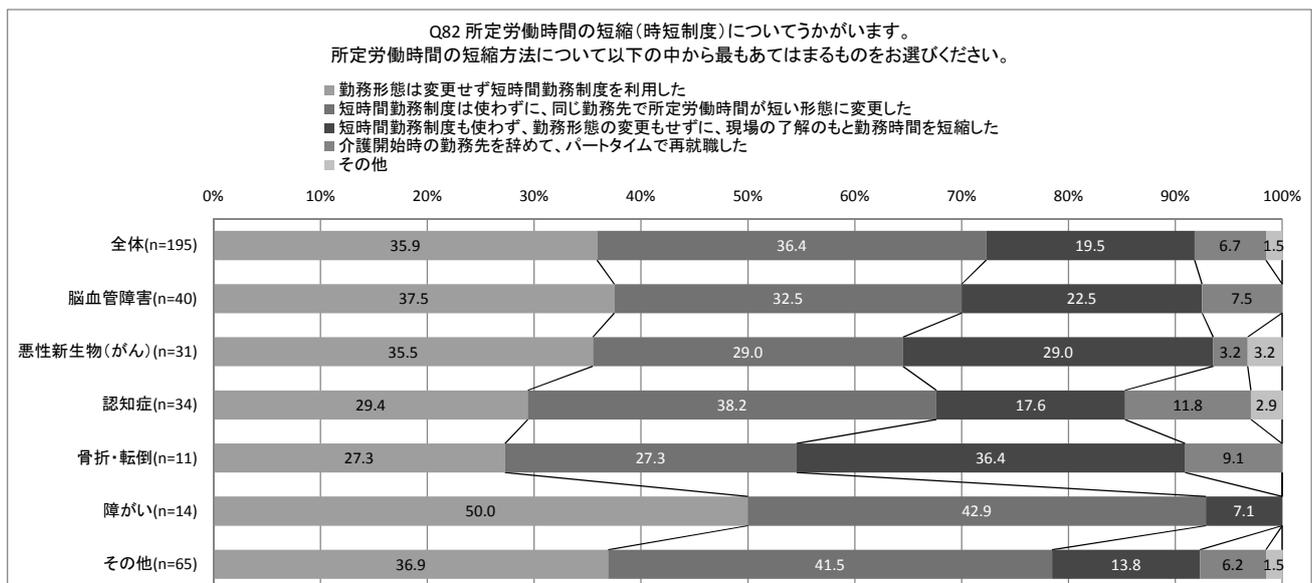
【Q79で所定労働時間を短縮したと回答した者に限る (n=195)】

- 所定労働時間の短縮の方法については正規雇用全体では「勤務形態は変更せず短時間勤務制度を利用した」が41.1%最も多く、次いで「短時間勤務制度は使わずに、同じ勤務先で所定労働時間が短い形態に変更した」が38.7%であった。主たる介護者に限定するとこの比率は逆転し「短時間勤務制度は使わずに、同じ勤務先で所定労働時間が短い形態に変更した」が44.4%で最多となった。
- 非正規雇用では、正規雇用と比較して「介護開始時の勤務先を辞めて、パートタイムで再就職した」との回答が多くみられた。

【雇用形態別】



【原因疾患別】



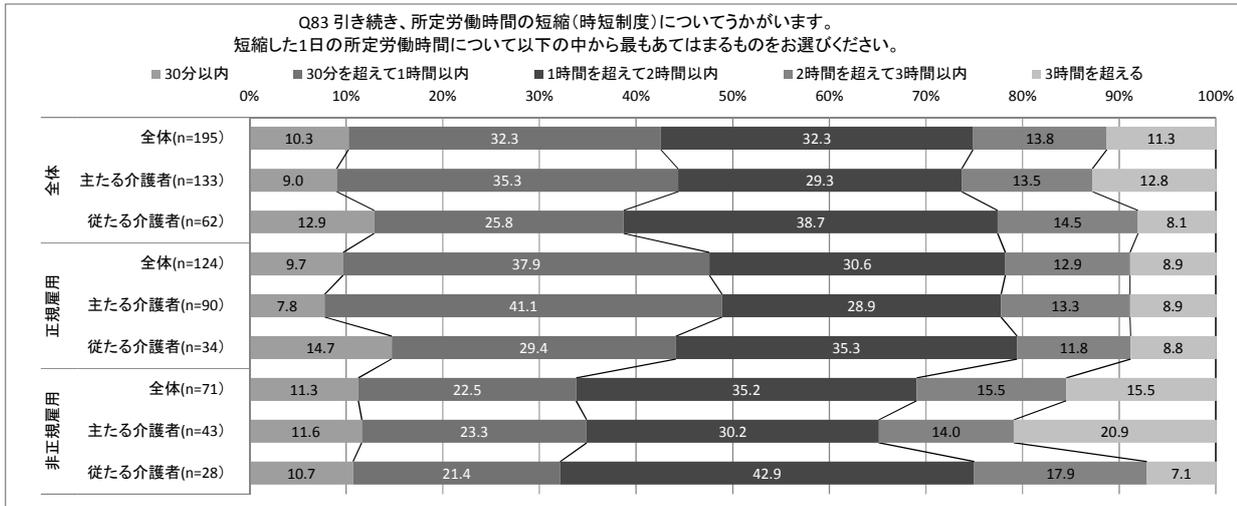
<原因疾患別（介護期間6か月以上の者のみ）(n=147)>

		Q82 所定労働時間の短縮(時短制度)についていかがいます。 所定労働時間の短縮方法について以下の中から最もあてはまるものをお選びください。					
		全体	勤務形態は変更せず短時間勤務制度を利用した	短時間勤務制度は使わずに、同じ勤務先で所定労働時間が短い形態に変更した	短時間勤務制度も使わず、勤務形態の変更もせずに、現場の了解のもと勤務時間を短縮した	介護開始時の勤務先を辞めて、パートタイムで再就職した	その他
全体		147	38.1	35.4	16.3	8.2	2.0
あなた の介護 原因疾 患は何 です か。	脳血管障害	31	41.9	29.0	19.4	9.7	0.0
	悪性新生物(がん)	20	40.0	25.0	25.0	5.0	5.0
	認知症	25	32.0	36.0	16.0	12.0	4.0
	骨折・転倒	9	33.3	33.3	22.2	11.1	0.0
	障がい	11	36.4	54.5	9.1	0.0	0.0
	その他	51	39.2	39.2	11.8	7.8	2.0
主たる 介護者	全体	106	36.8	38.7	13.2	9.4	1.9
	脳血管障害	20	35.0	35.0	20.0	10.0	0.0
	悪性新生物(がん)	15	40.0	33.3	13.3	6.7	6.7
	認知症	17	29.4	35.3	17.6	17.6	0.0
	骨折・転倒	3	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0
	障がい	10	40.0	50.0	10.0	0.0	0.0
従たる 介護者	全体	41	41.5	26.8	24.4	4.9	2.4
	脳血管障害	11	54.5	18.2	18.2	9.1	0.0
	悪性新生物(がん)	5	40.0	0.0	60.0	0.0	0.0
	認知症	8	37.5	37.5	12.5	0.0	12.5
	骨折・転倒	6	50.0	16.7	16.7	16.7	0.0
	障がい	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	その他	10	30.0	40.0	30.0	0.0	0.0

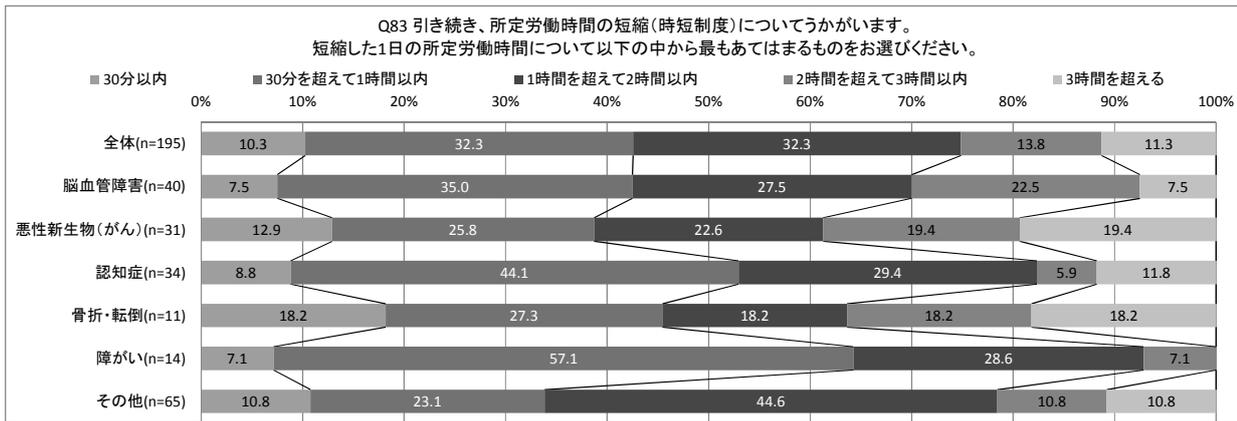
(c)-1 短縮した労働時間

- 短縮した1日あたりの所定労働時間は、正規雇用の主たる介護者で「30分を超えて1時間以内」が41.1%で最も多く、次いで「2時間を超えて3時間以内」が28.9%であった。
- 非正規雇用では正規雇用と比較して短縮した時間が長い傾向がみられる。

【雇用形態別】



【原因疾患別】



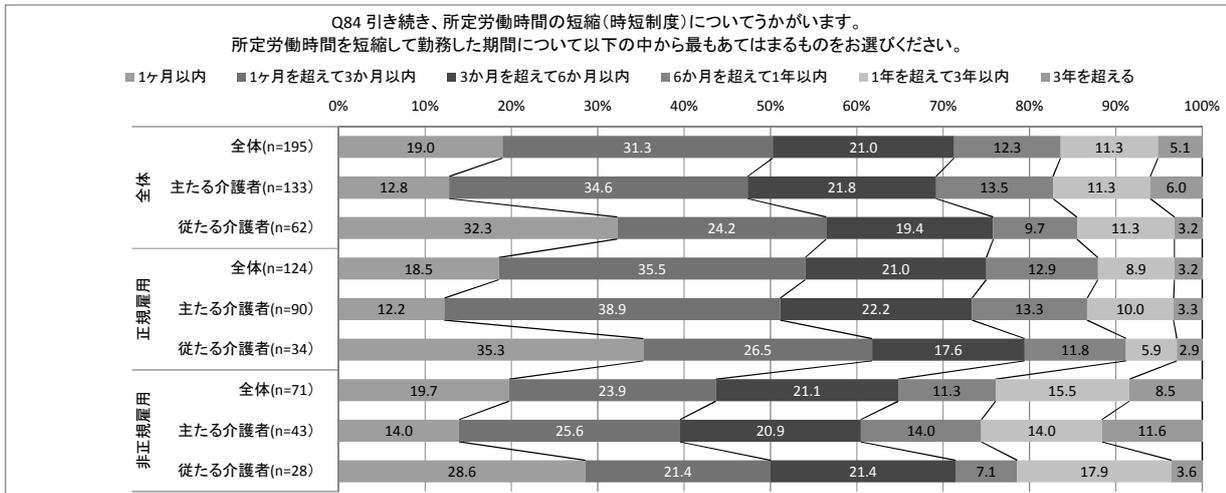
<原因疾患別(介護期間6か月以上の者のみ)(n=147)>

		Q83 引き続き、所定労働時間の短縮(時短制度)についてうかがいます。 短縮した1日の所定労働時間について以下の中から最もあてはまるものをお選びください。					
		全体	30分以内	30分を超えて1時間以内	1時間を超えて2時間以内	2時間を超えて3時間以内	3時間を超える
全体		147	10.2	27.2	32.7	16.3	13.6
あなた の介護 原因疾 患は何 です か。	脳血管障害	31	6.5	32.3	29.0	22.6	9.7
	悪性新生物(がん)	20	10.0	30.0	10.0	25.0	25.0
	認知症	25	12.0	36.0	32.0	8.0	12.0
	骨折・転倒	9	22.2	11.1	22.2	22.2	22.2
	障がい	11	9.1	63.6	18.2	9.1	0.0
	その他	51	9.8	13.7	49.0	13.7	13.7
	主たる 介護者	全体	106	9.4	30.2	30.2	16.0
脳血管障害	20	5.0	35.0	25.0	25.0	10.0	
悪性新生物(がん)	15	6.7	33.3	6.7	26.7	26.7	
認知症	17	11.8	35.3	29.4	5.9	17.6	
骨折・転倒	3	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0	
障がい	10	10.0	70.0	10.0	10.0	0.0	
その他	41	9.8	14.6	48.8	12.2	14.6	
従たる 介護者	全体	41	12.2	19.5	39.0	17.1	12.2
脳血管障害	11	9.1	27.3	36.4	18.2	9.1	
悪性新生物(がん)	5	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	
認知症	8	12.5	37.5	37.5	12.5	0.0	
骨折・転倒	6	16.7	0.0	33.3	16.7	33.3	
障がい	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	
その他	10	10.0	10.0	50.0	20.0	10.0	

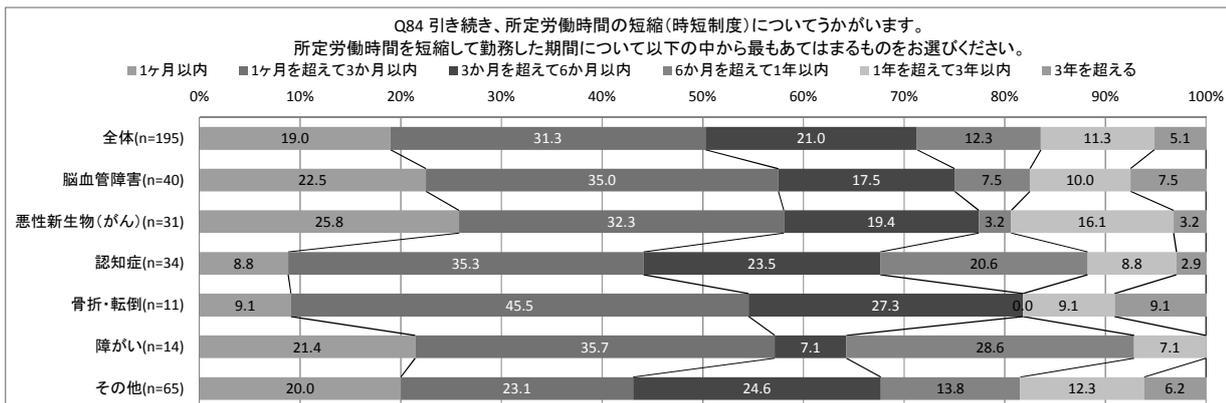
(c)-2 所定労働時間短縮の継続期間

- 所定労働時間の短縮を継続した期間は、正規雇用の主たる介護者では「1 か月を超えて 3 か月以内」が 38.9%で最も多く、次いで「3 か月を超えて 6 か月以内」が 22.2%であった。
- 非正規雇用では、正規雇用と比較して所定労働時間の短縮の継続期間が長い傾向がみられる。
- 原因疾患別では「認知症」において所定労働時間の短縮の継続期間が長い傾向がみられる。

【雇用形態別】



【原因疾患別】



<原因疾患別 (介護期間6か月以上の者のみ) (n=147) >

		Q84 引き続き、所定労働時間の短縮(時短制度)についてうかがいます。 所定労働時間を短縮して勤務した期間について以下の中から最もあてはまるものをお選びください。						
		全体	1ヶ月以内	1ヶ月を超えて3か月以内	3か月を超えて6か月以内	6か月を超えて1年以内	1年を超えて3年以内	3年を超える
全体		147	18.4	26.5	21.8	13.6	12.9	6.8
あなたの介護原因疾患は何か。	脳血管障害	31	19.4	32.3	16.1	9.7	12.9	9.7
	悪性新生物(がん)	20	30.0	25.0	20.0	0.0	20.0	5.0
	認知症	25	8.0	28.0	24.0	28.0	8.0	4.0
	骨折・転倒	9	11.1	44.4	22.2	0.0	11.1	11.1
	障がい	11	18.2	27.3	9.1	36.4	9.1	0.0
	その他	51	19.6	19.6	27.5	11.8	13.7	7.8
	主たる介護者	全体	106	14.2	31.1	21.7	14.2	11.3
主たる介護者	脳血管障害	20	5.0	45.0	15.0	10.0	15.0	10.0
	悪性新生物(がん)	15	26.7	20.0	20.0	0.0	26.7	6.7
	認知症	17	5.9	35.3	29.4	17.6	5.9	5.9
	骨折・転倒	3	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	障がい	10	20.0	30.0	10.0	40.0	0.0	0.0
	その他	41	17.1	22.0	26.8	14.6	9.8	9.8
	従たる介護者	全体	41	29.3	14.6	22.0	12.2	17.1
従たる介護者	脳血管障害	11	45.5	9.1	18.2	9.1	9.1	9.1
	悪性新生物(がん)	5	40.0	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0
	認知症	8	12.5	12.5	12.5	50.0	12.5	0.0
	骨折・転倒	6	16.7	16.7	33.3	0.0	16.7	16.7
	障がい	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	その他	10	30.0	10.0	30.0	0.0	30.0	0.0

(d) 労働日数の削減方法

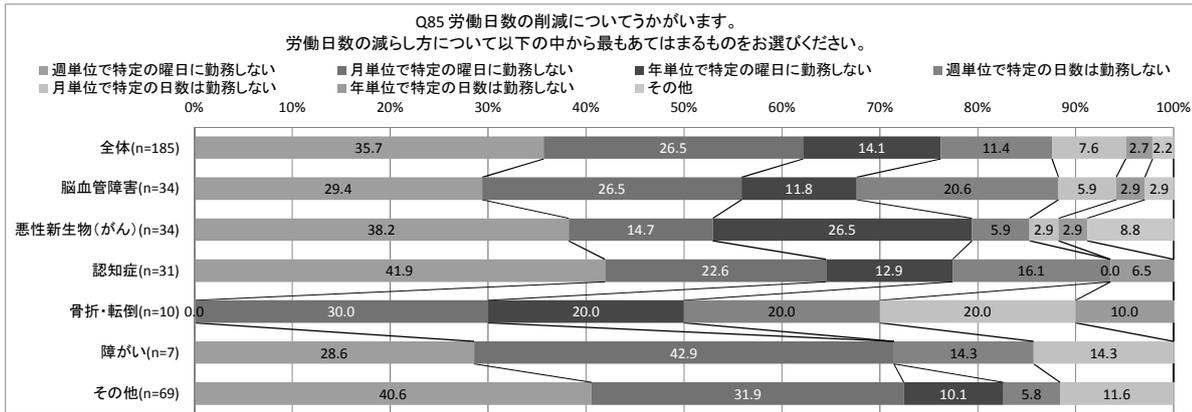
【Q79で労働日数を減らしたと回答した者に限る (n=185)】

- 正規雇用の主たる介護者では「月単位で特定の曜日に勤務しない」方法をとる者が34.8%で最も多く、次いで「週単位で特定の曜日に勤務しない」との回答が22.5%であった。
- 非正規雇用では、正規雇用と比較して「週単位で特定の曜日に勤務しない」方法によって労働日数を削減している割合が高い。

【雇用形態別】



【原因疾患別】



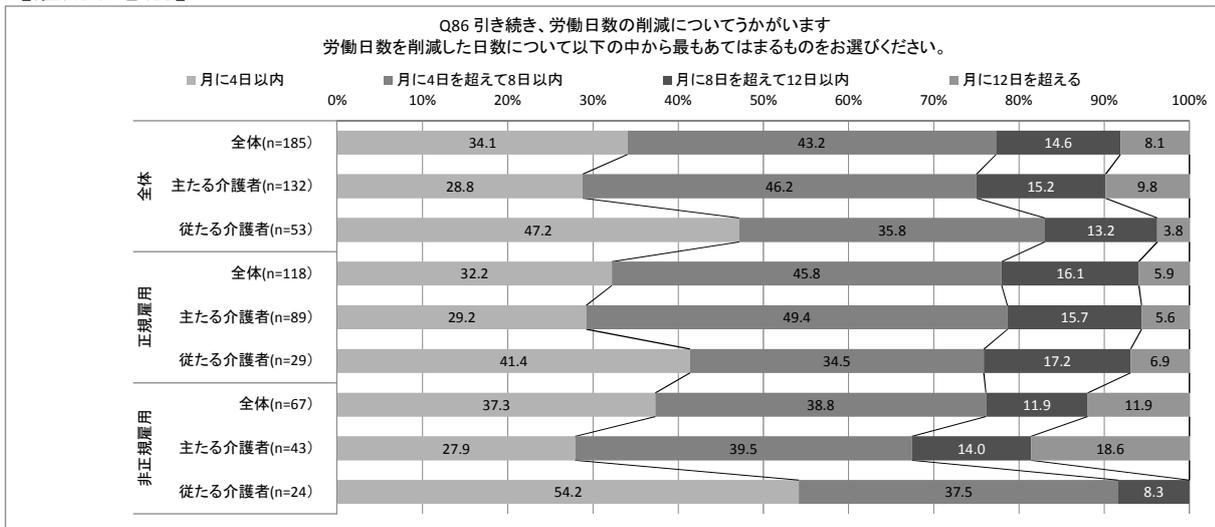
<原因疾患別 (介護期間6か月以上の者のみ) (n=140)>

		Q85 労働日数の削減についてうかがいます。 労働日数の減らし方について以下の中から最もあてはまるものをお選びください。							
		全体	週単位で特定の曜日に勤務しない	月単位で特定の曜日に勤務しない	年単位で特定の曜日に勤務しない	週単位で特定の日は勤務しない	月単位で特定の日は勤務しない	年単位で特定の日は勤務しない	その他
全体		140	37.1	27.1	13.6	9.3	7.9	2.9	2.1
あなた の介護 原因疾 患は何 です か。	脳血管障害	27	29.6	29.6	14.8	14.8	7.4	0.0	3.7
	悪性新生物(がん)	24	41.7	8.3	29.2	4.2	4.2	4.2	8.3
	認知症	24	41.7	25.0	8.3	16.7	0.0	8.3	0.0
	骨折・転倒	7	0.0	28.6	28.6	0.0	28.6	14.3	0.0
	障がい	7	28.6	42.9	0.0	14.3	14.3	0.0	0.0
	その他	7	28.6	42.9	0.0	14.3	14.3	0.0	0.0
	その他	51	43.1	33.3	7.8	5.9	9.8	0.0	0.0
主たる 介護者	全体	99	31.3	31.3	15.2	12.1	4.0	3.0	3.0
	脳血管障害	21	23.8	29.6	19.0	19.0	4.8	0.0	4.8
	悪性新生物(がん)	18	33.3	11.1	33.3	5.6	0.0	5.6	11.1
	認知症	16	25.0	37.5	6.3	18.8	0.0	12.5	0.0
	骨折・転倒	2	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	障がい	5	20.0	40.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0
	その他	37	40.5	37.8	8.1	8.1	5.4	0.0	0.0
従たる 介護者	全体	41	51.2	17.1	9.8	2.4	17.1	2.4	0.0
	脳血管障害	6	50.0	33.3	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0
	悪性新生物(がん)	6	66.7	0.0	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0
	認知症	8	75.0	0.0	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0
	骨折・転倒	5	0.0	20.0	20.0	0.0	40.0	20.0	0.0
	障がい	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	14	50.0	21.4	7.1	0.0	21.4	0.0	0.0

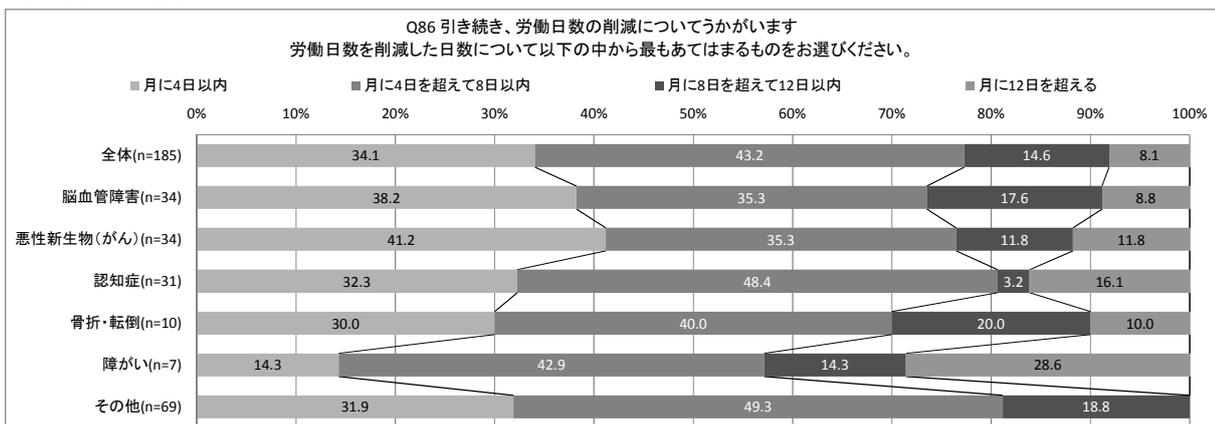
(d)-1 労働日数の削減日数

- 削減日数について、正規雇用の主たる介護者では49.4%が「月に4日を超えて8日以内」で最も多く、次いで「月に4日以内」が29.2%であった。
- 非正規雇用では正規雇用と比較して月間の削減日数が多い「月に12日を超える」の回答が多くみられた。

【雇用形態別】



【原因疾患別】



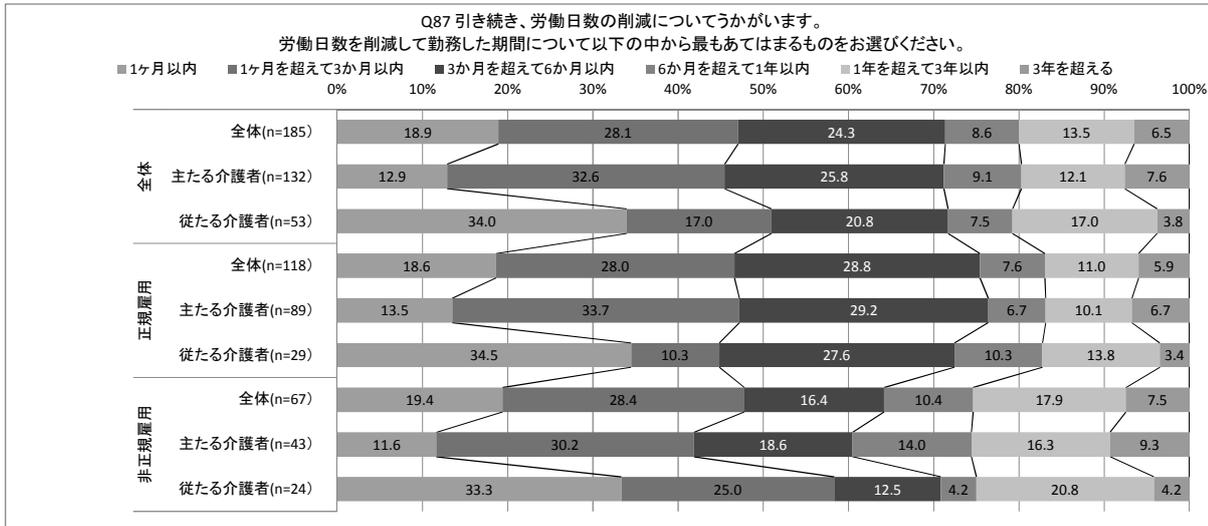
<原因疾患別（介護期間6か月以上の者のみ）(n=140)>

		Q86 引き続き、労働日数の削減についてうかがいます 労働日数を削減した日数について以下の中から最もあてはまるものをお選びください。				
		全体	月に4日以内	月に4日を超えて8日以内	月に8日を超えて12日以内	月に12日を超える
全体		140	36.4	43.6	10.7	9.3
あなた の介護 原因疾 患は何 です か。	脳血管障害	27	37.0	40.7	11.1	11.1
	悪性新生物(がん)	24	41.7	33.3	12.5	12.5
	認知症	24	33.3	50.0	0.0	16.7
	骨折・転倒	7	42.9	28.6	14.3	14.3
	障がい	7	14.3	42.9	14.3	28.6
	その他	51	37.3	49.0	13.7	0.0
	主たる 介護者		99	31.3	45.5	12.1
主たる 介護者	脳血管障害	21	28.6	42.9	14.3	14.3
	悪性新生物(がん)	18	33.3	33.3	16.7	16.7
	認知症	16	25.0	56.3	0.0	18.8
	骨折・転倒	2	50.0	50.0	0.0	0.0
	障がい	5	0.0	40.0	20.0	40.0
	その他	37	37.8	48.6	13.5	0.0
	従たる 介護者		41	48.8	39.0	7.3
従たる 介護者	脳血管障害	6	66.7	33.3	0.0	0.0
	悪性新生物(がん)	6	66.7	33.3	0.0	0.0
	認知症	8	50.0	37.5	0.0	12.5
	骨折・転倒	5	40.0	20.0	20.0	20.0
	障がい	2	50.0	50.0	0.0	0.0
	その他	14	35.7	50.0	14.3	0.0

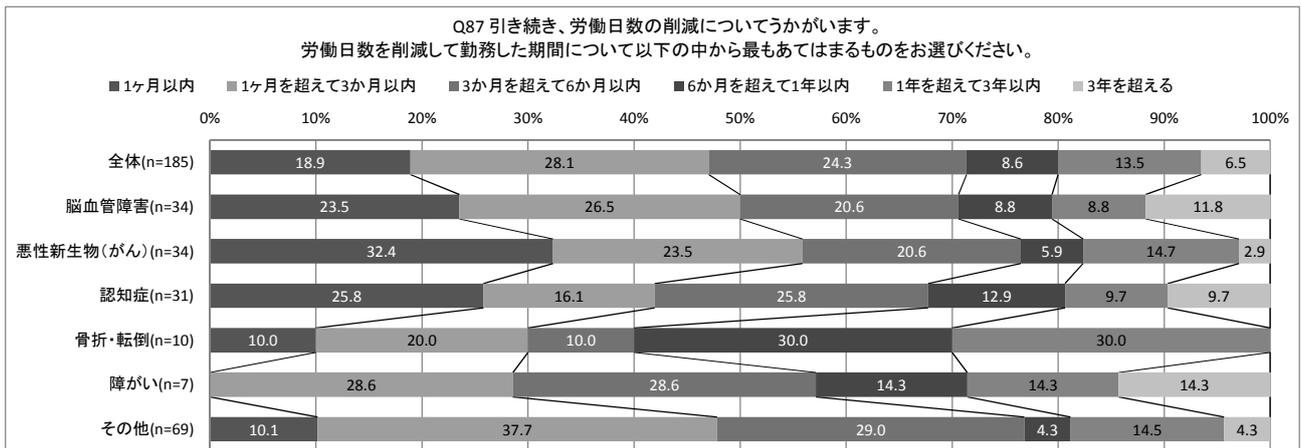
(d)-2 労働日数削減の継続期間

- 労働日数削減の継続期間について、正規雇用の主たる介護者では「1か月を超えて3か月以内」が33.7%で最も多く、次いで「3か月を超えて6か月以内」が29.2%であった。
- 非正規雇用では正規雇用と比較して6か月を超える水準の継続期間を回答した者の割合が高かった。
- 原因疾患別では「悪性新生物(がん)」において「1か月以内」の回答が他の疾患と比較して多かった。

【雇用形態別】



【原因疾患別】



<原因疾患別 (介護期間6か月以上の者のみ) (n=140)>

Q87 引き続き、労働日数の削減についてうかがいます。
労働日数を削減して勤務した期間について以下の中から最もあてはまるものをお選びください。

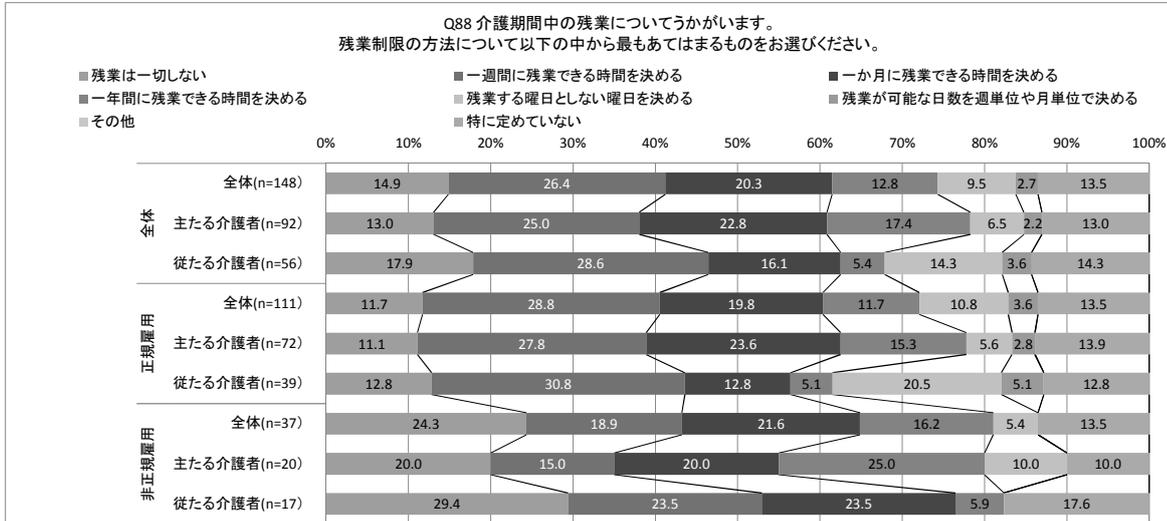
		全体	1ヶ月以内	1ヶ月を超えて3か月以内	3か月を超えて6か月以内	6か月を超えて1年以内	1年を超えて3年以内	3年を超える
全体		140	20.0	24.3	23.6	8.6	15.7	7.9
あなたの介護原因疾患は何か。	脳血管障害	27	22.2	25.9	18.5	7.4	11.1	14.8
	悪性新生物(がん)	24	33.3	12.5	20.8	8.3	20.8	4.2
	認知症	24	25.0	12.5	29.2	12.5	12.5	8.3
	骨折・転倒	7	14.3	14.3	0.0	28.6	42.9	0.0
	障がい	7	0.0	28.6	28.6	14.3	14.3	14.3
	その他	51	13.7	35.3	27.5	3.9	13.7	5.9
主たる介護者	全体	99	15.2	28.3	25.3	9.1	13.1	9.1
	脳血管障害	21	14.3	28.6	19.0	9.5	14.3	14.3
	悪性新生物(がん)	18	27.8	5.6	22.2	11.1	27.8	5.6
	認知症	16	18.8	18.8	25.0	18.8	12.5	6.3
	骨折・転倒	2	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	障がい	5	0.0	40.0	40.0	0.0	0.0	20.0
従たる介護者	全体	41	31.7	14.6	19.5	7.3	22.0	4.9
	脳血管障害	6	50.0	16.7	16.7	0.0	0.0	16.7
	悪性新生物(がん)	6	50.0	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0
	認知症	8	37.5	0.0	37.5	0.0	12.5	12.5
	骨折・転倒	5	20.0	0.0	0.0	40.0	40.0	0.0
	障がい	2	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0
その他	14	21.4	21.4	21.4	0.0	35.7	0.0	

(e) 残業制限の方法

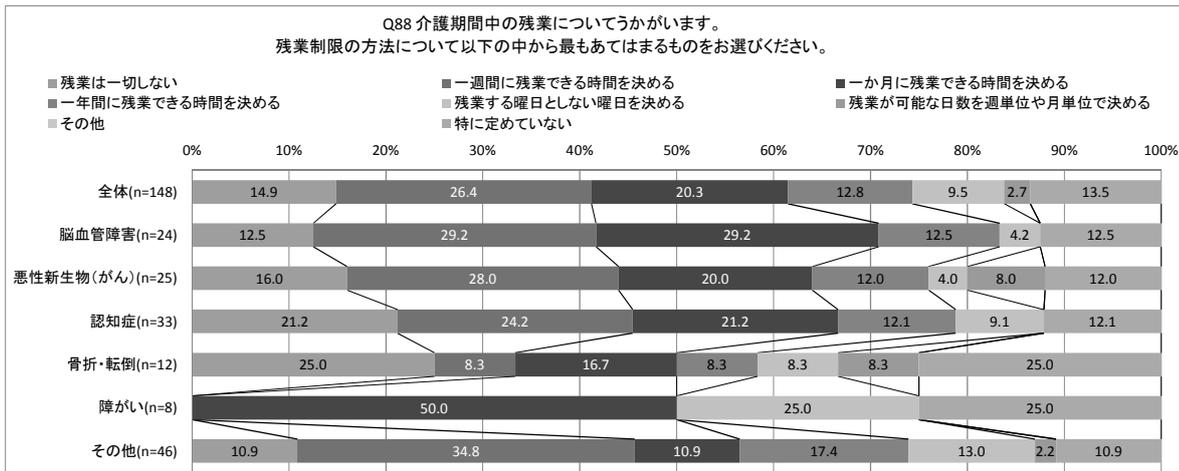
【Q79で残業の制限をしたと回答した者に限る (n=148)】

- 残業制限の方法について、正規雇用の主たる介護者では「1週間に残業できる時間を決める」が27.8%と最も多く、次いで「1か月に残業できる時間を決める」が23.6%であった。
- 非正規雇用では、正規雇用と比較して「残業は一切しない」との回答割合が高かった。

【雇用形態別】



【原因疾患別】



<原因疾患別 (介護期間6か月以上の者のみ) (n=112)>

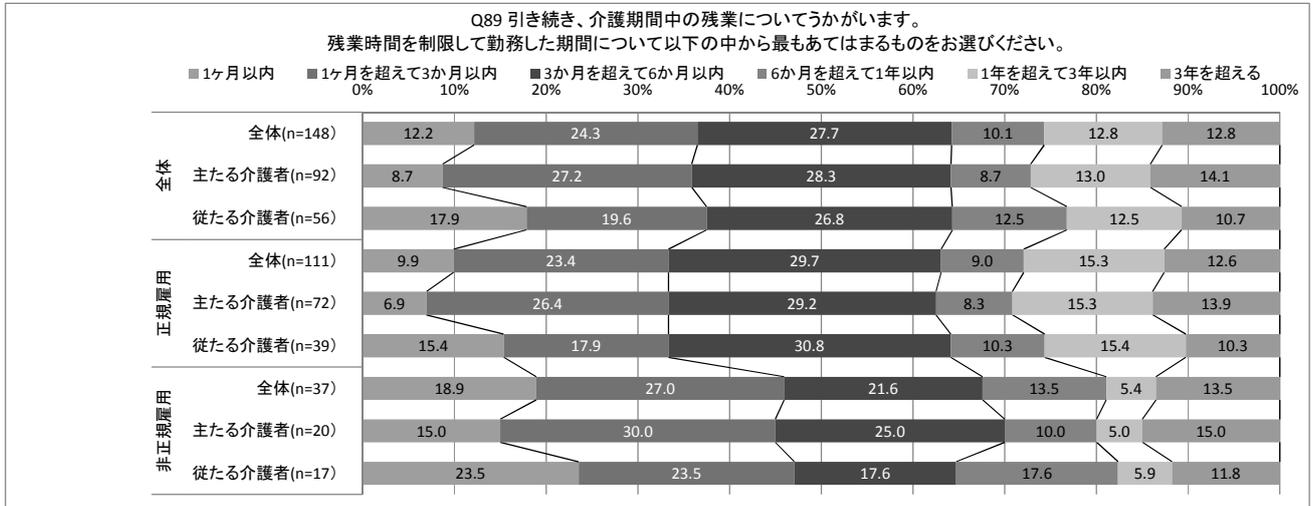
Q89 引き続き、介護期間中の残業についてうかがいます。
残業時間を制限して勤務した期間について以下の中から最もあてはまるものをお選びください。

		全体	1ヶ月以内	1ヶ月を超えて3か月以内	3か月を超えて6か月以内	6か月を超えて1年以内	1年を超えて3年以内	3年を超える
全体		112	10.7	18.8	26.8	10.7	16.1	17.0
あなた の介護 原因疾 患は何 です か。	脳血管障害	18	0.0	38.9	27.8	0.0	16.7	16.7
	悪性新生物(がん)	16	31.3	0.0	31.3	6.3	18.8	12.5
	認知症	26	7.7	23.1	11.5	23.1	15.4	19.2
	骨折・転倒	6	0.0	0.0	50.0	16.7	16.7	16.7
	障がい	8	12.5	0.0	25.0	12.5	0.0	50.0
	その他	38	10.5	21.1	31.6	7.9	18.4	10.5
	主たる 介護者	全体	74	6.8	25.7	28.4	6.8	14.9
脳血管障害	16	0.0	43.8	25.0	0.0	12.5	18.8	
悪性新生物(がん)	11	18.2	0.0	36.4	9.1	27.3	9.1	
認知症	15	6.7	26.7	6.7	13.3	26.7	20.0	
骨折・転倒	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
障がい	6	16.7	0.0	33.3	16.7	0.0	33.3	
その他	25	4.0	32.0	36.0	4.0	8.0	16.0	
従たる 介護者	全体	38	18.4	5.3	23.7	18.4	18.4	15.8
脳血管障害	2	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	
悪性新生物(がん)	5	60.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0	
認知症	11	9.1	18.2	18.2	36.4	0.0	18.2	
骨折・転倒	5	0.0	0.0	40.0	20.0	20.0	20.0	
障がい	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
その他	13	23.1	0.0	23.1	15.4	38.5	0.0	

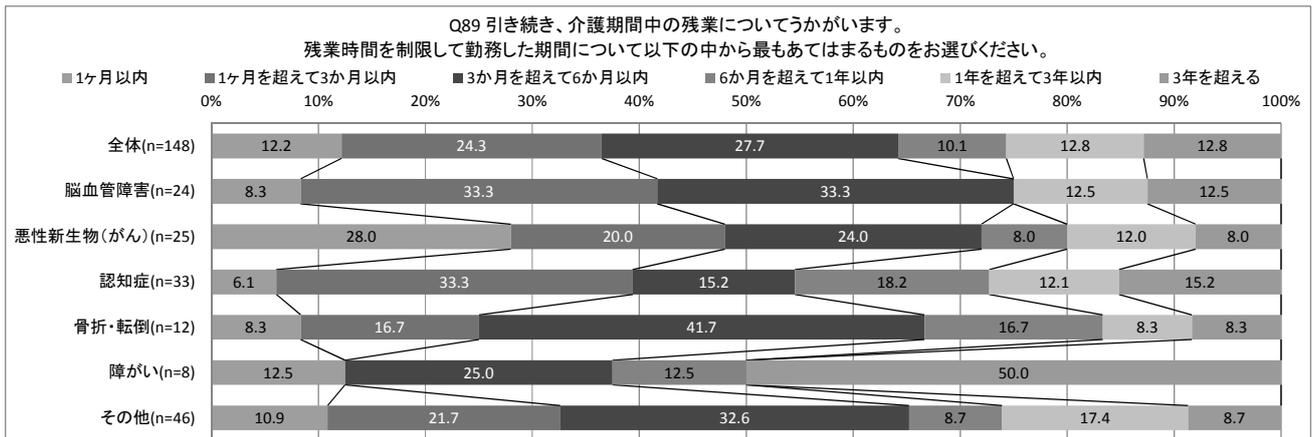
(e)-1 残業制限の継続期間

- 残業時間制限の継続期間について正規雇用の主たる介護者では「3か月を超えて6か月以内」が29.2%で最も多く、次いで「1か月を超えて3か月以内」が26.4%であった。
- 非正規雇用では正規雇用と比較して3か月以内のカテゴリの回答割合が高かった。
- 原因疾患別では「悪性新生物（がん）」では「1か月以内」の回答割合が他の疾患と比較して高かった。

【雇用形態別】



【原因疾患別】



<原因疾患別（介護期間6か月以上の者のみ）（n=112）>

		Q89 引き続き、介護期間中の残業についてうかがいます。 残業時間を制限して勤務した期間について以下の中から最もあてはまるものをお選びください。						
		全体	1ヶ月以内	1ヶ月を超えて3か月以内	3か月を超えて6か月以内	6か月を超えて1年以内	1年を超えて3年以内	3年を超える
全体		112	10.7	18.8	26.8	10.7	16.1	17.0
あなた の介護 原因疾 患は何 ですか。	脳血管障害	18	0.0	38.9	27.8	0.0	16.7	16.7
	悪性新生物（がん）	16	31.3	0.0	31.3	6.3	18.8	12.5
	認知症	26	7.7	23.1	11.5	23.1	15.4	19.2
	骨折・転倒	6	0.0	0.0	50.0	16.7	16.7	16.7
	障がい	8	12.5	0.0	25.0	12.5	0.0	50.0
	その他	38	10.5	21.1	31.6	7.9	18.4	10.5
主たる 介護者	全体	74	6.8	25.7	28.4	6.8	14.9	17.6
	脳血管障害	16	0.0	43.8	25.0	0.0	12.5	18.8
	悪性新生物（がん）	11	18.2	0.0	36.4	9.1	27.3	9.1
	認知症	15	6.7	26.7	6.7	13.3	26.7	20.0
	骨折・転倒	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	障がい	6	16.7	0.0	33.3	16.7	0.0	33.3
従たる 介護者	全体	38	18.4	5.3	23.7	18.4	18.4	15.8
	脳血管障害	2	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0
	悪性新生物（がん）	5	60.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0
	認知症	11	9.1	18.2	18.2	36.4	0.0	18.2
	骨折・転倒	5	0.0	0.0	40.0	20.0	20.0	20.0
	障がい	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
その他	13	23.1	0.0	23.1	15.4	38.5	0.0	

③ 介護のための連続した休みに関する状況

ア) 必要であったと考えられる連続した休みの日数

- 介護のための連続した休みの必要性について、雇用形態を問わず、主たる介護者では約半数が必要性を認識している。
- 一方、従たる介護者であった場合は「連続して仕事を休む必要はなかった」との回答が8割弱を占めた。
- 原因疾患別では「脳血管疾患」「悪性新生物(がん)」「障がい」等でその他の疾患と比較して連続して仕事を休む必要性が認識されていた。

【雇用形態別】

		Q56 あなたは介護のために、連続して仕事を休む必要はありましたか。 実際に取得できた日数ではなく、振り返って必要であったと考えられる日数を回答してください。 あてはまるものが複数ある場合には、最も長い期間を一つお答えください。										
全体		1週間以内の期間で休む必要があった	1週間を超えて2週間以内の期間で休む必要があった	2週間を超えて1か月以内の期間で休む必要があった	1か月を超えて2か月以内の期間で休む必要があった	2か月を超えて3か月以内の期間で休む必要があった	3か月を超えて6か月以内の期間で休む必要があった	6か月を超えて1年以内の期間で休む必要があった	1年を超えて2年以内の期間で休む必要があった	2年を超えて2年以上の期間で休む必要があった	連続して仕事を休む必要はなかった	
全体		1666 100.0	355 21.3	57 3.4	53 3.2	42 2.5	22 1.3	17 1.0	14 0.8	11 0.7	26 1.6	1069 64.2
全体	主たる介護者	700 100.0	194 27.7	39 5.6	40 5.7	32 4.6	19 2.7	14 2.0	10 1.4	10 1.4	20 2.9	322 46.0
	従たる介護者	966 100.0	161 16.7	18 1.9	13 1.3	10 1.0	3 0.3	3 0.3	4 0.4	1 0.1	6 0.6	747 77.3
正規雇用		1077 100.0	245 22.7	44 4.1	37 3.4	26 2.4	10 0.9	14 1.3	6 0.6	6 0.6	14 1.3	675 62.7
正規雇用	主たる介護者	450 100.0	139 30.9	33 7.3	28 6.2	21 4.7	8 1.8	11 2.4	4 0.9	6 1.3	12 2.7	188 41.8
	従たる介護者	627 100.0	106 16.9	11 1.8	9 1.4	5 0.8	2 0.3	3 0.5	2 0.3	0 0.0	2 0.3	487 77.7
非正規雇用		589 100.0	110 18.7	13 2.2	16 2.7	12 2.0	3 0.5	8 1.4	5 0.8	5 0.8	12 2.0	394 66.9
非正規雇用	主たる介護者	250 100.0	55 22.0	6 2.4	12 4.8	11 4.4	11 4.4	3 1.2	6 2.4	4 1.6	8 3.2	134 53.6
	従たる介護者	339 100.0	55 16.2	7 2.1	4 1.2	5 1.5	1 0.3	0 0.0	2 0.6	1 0.3	4 1.2	260 76.7

【原因疾患別・介護期間別(介護継続期間を問わない)】

		Q56 あなたは介護のために、連続して仕事を休む必要はありましたか。 実際に取得できた日数ではなく、振り返って必要であったと考えられる日数を回答してください。 あてはまるものが複数ある場合には、最も長い期間を一つお答えください。										
全体		1週間以内の期間で休む必要があった	1週間を超えて2週間以内の期間で休む必要があった	2週間を超えて1か月以内の期間で休む必要があった	1か月を超えて2か月以内の期間で休む必要があった	2か月を超えて3か月以内の期間で休む必要があった	3か月を超えて6か月以内の期間で休む必要があった	6か月を超えて1年以内の期間で休む必要があった	1年を超えて2年以内の期間で休む必要があった	2年を超えて2年以上の期間で休む必要があった	連続して仕事を休む必要はなかった	
全体		1666	21.3	3.4	3.2	2.5	1.3	1.0	0.8	0.7	1.6	64.2
全体	脳血管障害	244	26.2	7.0	3.7	4.1	0.8	0.8	0.4	0.0	2.9	54.1
	悪性新生物(がん)	301	23.3	3.3	3.0	3.3	0.7	2.0	1.0	1.3	59.1	
	認知症	319	18.8	4.1	2.8	1.3	0.3	0.9	0.6	1.3	1.9	68.0
	骨折・転倒	136	14.0	2.2	2.2	2.2	0.0	0.7	0.0	1.5	0.7	76.5
	障がい	56	32.1	3.6	3.6	0.0	1.8	3.6	1.8	0.0	1.8	51.8
	その他	610	20.3	2.0	3.4	2.5	1.5	1.1	0.7	0.3	1.1	67.0
主たる介護者		700	27.7	5.6	5.7	4.6	2.7	2.0	1.4	1.4	2.9	46.0
主たる介護者	脳血管障害	98	35.7	9.2	5.1	8.2	2.0	1.0	1.0	0.0	5.1	32.7
	悪性新生物(がん)	140	26.4	5.7	5.7	5.7	1.4	2.9	2.1	2.1	42.1	
	認知症	131	26.7	7.6	3.8	2.3	0.8	2.3	1.5	2.3	4.6	48.1
	骨折・転倒	47	14.9	2.1	6.4	6.4	0.0	2.1	0.0	4.3	2.1	61.7
	障がい	29	37.9	3.4	6.9	0.0	3.4	6.9	3.4	0.0	3.4	34.5
	その他	255	27.1	3.9	6.7	3.9	2.7	2.0	0.8	0.8	1.6	50.6
従たる介護者		966	16.7	1.9	1.3	1.0	0.3	0.3	0.4	0.1	0.6	77.3
従たる介護者	脳血管障害	146	19.9	5.5	2.7	1.4	0.0	0.7	0.0	0.0	1.4	68.5
	悪性新生物(がん)	161	20.5	1.2	0.6	1.2	0.6	0.0	1.2	0.0	0.6	73.9
	認知症	188	13.3	1.6	2.1	0.5	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	81.9
	骨折・転倒	89	13.5	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	84.3
	障がい	27	25.9	3.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	70.4
	その他	355	15.5	0.6	1.1	1.4	0.6	0.6	0.6	0.0	0.8	78.9

【原因疾患別・介護期間別（介護継続期間6か月以上の者）】

※介護期間が6ヶ月以上の者に限る

		Q56 あなたは介護のために、連続して仕事を休む必要はありましたか。 実際に取得できた日数ではなく、振り返って必要であったと考えられる日数を回答してください。 あてはまるものが複数ある場合には、最も長い期間を一つお答えください。										
全体		1週間以内の期間で休む必要があった	1週間を超えて2週間以内の期間で休む必要があった	2週間を超えて1か月以内の期間で休む必要があった	1か月を超えて2か月以内の期間で休む必要があった	2か月を超えて3か月以内の期間で休む必要があった	3か月を超えて6か月以内の期間で休む必要があった	6か月を超えて1年以内の期間で休む必要があった	1年を超えて2年以内の期間で休む必要があった	2年を超えて3年以上の期間で休む必要があった	連続して仕事を休む必要はなかった	
全体	全体	1211	23.0	3.6	3.0	2.0	1.0	0.8	0.9	0.7	2.0	63.0
全体	脳血管障害	189	25.4	7.9	3.7	3.7	1.1	0.5	0.5	0.0	3.2	54.0
	悪性新生物(がん)	169	27.2	4.1	3.6	1.8	2.4	0.6	3.6	1.2	1.8	53.8
	認知症	257	20.2	4.3	1.2	0.8	0.0	0.8	0.4	1.2	2.3	68.9
	骨折・転倒	105	16.2	1.9	1.9	1.9	0.0	0.0	0.0	1.9	1.0	75.2
	障がい	42	40.5	2.4	4.8	0.0	0.0	4.8	0.0	0.0	2.4	45.2
	その他	449	21.8	1.8	3.6	2.2	1.3	0.9	0.7	0.4	1.6	65.7
主たる介護者	全体	557	28.9	5.6	5.4	3.1	2.0	1.4	1.3	1.4	3.6	47.4
主たる介護者	脳血管障害	86	32.6	9.3	5.8	5.8	2.3	1.2	1.2	0.0	5.8	36.0
	悪性新生物(がん)	95	27.4	6.3	5.3	3.2	4.2	1.1	4.2	2.1	3.2	43.2
	認知症	111	28.8	8.1	1.8	0.9	0.0	1.8	0.9	1.8	5.4	50.5
	骨折・転倒	38	18.4	0.0	5.3	5.3	0.0	0.0	0.0	5.3	2.6	63.2
	障がい	24	41.7	4.2	8.3	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	4.2	33.3
	その他	203	28.6	3.4	6.9	3.0	2.5	1.0	0.5	1.0	2.0	51.2
従たる介護者	全体	654	17.9	2.0	0.9	1.1	0.2	0.3	0.6	0.2	0.6	76.3
従たる介護者	脳血管障害	103	19.4	6.8	1.9	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	68.9
	悪性新生物(がん)	74	27.0	1.4	1.4	0.0	0.0	0.0	2.7	0.0	0.0	67.6
	認知症	146	13.7	1.4	0.7	0.7	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	82.9
	骨折・転倒	67	14.9	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	82.1
	障がい	18	38.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	61.1
	その他	246	16.3	0.4	0.8	1.6	0.4	0.8	0.8	0.0	1.2	77.6

※介護期間が6ヶ月以上の者に限る

		Q56 あなたは介護のために、連続して仕事を休む必要はありましたか。 実際に取得できた日数ではなく、振り返って必要であったと考えられる日数を回答してください。 あてはまるものが複数ある場合には、最も長い期間を一つお答えください。 【介護を開始して最初の3か月】										
全体		1週間以内の期間で休む必要があった	1週間を超えて2週間以内の期間で休む必要があった	2週間を超えて1か月以内の期間で休む必要があった	1か月を超えて2か月以内の期間で休む必要があった	2か月を超えて3か月以内の期間で休む必要があった	3か月を超えて6か月以内の期間で休む必要があった	6か月を超えて1年以内の期間で休む必要があった	1年を超えて2年以内の期間で休む必要があった	2年を超えて3年以上の期間で休む必要があった	連続して仕事を休む必要はなかった	
全体	全体	152	59.9	12.5	7.2	4.6	2.6	2.0	4.6	1.3	5.3	0.0
全体	脳血管障害	42	50.0	19.0	11.9	4.8	2.4	2.4	2.4	0.0	7.1	0.0
	悪性新生物(がん)	22	59.1	4.5	0.0	4.5	0.0	4.5	18.2	4.5	4.5	0.0
	認知症	23	56.5	26.1	4.3	0.0	0.0	4.3	0.0	0.0	8.7	0.0
	骨折・転倒	11	54.5	0.0	9.1	18.2	0.0	0.0	0.0	9.1	9.1	0.0
	障がい	9	66.7	11.1	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	45	71.1	6.7	4.4	4.4	6.7	0.0	4.4	0.0	2.2	0.0
主たる介護者	全体	110	55.5	12.7	7.3	4.5	3.6	2.7	4.5	1.8	7.3	0.0
主たる介護者	脳血管障害	29	48.3	17.2	10.3	3.4	3.4	3.4	3.4	0.0	10.3	0.0
	悪性新生物(がん)	16	50.0	6.3	0.0	6.3	0.0	6.3	18.8	6.3	6.3	0.0
	認知症	15	53.3	26.7	0.0	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0	13.3	0.0
	骨折・転倒	9	44.4	0.0	11.1	22.2	0.0	0.0	0.0	11.1	11.1	0.0
	障がい	7	57.1	14.3	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	34	67.6	8.8	5.9	2.9	8.8	0.0	2.9	0.0	2.9	0.0
従たる介護者	全体	42	71.4	11.9	7.1	4.8	0.0	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0
従たる介護者	脳血管障害	13	53.8	23.1	15.4	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	悪性新生物(がん)	6	83.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0
	認知症	8	62.5	25.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	骨折・転倒	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	障がい	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	11	81.8	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0

※介護期間が6ヶ月以上の者に限る

		Q56 【最初と最後を除いた期間】										
全体		1週間以内の期間で休む必要があった	1週間を超えて2週間以内の期間で休む必要があった	2週間を超えて1か月以内の期間で休む必要があった	1か月を超えて2か月以内の期間で休む必要があった	2か月を超えて3か月以内の期間で休む必要があった	3か月を超えて6か月以内の期間で休む必要があった	6か月を超えて1年以内の期間で休む必要があった	1年を超えて2年以内の期間で休む必要があった	2年を超えて3年以上の期間で休む必要があった	連続して仕事を休む必要はなかった	
全体	全体	176	55.7	8.5	10.2	6.8	3.4	2.3	1.7	4.0	7.4	0.0
全体	脳血管障害	28	50.0	14.3	7.1	14.3	3.6	0.0	0.0	0.0	10.7	0.0
	悪性新生物(がん)	30	50.0	6.7	13.3	3.3	10.0	0.0	6.7	3.3	6.7	0.0
	認知症	36	58.3	11.1	5.6	2.8	0.0	2.8	0.0	8.3	11.1	0.0
	骨折・転倒	8	75.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0
	障がい	10	70.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	10.0	0.0
	その他	64	54.7	6.3	15.6	9.4	3.1	1.6	1.6	3.1	4.7	0.0
主たる介護者	全体	121	47.1	9.1	14.0	8.3	4.1	3.3	0.8	5.0	8.3	0.0
主たる介護者	脳血管障害	20	40.0	15.0	10.0	20.0	5.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0
	悪性新生物(がん)	21	42.9	4.8	14.3	4.8	14.3	0.0	4.8	4.8	9.5	0.0
	認知症	29	51.7	13.8	6.9	3.4	0.0	3.4	0.0	6.9	13.8	0.0
	骨折・転倒	4	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0
	障がい	7	57.1	0.0	0.0	0.0	0.0	28.6	0.0	0.0	14.3	0.0
	その他	40	45.0	7.5	25.0	10.0	2.5	2.5	0.0	5.0	2.5	0.0
従たる介護者	全体	55	74.5	7.3	1.8	3.6	1.8	0.0	3.6	1.8	5.5	0.0
従たる介護者	脳血管障害	8	75.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0
	悪性新生物(がん)	9	66.7	11.1	11.1	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0
	認知症	7	85.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0
	骨折・転倒	4	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	障がい	3	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	24	70.8	4.2	0.0	8.3	4.2	0.0	4.2	0.0	8.3	0.0

※介護期間が6ヶ月以上の者に限る

		Q56【最後の3か月】										
全体		1週間以内の期間で休む必要があった	1週間を超えて2週間以内の期間で休む必要があった	2週間を超えて1か月以内の期間で休む必要があった	1か月を超えて2か月以内の期間で休む必要があった	2か月を超えて3か月以内の期間で休む必要があった	3か月を超えて6か月以内の期間で休む必要があった	6か月を超えて1年以内の期間で休む必要があった	1年を超えて2年以内の期間で休む必要があった	2年を超えて3年以上の期間で休む必要があった	連続して仕事を休む必要はなかった	
全体		120	74.2	8.3	5.8	4.2	1.7	2.5	0.8	0.0	2.5	0.0
全体	脳血管障害	17	76.5	17.6	0.0	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	悪性新生物(がん)	26	69.2	15.4	7.7	3.8	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	認知症	21	85.7	4.8	0.0	4.8	0.0	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0
	骨折・転倒	7	71.4	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	障がい	4	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	45	68.9	2.2	8.9	4.4	2.2	6.7	0.0	0.0	6.7	0.0
主たる介護者		62	69.4	9.7	8.1	3.2	3.2	1.6	1.6	0.0	3.2	0.0
主たる介護者	脳血管障害	6	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	悪性新生物(がん)	17	52.9	23.5	11.8	5.9	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	認知症	11	81.8	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0
	骨折・転倒	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	障がい	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	25	68.0	4.0	8.0	4.0	4.0	4.0	0.0	0.0	8.0	0.0
従たる介護者		58	79.3	6.9	3.4	5.2	0.0	3.4	0.0	0.0	1.7	0.0
従たる介護者	脳血管障害	11	63.6	27.3	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	悪性新生物(がん)	9	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	認知症	10	90.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	骨折・転倒	6	83.3	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	障がい	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	20	70.0	0.0	10.0	5.0	0.0	10.0	0.0	0.0	5.0	0.0

【介護期間別】

		Q56 あなたは介護のために、連続して仕事を休む必要はありましたか。 実際に取得できた日数ではなく、振り返って必要であったと考えられる日数を回答してください。 あてはまるものが複数ある場合には、最も長い期間を一つお答えください。										
全体		1週間以内の期間で休む必要があった	1週間を超えて2週間以内の期間で休む必要があった	2週間を超えて1か月以内の期間で休む必要があった	1か月を超えて2か月以内の期間で休む必要があった	2か月を超えて3か月以内の期間で休む必要があった	3か月を超えて6か月以内の期間で休む必要があった	6か月を超えて1年以内の期間で休む必要があった	1年を超えて2年以内の期間で休む必要があった	2年を超えて3年以上の期間で休む必要があった	連続して仕事を休む必要はなかった	
全体		1666	355	57	53	42	22	17	14	11	26	1069
		100.0	21.3	3.4	3.2	2.5	1.3	1.0	0.8	0.7	1.6	64.2
介護期間(月) (カテゴリー)	3ヶ月未満	121	29	3	2	3	3	1	1	2	0	77
		100.0	24.0	2.5	1.7	2.5	2.5	0.8	0.8	1.7	0.0	63.6
	3ヶ月～1年未満	275	45	8	12	8	4	3	6	1	2	186
		100.0	16.4	2.9	4.4	2.9	1.5	1.1	2.2	0.4	0.7	67.6
	1年～3年未満	502	113	21	12	13	6	5	1	5	6	320
		100.0	22.5	4.2	2.4	2.6	1.2	1.0	0.2	1.0	1.2	63.7
3年～5年未満	315	71	11	14	5	3	2	2	0	8	199	
	100.0	22.5	3.5	4.4	1.6	1.0	0.6	0.6	0.0	2.5	63.2	
5年以上	453	97	14	13	13	6	6	4	3	10	287	
	100.0	21.4	3.1	2.9	2.9	1.3	1.3	0.9	0.7	2.2	63.4	

【在宅・施設介護別】

		Q56 あなたは介護のために、連続して仕事を休む必要はありましたか。 実際に取得できた日数ではなく、振り返って必要であったと考えられる日数を回答してください。 あてはまるものが複数ある場合には、最も長い期間を一つお答えください。										
全体		1週間以内の期間で休む必要があった	1週間を超えて2週間以内の期間で休む必要があった	2週間を超えて1か月以内の期間で休む必要があった	1か月を超えて2か月以内の期間で休む必要があった	2か月を超えて3か月以内の期間で休む必要があった	3か月を超えて6か月以内の期間で休む必要があった	6か月を超えて1年以内の期間で休む必要があった	1年を超えて2年以内の期間で休む必要があった	2年を超えて3年以上の期間で休む必要があった	連続して仕事を休む必要はなかった	
全体		1666	355	57	53	42	22	17	14	11	26	1069
		100.0	21.3	3.4	3.2	2.5	1.3	1.0	0.8	0.7	1.6	64.2
在宅介護・施設介護の別	全期間在宅介護	655	138	29	25	17	9	6	7	6	14	404
		100.0	21.1	4.4	3.8	2.6	1.4	0.9	1.1	0.9	2.1	61.7
	一部期間在宅介護	810	177	25	27	20	10	9	7	4	11	520
		100.0	21.9	3.1	3.3	2.5	1.2	1.1	0.9	0.5	1.4	64.2
全期間施設介護		201	40	3	1	5	3	2	0	1	1	145
		100.0	19.9	1.5	0.5	2.5	1.5	1.0	0.0	0.5	0.5	72.1

イ) 実際に取得した連続した休みの日数

- 介護のための連続した休暇を実際に取得したかについて、雇用形態を問わず主たる介護者であった場合は約半数が取得実績ありと回答した。
- 一方、従たる介護者であった場合は「連続して仕事を休んだことはなかった」との回答が75%前後を占めた。
- 原因疾患別では「脳血管疾患」「悪性新生物(がん)」「障がい」等でその他の疾患と比較して連続して仕事を休んだとの回答が多かった。

【雇用形態別】

		Q59 実際に介護のために連続した期間仕事を休むことはありましたか。 あてはまるものが複数ある場合は、最も長い期間をひとつお答えください。										
		全体	1週間以内の期間で休んだ	1週間を超えて2週間以内の期間で休んだ	2週間を超えて1か月以内の期間で休んだ	1か月を超えて2か月以内の期間で休んだ	2か月を超えて3か月以内の期間で休んだ	3か月を超えて6か月以内の期間で休んだ	6か月を超えて1年以内の期間で休んだ	1年を超えて2年以内の期間で休んだ	2年を超える期間で休んだ	連続して仕事を休んだことはなかった
全体		1666 100.0	398 23.9	71 4.3	41 2.5	39 2.3	22 1.3	18 1.1	14 0.8	2 0.1	17 1.0	1044 62.7
全体	主たる介護者	700 100.0	201 28.7	52 7.4	33 4.7	30 4.3	20 2.9	14 2.0	13 1.9	2 0.3	16 2.3	319 45.6
	従たる介護者	966 100.0	197 20.4	19 2.0	8 0.8	9 0.9	2 0.2	4 0.4	1 0.1	0 0.0	1 0.1	725 75.1
全体		1077 100.0	270 25.1	55 5.1	28 2.6	24 2.2	14 1.3	9 0.8	10 0.9	2 0.2	6 0.6	659 61.2
正規雇用	主たる介護者	450 100.0	145 32.2	40 8.9	22 4.9	19 4.2	12 2.7	7 1.6	9 2.0	2 0.4	6 1.3	188 41.8
	従たる介護者	627 100.0	125 19.9	15 2.4	6 1.0	5 0.8	2 0.3	2 0.3	1 0.2	0 0.0	0 0.0	471 75.1
全体		589 100.0	128 21.7	16 2.7	13 2.2	15 2.5	8 1.4	9 1.5	4 0.7	0 0.0	11 1.9	385 65.4
非正規雇用	主たる介護者	250 100.0	56 22.4	12 4.8	11 4.4	11 4.4	8 3.2	7 2.8	4 1.6	0 0.0	10 4.0	131 52.4
	従たる介護者	339 100.0	72 21.2	4 1.2	2 0.6	4 1.2	0 0.0	2 0.6	0 0.0	0 0.0	1 0.3	254 74.9

【原因疾患別・介護期間別(介護継続期間を問わない)】

		Q59 実際に介護のために連続した期間仕事を休むことはありましたか。 あてはまるものが複数ある場合は、最も長い期間をひとつお答えください。										
		全体	1週間以内の期間で休んだ	1週間を超えて2週間以内の期間で休んだ	2週間を超えて1か月以内の期間で休んだ	1か月を超えて2か月以内の期間で休んだ	2か月を超えて3か月以内の期間で休んだ	3か月を超えて6か月以内の期間で休んだ	6か月を超えて1年以内の期間で休んだ	1年を超えて2年以内の期間で休んだ	2年を超える期間で休んだ	連続して仕事を休んだことはなかった
全体		1666	23.9	4.3	2.5	2.3	1.3	1.1	0.8	0.1	1.0	62.7
全体	脳血管障害	244	25.8	7.0	3.3	2.9	2.0	0.8	0.4	0.0	2.0	55.7
	悪性新生物(がん)	301	24.6	3.0	3.3	3.0	2.0	1.7	1.0	0.0	1.3	60.1
	認知症	319	23.5	4.7	2.5	1.6	0.6	0.9	0.9	0.3	1.3	63.6
	骨折・転倒	136	23.5	2.2	0.7	1.5	0.0	0.7	0.7	0.7	0.7	69.1
	障がい	56	28.6	5.4	3.6	0.0	1.8	3.6	1.8	0.0	1.8	53.6
	その他	610	22.6	3.9	2.0	2.6	1.3	0.8	0.8	0.0	0.3	65.6
全体		700	28.7	7.4	4.7	4.3	2.9	2.0	1.9	0.3	2.3	45.6
はい、主介護者でした。	脳血管障害	98	27.6	10.2	7.1	5.1	5.1	2.0	1.0	0.0	4.1	37.8
	悪性新生物(がん)	140	27.1	5.7	6.4	5.0	3.6	2.1	2.1	0.0	2.9	45.0
	認知症	131	29.8	8.4	3.8	3.1	1.5	1.5	2.3	0.8	3.1	45.8
	骨折・転倒	47	29.8	4.3	2.1	4.3	0.0	2.1	2.1	2.1	2.1	51.1
	障がい	29	37.9	6.9	6.9	0.0	3.4	6.9	3.4	0.0	3.4	31.0
	その他	255	28.2	7.5	3.5	4.7	2.7	1.6	1.6	0.0	0.8	49.4
全体		966	20.4	2.0	0.8	0.9	0.2	0.4	0.1	0.0	0.1	75.1
いいえ、従たる介護者でした。	脳血管障害	146	24.7	4.8	0.7	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	67.8
	悪性新生物(がん)	161	22.4	0.6	0.6	1.2	0.6	1.2	0.0	0.0	0.0	73.3
	認知症	188	19.1	2.1	1.6	0.5	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	76.1
	骨折・転倒	89	20.2	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	78.7
	障がい	27	18.5	3.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	77.8
	その他	355	18.6	1.4	0.8	1.1	0.3	0.3	0.3	0.0	0.0	77.2

【原因疾患別・介護期間別（介護継続期間6か月以上の者）】

※介護期間が6ヶ月以上の者に限る

		Q59 実際に介護のために連続した期間仕事を休むことはありましたか。 あてはまるものが複数ある場合は、最も長い期間をひとつお答えください。										
		全体	1週間以内の期間で休んだ	1週間を超えて2週間以内の期間で休んだ	2週間を超えて1か月以内の期間で休んだ	1か月を超えて2か月以内の期間で休んだ	2か月を超えて3か月以内の期間で休んだ	3か月を超えて6か月以内の期間で休んだ	6か月を超えて1年以内の期間で休んだ	1年を超えて2年以内の期間で休んだ	2年を超えて3年以上の期間で休んだ	連続して仕事を休んだことはなかった
全体	全体	1211	25.1	4.1	2.6	2.0	0.8	0.9	1.0	0.2	1.4	61.9
	脳血管障害	189	24.3	8.5	3.2	2.6	2.1	0.5	0.5	0.0	2.6	55.6
	悪性新生物(がん)	169	26.0	3.0	5.3	2.4	1.2	2.4	1.8	0.0	2.4	55.6
	認知症	257	24.5	4.3	1.9	1.2	0.0	0.4	1.2	0.4	1.6	64.6
	骨折・転倒	105	27.6	1.9	0.0	1.0	0.0	1.0	0.0	1.0	1.0	66.7
	障がい	42	33.3	4.8	4.8	0.0	0.0	2.4	2.4	0.0	2.4	50.0
はい、主介護者でした。	全体	557	30.0	6.6	4.5	3.6	1.6	1.3	2.0	0.4	2.9	47.2
	脳血管障害	86	24.4	11.6	5.8	4.7	4.7	1.2	1.2	0.0	4.7	41.9
	悪性新生物(がん)	95	27.4	4.2	8.4	3.2	2.1	2.1	3.2	0.0	4.2	45.3
	認知症	111	31.5	7.2	3.6	1.8	0.0	0.0	2.7	0.9	3.6	48.6
	骨折・転倒	38	34.2	2.6	0.0	2.6	0.0	2.6	0.0	2.6	2.6	52.6
	障がい	24	37.5	8.3	8.3	0.0	0.0	4.2	4.2	0.0	4.2	33.3
いいえ、従たる介護者でした。	全体	654	20.9	2.0	0.9	0.6	0.2	0.6	0.2	0.0	0.2	74.5
	脳血管障害	103	24.3	5.8	1.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	67.0
	悪性新生物(がん)	74	24.3	1.4	1.4	1.4	0.0	2.7	0.0	0.0	0.0	68.9
	認知症	146	19.2	2.1	0.7	0.7	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	76.7
	骨折・転倒	67	23.9	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	74.6
	障がい	18	27.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	72.2

※介護期間が6ヶ月以上の者に限る

		Q59 実際に介護のために連続した期間仕事を休むことはありましたか。 あてはまるものが複数ある場合は、最も長い期間をひとつお答えください。 【介護を開始して最初の3か月】										
		全体	1週間以内の期間で休んだ	1週間を超えて2週間以内の期間で休んだ	2週間を超えて1か月以内の期間で休んだ	1か月を超えて2か月以内の期間で休んだ	2か月を超えて3か月以内の期間で休んだ	3か月を超えて6か月以内の期間で休んだ	6か月を超えて1年以内の期間で休んだ	1年を超えて2年以内の期間で休んだ	2年を超えて3年以上の期間で休んだ	連続して仕事を休んだことはなかった
全体	全体	137	60.6	10.9	8.8	5.1	1.5	3.6	3.6	0.0	5.8	0.0
	脳血管障害	30	50.0	16.7	10.0	10.0	3.3	0.0	3.3	0.0	6.7	0.0
	悪性新生物(がん)	17	47.1	0.0	5.9	5.9	0.0	17.6	11.8	0.0	11.8	0.0
	認知症	24	54.2	20.8	12.5	0.0	0.0	0.0	4.2	0.0	8.3	0.0
	骨折・転倒	12	75.0	0.0	0.0	8.3	0.0	8.3	0.0	0.0	8.3	0.0
	障がい	7	57.1	14.3	14.3	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0
はい、主介護者でした。	全体	99	49.5	13.1	11.1	7.1	2.0	4.0	5.1	0.0	8.1	0.0
	脳血管障害	23	39.1	17.4	13.0	13.0	4.3	0.0	4.3	0.0	8.7	0.0
	悪性新生物(がん)	13	38.5	0.0	7.7	7.7	0.0	15.4	15.4	0.0	15.4	0.0
	認知症	17	41.2	23.5	17.6	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0	11.8	0.0
	骨折・転倒	9	66.7	0.0	0.0	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0	11.1	0.0
	障がい	5	40.0	20.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
いいえ、従たる介護者でした。	全体	38	89.5	5.3	2.6	0.0	0.0	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0
	脳血管障害	7	85.7	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	悪性新生物(がん)	4	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	認知症	7	85.7	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	骨折・転倒	3	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	障がい	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※介護期間が6ヶ月以上の者に限る

		Q59 実際に介護のために連続した期間仕事を休むことはありましたか。 あてはまるものが複数ある場合は、最も長い期間をひとつお答えください。 【最初と最後を除いた期間】										
		全体	1週間以内の期間で休んだ	1週間を超えて2週間以内の期間で休んだ	2週間を超えて1か月以内の期間で休んだ	1か月を超えて2か月以内の期間で休んだ	2か月を超えて3か月以内の期間で休んだ	3か月を超えて6か月以内の期間で休んだ	6か月を超えて1年以内の期間で休んだ	1年を超えて2年以内の期間で休んだ	2年を超えて3年以上の期間で休んだ	連続して仕事を休んだことはなかった
全体	全体	186	61.8	12.4	7.5	6.5	2.2	1.6	3.2	1.1	3.8	0.0
	脳血管障害	34	50.0	23.5	8.8	2.9	5.9	0.0	0.0	0.0	8.8	0.0
	悪性新生物(がん)	28	46.4	10.7	17.9	10.7	3.6	3.6	3.6	0.0	3.6	0.0
	認知症	37	70.3	8.1	2.7	5.4	0.0	0.0	5.4	2.7	5.4	0.0
	骨折・転倒	12	75.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	8.3	0.0
	障がい	12	66.7	8.3	8.3	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	8.3	0.0
はい、主介護者でした。	全体	63	66.7	9.5	6.3	9.5	1.6	1.6	4.8	0.0	0.0	0.0
	脳血管障害	20	40.0	25.0	10.0	5.0	10.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0
	悪性新生物(がん)	20	45.0	10.0	20.0	10.0	5.0	0.0	5.0	0.0	5.0	0.0
	認知症	25	64.0	4.0	4.0	8.0	0.0	0.0	8.0	4.0	8.0	0.0
	骨折・転倒	6	66.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0
	障がい	10	60.0	10.0	10.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	10.0	0.0
いいえ、従たる介護者でした。	全体	123	55.3	13.0	8.9	8.9	2.4	0.8	4.1	1.6	4.9	0.0
	脳血管障害	14	64.3	21.4	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0
	悪性新生物(がん)	8	50.0	12.5	12.5	12.5	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0
	認知症	12	83.3	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	骨折・転倒	6	83.3	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	障がい	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※介護期間が6ヶ月以上の者に限る

		Q59 実際に介護のために連続した期間仕事を休むことはありましたか。 あてはまるものが複数ある場合は、最も長い期間をひとつお答えください。 【最後の3か月】										
		全体	1週間以内の期間で休んだ	1週間を超えて2週間以内の期間で休んだ	2週間を超えて1か月以内の期間で休んだ	1か月を超えて2か月以内の期間で休んだ	2か月を超えて3か月以内の期間で休んだ	3か月を超えて6か月以内の期間で休んだ	6か月を超えて1年以内の期間で休んだ	1年を超えて2年以内の期間で休んだ	2年を超える期間で休んだ	連続して仕事を休んだことはなかった
全体	全体	138	76.8	8.7	3.6	3.6	2.9	2.2	0.7	0.0	1.4	0.0
	脳血管障害	20	70.0	15.0	0.0	5.0	5.0	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	悪性新生物(がん)	30	76.7	6.7	10.0	0.0	3.3	0.0	0.0	0.0	3.3	0.0
	認知症	30	80.0	10.0	3.3	3.3	0.0	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	骨折・転倒	11	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	障がい	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	45	71.1	8.9	2.2	6.7	4.4	2.2	2.2	0.0	2.2	0.0
はい、主介護者でした。	全体	72	69.4	11.1	4.2	2.8	5.6	2.8	1.4	0.0	2.8	0.0
	脳血管障害	7	57.1	14.3	0.0	0.0	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	悪性新生物(がん)	19	63.2	10.5	15.8	0.0	5.3	0.0	0.0	0.0	5.3	0.0
	認知症	15	80.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	骨折・転倒	3	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	障がい	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	27	66.7	7.4	0.0	7.4	7.4	3.7	3.7	0.0	3.7	0.0
いいえ、従たる介護者でした。	全体	66	84.8	6.1	3.0	4.5	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0
	脳血管障害	13	76.9	15.4	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	悪性新生物(がん)	11	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	認知症	15	80.0	0.0	6.7	6.7	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	骨折・転倒	8	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	障がい	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	18	77.8	11.1	5.6	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【介護期間別】

		Q59 実際に介護のために連続した期間仕事を休むことはありましたか。 あてはまるものが複数ある場合は、最も長い期間をひとつお答えください。										
		全体	1週間以内の期間で休んだ	1週間を超えて2週間以内の期間で休んだ	2週間を超えて1か月以内の期間で休んだ	1か月を超えて2か月以内の期間で休んだ	2か月を超えて3か月以内の期間で休んだ	3か月を超えて6か月以内の期間で休んだ	6か月を超えて1年以内の期間で休んだ	1年を超えて2年以内の期間で休んだ	2年を超える期間で休んだ	連続して仕事を休んだことはなかった
全体		1666	398	71	41	39	22	18	14	2	17	1044
		100.0	23.9	4.3	2.5	2.3	1.3	1.1	0.8	0.1	1.0	62.7
介護期間(月) (カテゴリ)	3ヶ月未満	121	23	8	3	4	3	3	1	0	1	75
		100.0	19.0	6.6	2.5	3.3	2.5	2.5	0.8	0.0	0.8	62.0
	3ヶ月～1年未満	275	51	12	4	5	6	2	4	0	1	190
		100.0	18.5	4.4	1.5	1.8	2.2	0.7	1.5	0.0	0.4	69.1
	1年～3年未満	502	131	17	19	12	7	2	2	2	4	306
		100.0	26.1	3.4	3.8	2.4	1.4	0.4	0.4	0.4	0.8	61.0
3年～5年未満	315	78	15	8	7	1	2	2	0	7	195	
	100.0	24.8	4.8	2.5	2.2	0.3	0.6	0.6	0.0	2.2	61.9	
5年以上	453	115	19	7	11	5	9	5	0	4	278	
	100.0	25.4	4.2	1.5	2.4	1.1	2.0	1.1	0.0	0.9	61.4	

【在宅・施設介護別】

		Q59 実際に介護のために連続した期間仕事を休むことはありましたか。 あてはまるものが複数ある場合は、最も長い期間をひとつお答えください。										
		全体	1週間以内の期間で休んだ	1週間を超えて2週間以内の期間で休んだ	2週間を超えて1か月以内の期間で休んだ	1か月を超えて2か月以内の期間で休んだ	2か月を超えて3か月以内の期間で休んだ	3か月を超えて6か月以内の期間で休んだ	6か月を超えて1年以内の期間で休んだ	1年を超えて2年以内の期間で休んだ	2年を超える期間で休んだ	連続して仕事を休んだことはなかった
全体		1666	398	71	41	39	22	18	14	2	17	1044
		100.0	23.9	4.3	2.5	2.3	1.3	1.1	0.8	0.1	1.0	62.7
在宅介護・施設介護の別	全期間在宅介護	655	151	33	18	15	8	8	8	2	12	400
		100.0	23.1	5.0	2.7	2.3	1.2	1.2	1.2	0.3	1.8	61.1
	一部期間在宅介護	810	198	36	21	20	11	10	6	0	4	504
		100.0	24.4	4.4	2.6	2.5	1.4	1.2	0.7	0.0	0.5	62.2
	全期間施設介護	201	49	2	2	4	3	0	0	0	1	140
	100.0	24.4	1.0	1.0	2.0	1.5	0.0	0.0	0.0	0.5	69.7	

ウ) 1週間以上の連続した休みの回数

【実際に介護のために1週間を超えて連続して連続して仕事を休んだと回答した者に限る(Q59で2から9までの選択肢を回答した者)(N=224)】

- 1週間を超える連続した休みの取得者のうち、主たる介護者は2回取得者が34.4%と最も多く従たる介護者では単回取得が36.4%と最も多かった。
- 1週間を超える連続した休みを取得している場合、単回取得者では1週間を超え2週間以内が42.2%と最も多く、2回取得者、3回取得者、4回取得者、5回取得者では通算で「2週間を超えて1か月以内」がそれぞれ50.7%、58.5%、41.2%、44.4%と最も多かった。
- 原因疾患別では脳血管疾患と認知症で2回取得者が多い傾向がみられた。

【全体】

		Q65 介護を終了するまでに1週間を超えて連続した期間介護のために仕事を休むことは何回くらいありましたか。						
		全体	1回	2回	3回	4回	5回	6回以上
全体		224	20.1	30.8	18.3	7.6	4.0	19.2
全体	主たる介護者	180	16.1	34.4	15.6	8.3	3.9	21.7
	従たる介護者	44	36.4	15.9	29.5	4.5	4.5	9.1
全体		148	18.2	34.5	18.9	8.1	4.1	16.2
正規雇用	主たる介護者	117	14.5	38.5	14.5	9.4	4.3	18.8
	従たる介護者	31	32.3	19.4	35.5	3.2	3.2	6.5
全体		76	23.7	23.7	17.1	6.6	3.9	25.0
非正規雇用	主たる介護者	63	19.0	27.0	17.5	6.3	3.2	27.0
	従たる介護者	13	46.2	7.7	15.4	7.7	7.7	15.4

【連続休暇期間別】

		Q65 介護を終了するまでに1週間を超えて連続した期間介護のために仕事を休むことは何回くらいありましたか。						
		全体	1回	2回	3回	4回	5回	6回以上
全体		224	20.1	30.8	18.3	7.6	4.0	19.2
	2週間以内	52	36.5	36.5	13.5	5.8	3.8	3.8
	2週間を超えて1か月以内の期間	82	7.3	42.7	29.3	8.5	4.9	7.3
	1か月を超えて3か月以内の期間	49	30.6	20.4	18.4	12.2	6.1	12.2
	3か月を超える期間	41	12.2	12.2	2.4	2.4	0.0	70.7

【原因疾患別】

		Q65 介護を終了するまでに1週間を超えて連続した期間介護のために仕事を休むことは何回くらいありましたか。						
		全体	1回	2回	3回	4回	5回	6回以上
全体		224	20.1	30.8	18.3	7.6	4.0	19.2
全体	脳血管障害	45	8.9	42.2	15.6	4.4	4.4	24.4
	悪性新生物(がん)	46	23.9	21.7	15.2	8.7	4.3	26.1
	認知症	41	17.1	31.7	19.5	9.8	4.9	17.1
	骨折・転倒	10	30.0	30.0	10.0	0.0	10.0	20.0
	障がい	10	50.0	20.0	20.0	10.0	0.0	0.0
	その他	72	20.8	30.6	22.2	8.3	2.8	15.3
主たる介護者		180	16.1	34.4	15.6	8.3	3.9	21.7
主たる介護者	脳血管障害	34	8.8	38.2	14.7	2.9	2.9	32.4
	悪性新生物(がん)	39	23.1	25.6	10.3	10.3	5.1	25.6
	認知症	32	9.4	37.5	12.5	12.5	6.3	21.9
	骨折・転倒	9	22.2	33.3	11.1	0.0	11.1	22.2
	障がい	9	44.4	22.2	22.2	11.1	0.0	0.0
	その他	57	14.0	38.6	21.1	8.8	1.8	15.8
従たる介護者		44	36.4	15.9	29.5	4.5	4.5	9.1
従たる介護者	脳血管障害	11	9.1	54.5	18.2	9.1	9.1	0.0
	悪性新生物(がん)	7	28.6	0.0	42.9	0.0	0.0	28.6
	認知症	9	44.4	11.1	44.4	0.0	0.0	0.0
	骨折・転倒	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	障がい	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	15	46.7	0.0	26.7	6.7	6.7	13.3

		Q65 介護を終了するまでに1週間を超えて連続した期間介護のために仕事を休むことは何回くらいありましたか。						
		全体	1回	2回	3回	4回	5回	6回以上
全体		224	20.1	30.8	18.3	7.6	4.0	19.2
全体	2週間以内	52	36.5	36.5	13.5	5.8	3.8	3.8
	2週間を超えて1か月以内の期間	82	7.3	42.7	29.3	8.5	4.9	7.3
	1か月を超えて3か月以内の期間	49	30.6	20.4	18.4	12.2	6.1	12.2
	3か月を超える期間	41	12.2	12.2	2.4	2.4	0.0	70.7
全体		45	8.9	42.2	15.6	4.4	4.4	24.4
脳血管障害	2週間以内	9	11.1	55.6	22.2	0.0	11.1	0.0
	2週間を超えて1か月以内の期間	19	5.3	47.4	21.1	5.3	0.0	21.1
	1か月を超えて3か月以内の期間	8	12.5	37.5	12.5	12.5	12.5	12.5
	3か月を超える期間	9	11.1	22.2	0.0	0.0	0.0	66.7
全体		46	23.9	21.7	15.2	8.7	4.3	26.1
悪性新生物(がん)	2週間以内	8	37.5	37.5	12.5	12.5	0.0	0.0
	2週間を超えて1か月以内の期間	14	0.0	28.6	28.6	14.3	14.3	14.3
	1か月を超えて3か月以内の期間	15	46.7	20.0	13.3	6.7	0.0	13.3
	3か月を超える期間	9	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	88.9
全体		41	17.1	31.7	19.5	9.8	4.9	17.1
認知症	2週間以内	10	30.0	50.0	20.0	0.0	0.0	0.0
	2週間を超えて1か月以内の期間	13	7.7	38.5	30.8	15.4	7.7	0.0
	1か月を超えて3か月以内の期間	10	30.0	10.0	20.0	20.0	10.0	10.0
	3か月を超える期間	8	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	75.0
全体		10	30.0	30.0	10.0	0.0	10.0	20.0
骨折・転倒	2週間以内	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	2週間を超えて1か月以内の期間	3	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	1か月を超えて3か月以内の期間	3	33.3	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0
	3か月を超える期間	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
全体		10	50.0	20.0	20.0	10.0	0.0	0.0
障がい	2週間以内	3	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0
	2週間を超えて1か月以内の期間	4	25.0	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	1か月を超えて3か月以内の期間	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	3か月を超える期間	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
全体		72	20.8	30.6	22.2	8.3	2.8	15.3
その他	2週間以内	20	50.0	20.0	10.0	5.0	5.0	10.0
	2週間を超えて1か月以内の期間	29	6.9	48.3	34.5	6.9	3.4	0.0
	1か月を超えて3か月以内の期間	12	16.7	25.0	25.0	16.7	0.0	16.7
	3か月を超える期間	11	9.1	9.1	9.1	9.1	0.0	63.6

④ 介護のために必要な連続した休みの日数と実際に取得した日数（介護期間別）

- 介護のための連続した休みについて、必要性和実際の取得実績の比較を行うと、75.2%が取得実績が必要日数を充足するが、24.8%が取得実績が必要日数に満たないと回答している。

【全体】

		Q59 実際に介護のために連続した期間仕事を休むことはありましたか。										
		全体	連続して仕事を休んだことはなかった	1週間以内の期間で休んだ	1週間を超えて2週間以内の期間で休んだ	2週間を超えて1か月以内の期間で休んだ	1か月を超えて2か月以内の期間で休んだ	2か月を超えて3か月以内の期間で休んだ	3か月を超えて6か月以内の期間で休んだ	6か月を超えて1年以内の期間で休んだ	1年を超えて2年以内の期間で休んだ	2年を超える期間で休んだ
全体		1666 100.0	1044 62.7	398 23.9	71 4.3	41 2.5	39 2.3	22 1.3	18 1.1	14 0.8	2 0.1	17 1.0
Q56 あなたは介護のために、連続して仕事を休む必要がありましたか。実際に取得できた日数ではなく、振り返って必要であったと考えられる日数を回答してください。あてはまるものが複数ある場合には、最も長い期間を一つお答えください。	1週間以内の期間で休む必要があった	355 100.0	45 12.7	276 77.7	22 6.2	4 1.1	4 1.1	2 0.6	1 0.3	0 0.3	0 0.0	0 0.0
	1週間を超えて2週間以内の期間で休む必要があった	57 100.0	5 8.8	11 19.3	32 56.1	8 14.0	1 1.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	2週間を超えて1か月以内の期間で休む必要があった	53 100.0	1 1.9	10 18.9	9 17.0	18 34.0	10 18.9	3 5.7	2 3.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	1か月を超えて2か月以内の期間で休む必要があった	42 100.0	5 11.9	7 16.7	3 7.1	7 16.7	13 31.0	4 9.5	2 4.8	1 2.4	0 0.0	0 0.0
	2か月を超えて3か月以内の期間で休む必要があった	22 100.0	0 0.0	1 4.5	2 9.1	0 0.0	5 22.7	11 50.0	3 13.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	3か月を超えて6か月以内の期間で休む必要があった	17 100.0	4 23.5	1 5.9	0 0.0	1 5.9	2 11.8	2 11.8	4 23.5	2 11.8	0 0.0	1 5.9
	6か月を超えて1年以内の期間で休む必要があった	14 100.0	2 14.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 35.7	6 42.9	0 0.0	1 7.1
	1年を超えて2年以内の期間で休む必要があった	11 100.0	2 18.2	2 18.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 9.1	1 9.1	2 18.2	3 27.3
	2年を超える期間で休む必要があった	26 100.0	8 30.8	2 7.7	1 3.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 11.5	0 0.0	12 46.2
	連続して仕事を休む必要はなかった	1069 100.0	972 90.9	88 8.2	2 0.2	3 0.3	4 0.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

介護のために連続して仕事を休む必要があった人のみ	必要期間 > 実際に休んだ期間	必要期間 ≤ 実際に休んだ期間	合計
対象者数	148	449	597
割合	24.8%	75.2%	100.0%

⑤ 介護のために休みを取得する際に活用した制度【介護のために連続した期間仕事を休んだ場合のみ】

- 介護のための連続した休みを取得する際に利用した制度について、正規雇用では年次有給休暇を用いた者の割合が最も高いが、主たる介護者では「介護休暇をとった」が26.7%、「介護休業をとった」が22.1%と従たる介護者のそれぞれ17.3%、10.9%を上回った。
- 非正規雇用では「欠勤または制度によらない方法で休んだ」との回答が47.0%と高い割合を示した。
- 原因疾患別では「脳血管疾患」において「介護休業をとった」との回答が他の疾患と比較して回答割合が高かった(24.1%)。

【雇用形態別】

		Q62 実際に介護のために休みを取得したとき、どのような方法で休みましたか。 あてはまるものをすべてお答えください。					
		全体	介護休業をとった	介護休暇をとった	年次有給休暇をとった	その他の休暇制度を利用した	欠勤または制度によらない方法で休んだ
全体		622 100.0	96 15.4	122 19.6	324 52.1	57 9.2	154 24.8
全体	はい、主介護者でした。	381 100.0	76 19.9	90 23.6	181 47.5	38 10.0	97 25.5
	いいえ、従たる介護者でした。	241 100.0	20 8.3	32 13.3	143 59.3	19 7.9	57 23.7
全体		418 100.0	75 17.9	97 23.2	254 60.8	35 8.4	58 13.9
正規雇用	はい、主介護者でした。	262 100.0	58 22.1	70 26.7	146 55.7	22 8.4	43 16.4
	いいえ、従たる介護者でした。	156 100.0	17 10.9	27 17.3	108 69.2	13 8.3	15 9.6
全体		204 100.0	21 10.3	25 12.3	70 34.3	22 10.8	96 47.1
非正規雇用	はい、主介護者でした。	119 100.0	18 15.1	20 16.8	35 29.4	16 13.4	54 45.4
	いいえ、従たる介護者でした。	85 100.0	3 3.5	5 5.9	35 41.2	6 7.1	42 49.4

【原因疾患別】

		Q62 実際に介護のために休みを取得したとき、どのような方法で休みましたか。					
		全体	介護休業をとった	介護休暇をとった	年次有給休暇をとった	その他の休暇制度を利用した	欠勤または制度によらない方法で休んだ
全体		622 100.0	96 15.4	122 19.6	324 52.1	57 9.2	154 24.8
あなたの介護原因疾患は何ですか。	脳血管障害	108 100.0	26 24.1	24 22.2	56 51.9	9 8.3	29 26.9
	悪性新生物(がん)	120 100.0	14 11.7	25 20.8	61 50.8	11 9.2	32 26.7
	認知症	116 100.0	18 15.5	25 21.6	50 43.1	11 9.5	33 28.4
	骨折・転倒	42 100.0	3 7.1	2 4.8	25 59.5	4 9.5	11 26.2
	障がい	26 100.0	5 19.2	4 15.4	13 50.0	3 11.5	6 23.1
	その他	210 100.0	30 14.3	42 20.0	119 56.7	19 9.0	43 20.5

⑥ 介護のために休みを取得した理由【介護のために連続した期間仕事を休んだ場合のみ】

- 介護のための連続した休みを取得した理由について、正規雇用の主たる介護者では従たる介護者と比較して「介護サービスの利用可能時間に合わせた」「自分以外に介護する家族がないから」「介護と仕事の両立が困難になったから」の回答割合が高い傾向がみられた。
- 非正規雇用の主たる介護者では、従たる介護者と比較して「自分が介護をする必要があったから」「自分以外に介護する家族がないから」の回答割合が高い傾向がみられた。

【雇用形態別】

		Q63 介護のために休みを取得したのは、どのような理由によるものでしたか。(いくつでも)					
		全体	介護サービスの利用可能時間に合わせた	自分が介護をする必要があったから	自分以外に介護をする家族がないから	介護と仕事の両立が困難になったから	その他
全体		622 100.0	180 28.9	363 58.4	154 24.8	140 22.5	23 3.7
全体	はい、主介護者でした。	381 100.0	118 31.0	227 59.6	111 29.1	98 25.7	16 4.2
	いいえ、従たる介護者でした。	241 100.0	62 25.7	136 56.4	43 17.8	42 17.4	7 2.9
全体		418 100.0	138 33.0	244 58.4	106 25.4	84 20.1	13 3.1
正規雇用	はい、主介護者でした。	262 100.0	94 35.9	152 58.0	74 28.2	64 24.4	7 2.7
	いいえ、従たる介護者でした。	156 100.0	44 28.2	92 59.0	32 20.5	20 12.8	6 3.8
全体		204 100.0	42 20.6	119 58.3	48 23.5	56 27.5	10 4.9
非正規雇用	はい、主介護者でした。	119 100.0	24 20.2	75 63.0	37 31.1	34 28.6	9 7.6
	いいえ、従たる介護者でした。	85 100.0	18 21.2	44 51.8	11 12.9	22 25.9	1 1.2

【原因疾患別】

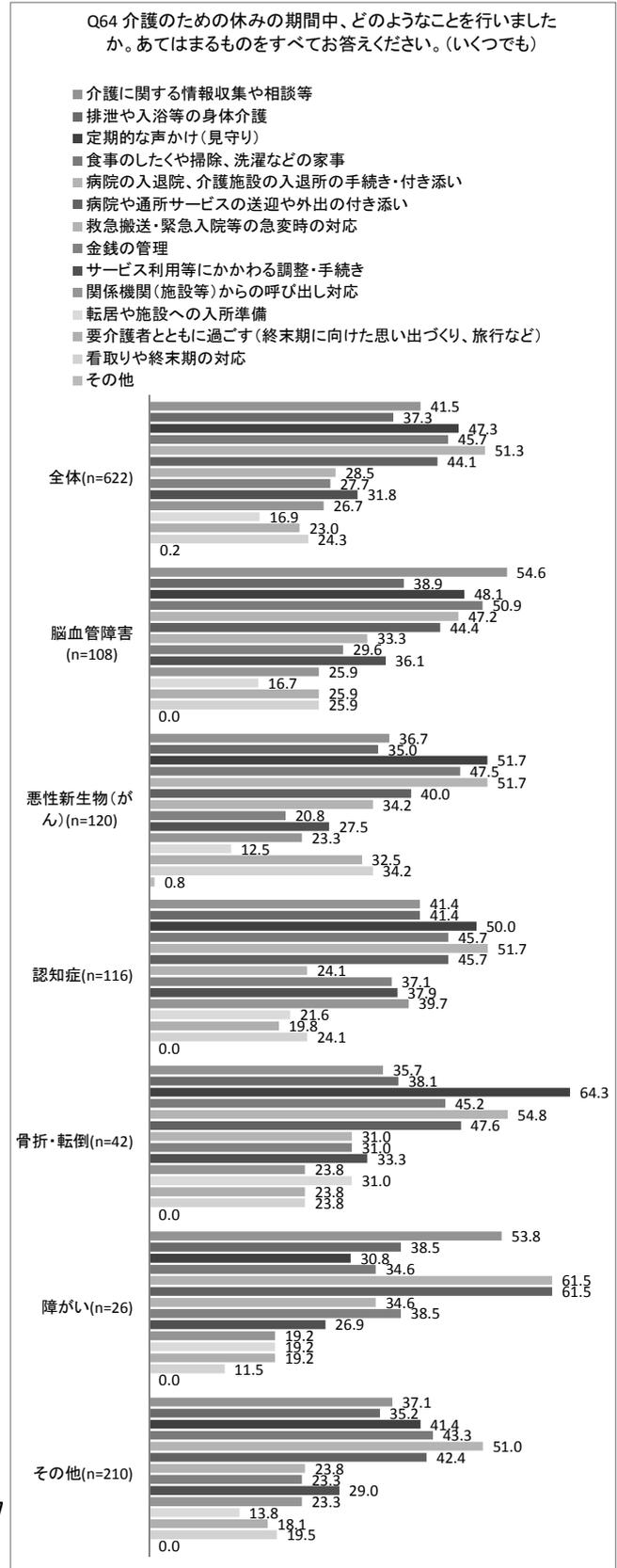
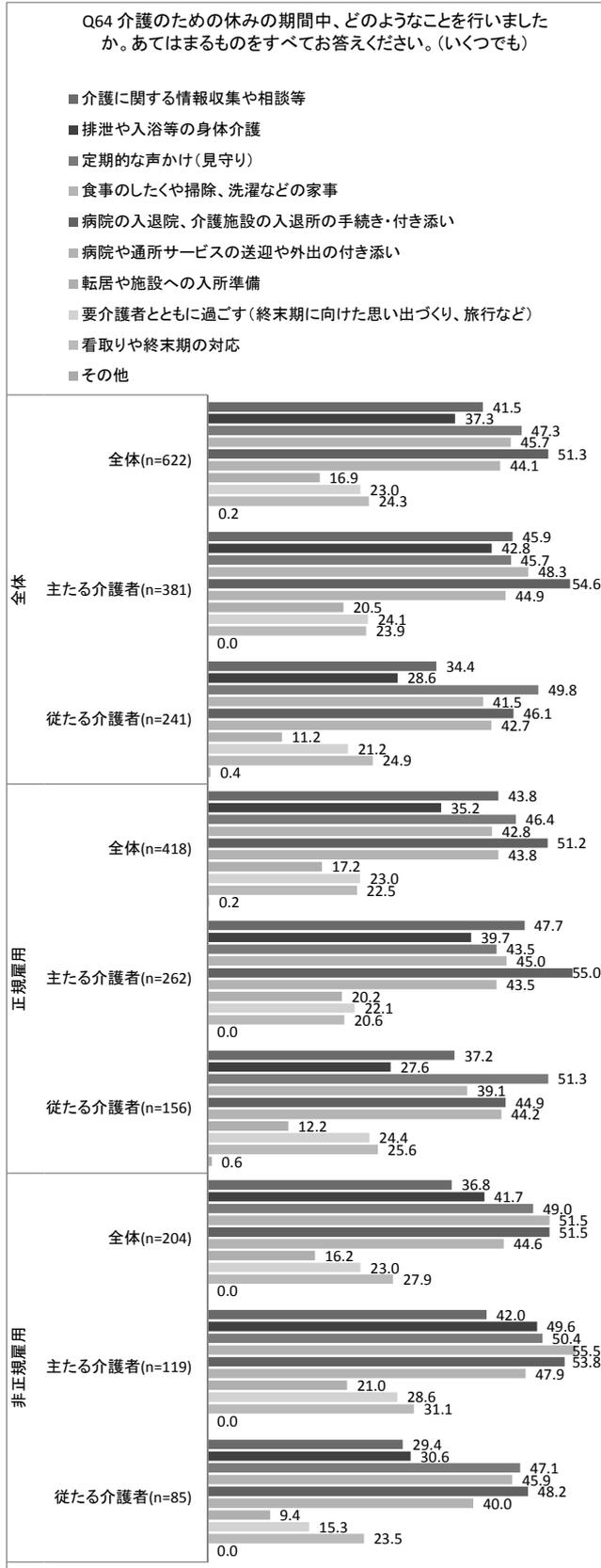
		Q63 介護のために休みを取得したのは、どのような理由によるものでしたか。(いくつでも)					
		全体	介護サービスの利用可能時間に合わせた	自分が介護をする必要があったから	自分以外に介護をする家族がないから	介護と仕事の両立が困難になったから	その他
全体		622 100.0	180 28.9	363 58.4	154 24.8	140 22.5	23 3.7
あなたの介護原因疾患は何ですか。	脳血管障害	108 100.0	45 41.7	63 58.3	28 25.9	24 22.2	2 1.9
	悪性新生物(がん)	120 100.0	21 17.5	75 62.5	31 25.8	27 22.5	5 4.2
	認知症	116 100.0	34 29.3	69 59.5	30 25.9	31 26.7	1 0.9
	骨折・転倒	42 100.0	12 28.6	27 64.3	6 14.3	10 23.8	1 2.4
	障がい	26 100.0	9 34.6	15 57.7	8 30.8	7 26.9	3 11.5
	その他	210 100.0	59 28.1	114 54.3	51 24.3	41 19.5	11 5.2

⑦ 介護のために取得した休みに行った活動【介護のために連続した期間仕事を休んだ場合のみ】

- 休みの期間中に行った活動について、主たる介護者では「病院の入退院、介護施設の入退所の手続き・付き添い」が54.6%で最も多く、次いで「食事のしたくや掃除、洗濯などの家事」(48.3%)、「介護に関する情報収集や相談」(45.9%)などが続いた。
- 原因疾患別では全体との比較で「脳血管疾患」では「介護に関する情報収集や相談等」(54.6%)、「食事のしたくや掃除、洗濯などの家事」(50.9%)、「悪性新生物(がん)」では情報収集等は少なく、「要介護者とともに過ごす(終末期に向けた思い出づくり、旅行等)」(32.5%)、「看取りや終末期の対応」(34.2%)が多く、「認知症」では「金銭の管理」(37.9%)、「関係機関(施設等)からの呼び出し対応」(39.7%)が高かった。

【雇用形態別】

【原因疾患別】



⑧ 介護のための年間休暇・休日日数

- 介護のための年間の休暇日数を介護休暇、年次有給休暇の双方を合算して検討した。
- 介護休暇の取得日数別にみると介護休暇5日以内では63.0%が年次有給休暇を5日以内取得しており、両休暇を合算して10日以内の休暇を取得していると推測される。同様に介護休暇5日超10日以内の群では46.2%が両休暇合算で10日超20日以内の介護のための休暇を取得していると考えられる。なお、介護休暇を取得していない群であっても19.1%が5日以内の年次有給休暇を取得している。
- カテゴリ回答である介護休暇日数と年次有給休暇日数を数値換算すると、雇用者全体で平均7.5日/年前後の介護のための休暇が取得されており、主たる介護者に限ると同12.0日/年、中央値で5.0日/年、正規雇用の主たる介護者では平均14.7日/年、中央値7.5日/年であった。

ア) 分布

	計	Q70 介護目的の年次有給休暇の年間取得日数(最も多く介護目的の年次有給休暇を取得した年の実績)								
		5日以内	5日を超えて10日以内	10日を超えて2週間以内	2週間を超えて1か月以内	1か月を超えて2か月以内	2か月を超えて3か月以内	3ヶ月を超える	取得していない	
Q67 (最も多く介護休暇の年間取得した日数の実績)	全体	1666	367	204	122	82	27	6	9	849
		100.0	22.0	12.2	7.3	4.9	1.6	0.4	0.5	51.0
	5日以内	173	109	25	11	9	1	0	0	18
		100.0	63.0	14.5	6.4	5.2	0.6	0.0	0.0	10.4
	5日を超えて10日以内	104	13	48	24	9	1	0	0	9
		100.0	12.5	46.2	23.1	8.7	1.0	0.0	0.0	8.7
	10日を超えて15日以内	68	3	12	28	15	2	2	0	6
		100.0	4.4	17.6	41.2	22.1	2.9	2.9	0.0	8.8
	15日を超えて20日以内	34	0	5	8	16	3	0	0	2
		100.0	0.0	14.7	23.5	47.1	8.8	0.0	0.0	5.9
20日を超えて40日以内	25	3	2	3	4	6	3	0	4	
	100.0	12.0	8.0	12.0	16.0	24.0	12.0	0.0	16.0	
41日以上	20	2	2	0	2	4	1	5	4	
	100.0	10.0	10.0	0.0	10.0	20.0	5.0	25.0	20.0	
介護休暇は取得していない	1242	237	110	48	27	10	0	4	806	
	100.0	19.1	8.9	3.9	2.2	0.8	0.0	0.3	64.9	

イ) 換算日数 (全数)

	N	平均値	中央値	最大値	最小値	標準偏差
雇用者	1666	7.5	2.50	134.0	0.0	6.64
正規雇用	1077	9.2	2.50	134.0	0.0	17.44
非正規雇用	589	4.5	0.00	107.5	0.0	10.90
雇用者(主たる介護者)	700	12.0	5.00	134.0	0.0	19.68
正規雇用	450	14.7	7.50	134.0	0.0	21.43
非正規雇用	250	7.2	0.00	107.5	0.0	14.92

<カテゴリ変数換算表>

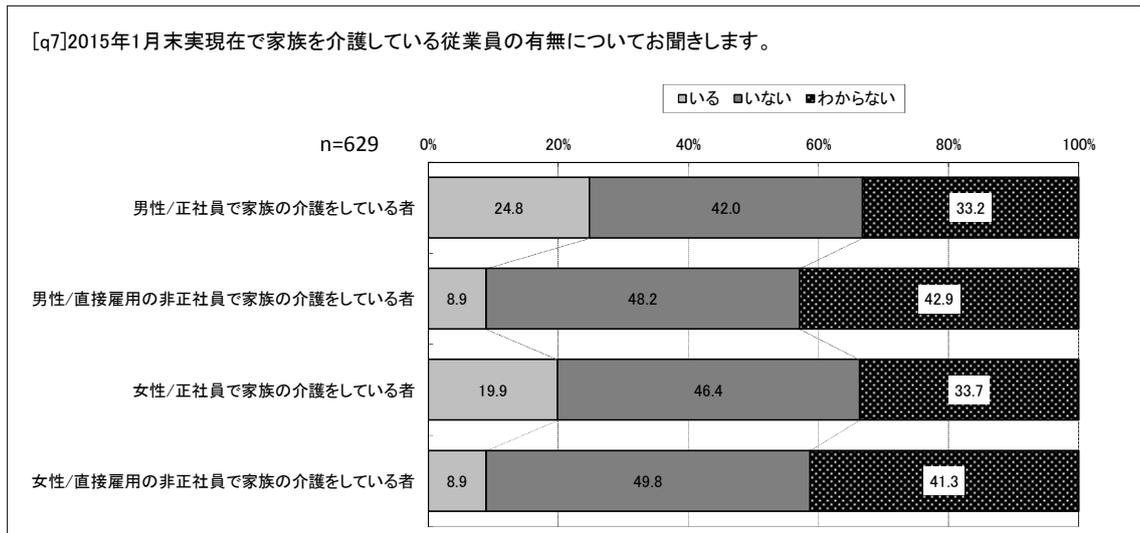
設問	選択肢	換算値
Q67 介護休暇についてうかがいます。 介護休暇を最も多く取得した年の取得日数を回答してください。 連続であるかないとに関らず、介護休暇として取得した日数の合計を回答してください。 ※介護のために取得した特別休暇を含みます。	5日以内	2.5日
	5日を超えて10日以内	7.5日
	10日を超えて15日以内	12.5日
	15日を超えて20日以内	17.5日
	20日を超えて40日以内	30日
	41日以上	41日
	介護休暇は取得していない	0日
Q70 あなたは介護のために年次有給休暇を取得しましたか。 介護のために年次有給休暇を最も多く取得した年の取得日数を回答してください。 連続であるかないとに関らず、介護のために取得した日数の合計を回答してください。	5日以内	2.5日
	5日を超えて10日以内	7.5日
	10日を超えて2週間以内	12日
	2週間を超えて1か月以内	22.5日
	1か月を超えて2か月以内	46.5日
	2か月を超えて3か月以内	77.5日
	3ヶ月を超える	93日
取得していない	0日	

(2) 企業調査

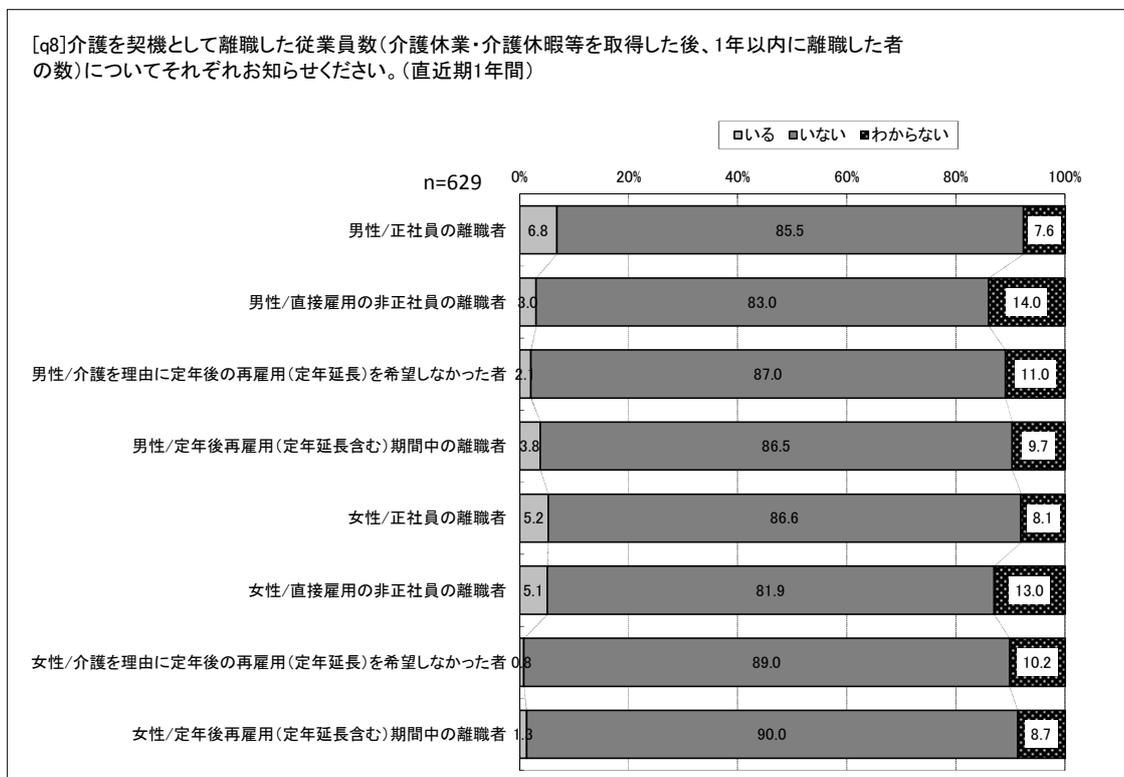
1) 社員の介護状況

- 男性正社員で介護をしている者がいるとの回答をした企業が24.8%、女性正社員で19.9%、男性非正社員（直接雇用）で8.9%、女性非正社員（直接雇用）で8.9%であった。
- 介護離職の状況では男性正社員の介護離職ありと回答した企業が6.8%、女性正社員では5.8%であった。

① 介護実施者の状況



② 介護離職の状況

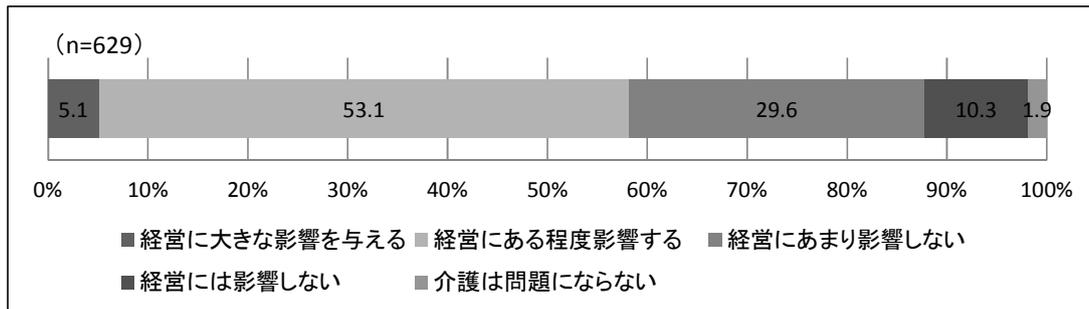


2) 課題認識

- 今後介護を行う従業員が増加することによる企業経営への影響について、経営への影響あり（経営に大きな影響を与える、経営にある程度影響する）と回答した企業が58.2%であった。
- 仕事をしながら介護を行う従業員が増えた場合に想定される影響については「家族の介護による心身の負担増加による従業員の健康リスクの増加」との回答が76.6%で最多、次いで「介護をしながら仕事をする従業員が増えることで周囲の従業員の業務負担が増大する」が71.4%と続いた。

① 経営への影響

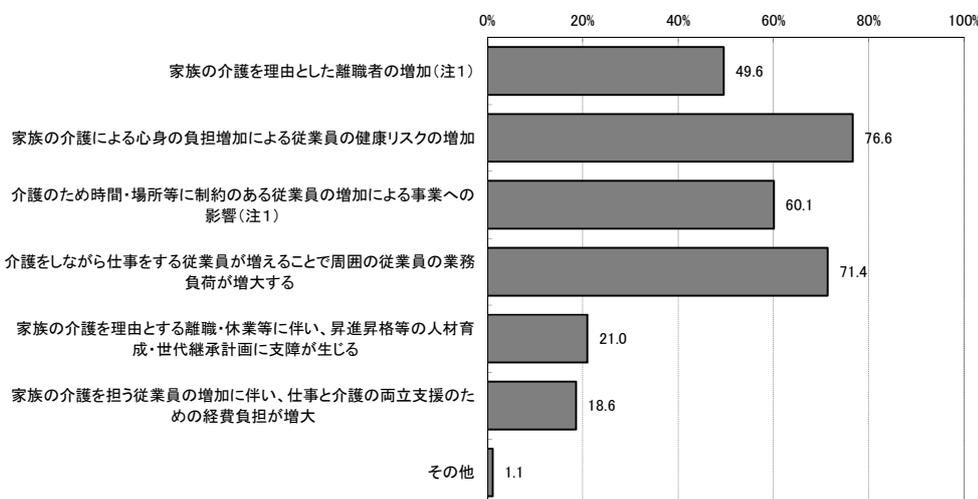
【今後、介護を行う従業員の増加が会社の経営に影響を与えると思うか】



② 影響の内容

[q11]仕事をしながら家族を介護する従業員が増えた場合、貴社にどのような影響があると思いますか。当てはまるもの全てを選択してください。

(n=629)



注1：管理職層等、会社にとって重要な役割を担う従業員の離職・休業などによる業務遂行への影響、配置転換・転勤等の人員配置計画等に支障が生じるような事態を含みます。

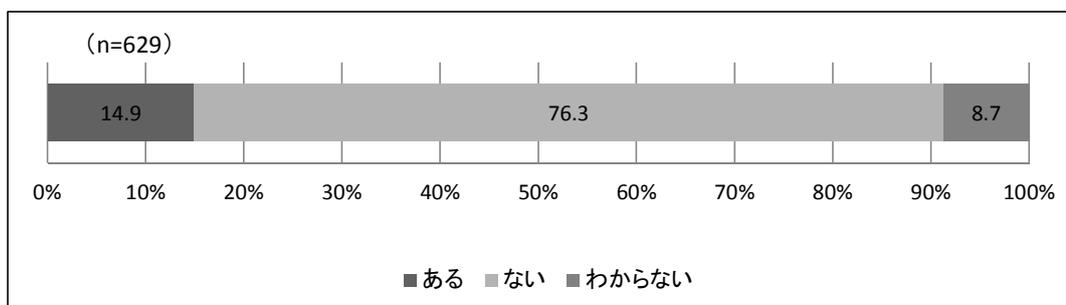
3) 介護休業

- 介護休業について、法定外の親族の介護のための休業申請を受けたことがある企業は14.9%であった。
- 上記のような申出を受けた場合の対応としては「認めない」（規定外であれば一切認めない、原則は認めていないが一定の基準を設けて例外を認めている）方針を持つ企業が4割程度、個別判断や申出があれば原則として認めるとする企業が「配偶者の祖父母・兄弟姉妹」で63.8%、「同居のその他親族」で45.7%、「従業員の別居の祖父母・兄弟姉妹・孫」で47.9%であった。
- 介護休業の取得における要介護状態の判断は「『育児・介護休業法』における『要介護状態』と同等の状態にあるかを判断している」とする企業が50.6%で最も多く、「特に定めていない」が19.4%と続いた。
- 社員に説明している介護休業の用途については「介護及び介護保険に関する情報収集のため」が46.1%で最も多く、次いで「直接介護」が40.0%であった。
- 介護休業を取得できる最長限度は「3ヶ月（93日）まで」が58.0%、次いで「1年」が13.0%であった。期間設定の理由は「育児休業等の他制度との整合を図るため」とする回答が49.0%で最も多かった。
- 介護休業の分割可能回数については「1回」と回答した企業が57.9%と最も多く、次いで「特に定めていない」が36.9%であった。回数設定理由は「介護期間中の施設入退所、入退院等、複数回の関与が必要な事態を想定しているため」が42.4%で最も多かった。
- 介護休業時の所得保障は「雇用保険からの給付」が68.4%と最も多く、次いで「所得保障の仕組みは特にない」が25.4%であった。
- 介護休業制度の拡充に関する負担感について、「介護休業の適用対象となる要介護者の範囲の拡大」に大きな負担を感じると回答した企業が11.8%、「介護休業の適用対象となる要介護状態の判断基準の緩和」では同様に10.0%、「介護休業期間の上限の延伸」では18.8%、「介護休業の分割取得を認める」では14.5%、「雇用保険からの給付以外の付加的な所得保障を行う」では31.6%であった。

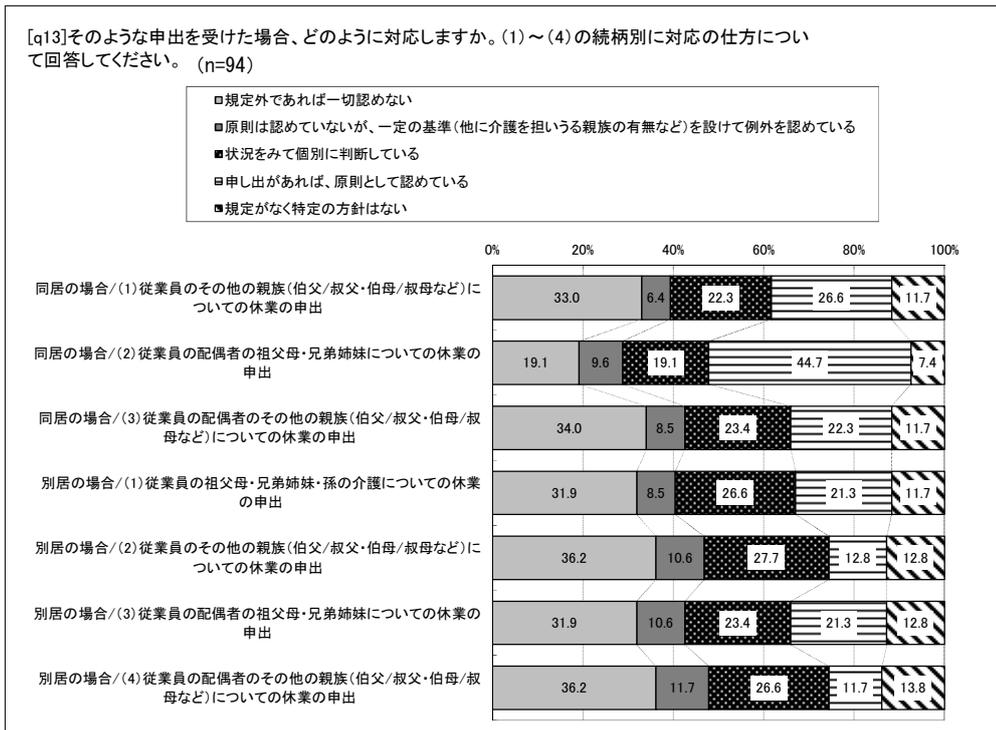
① 対象要介護者の範囲

ア) 申出の有無

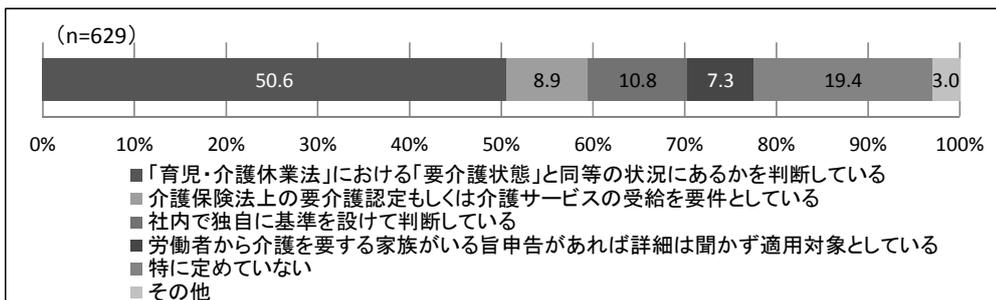
【従業員から法定外の祖父母、兄弟姉妹、オジ・オバなどの介護のための休業の申出を受けたことがあるか】



イ) 申出があった場合の対応



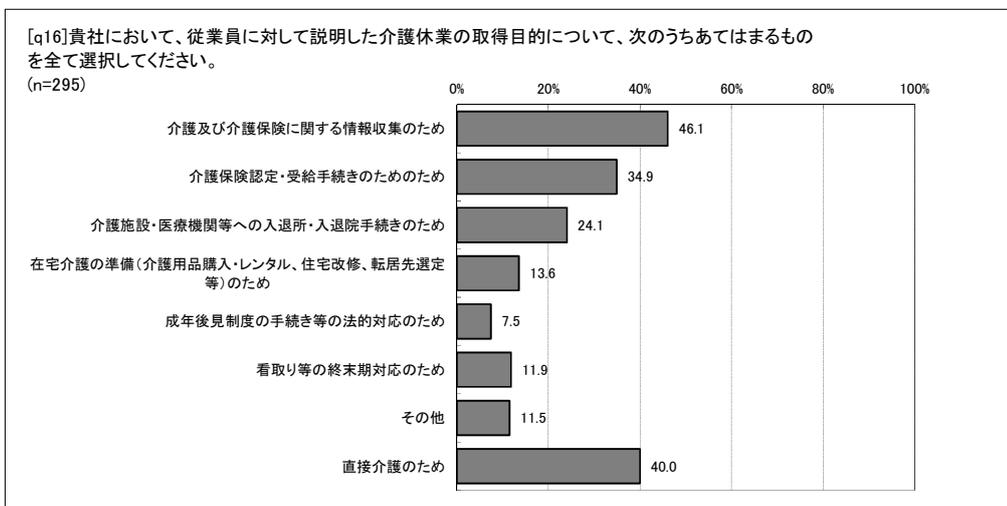
② 要介護状態の判断



※ここでいう「特に定めていない」は他の選択肢にあるような企業としての方針を定めていないことを指します。

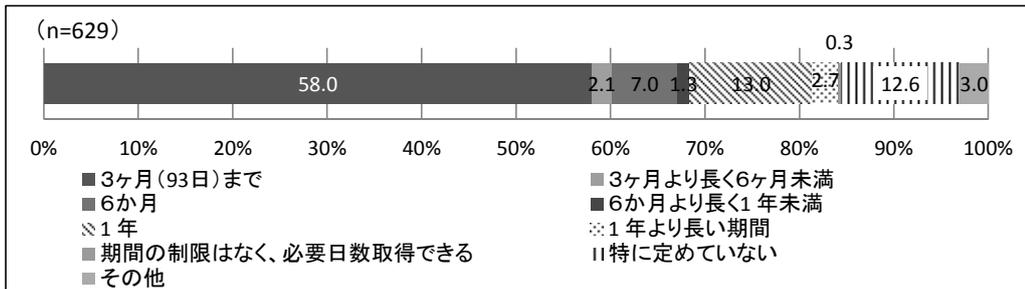
③ 用途の説明

【従業員に介護休業の用途を説明していると回答した企業のみ回答】



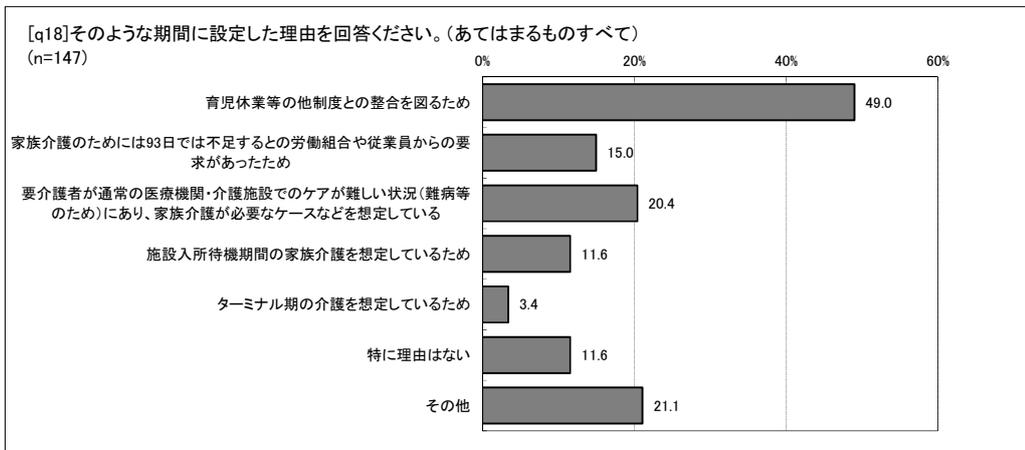
④ 介護休業最長限度

ア) 設定期間



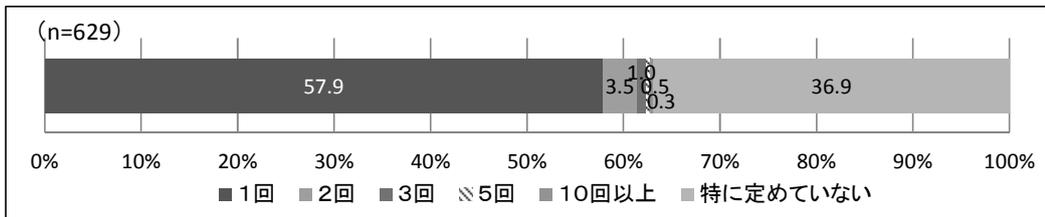
イ) 理由

【ア）で法定以上の水準の期間（「3ヶ月を超える期間」から「1年より長い期間」（期間の制限がない、特に定めていない、その他を除く））の回答があった企業のみ回答】



⑤ 介護休業分割取得

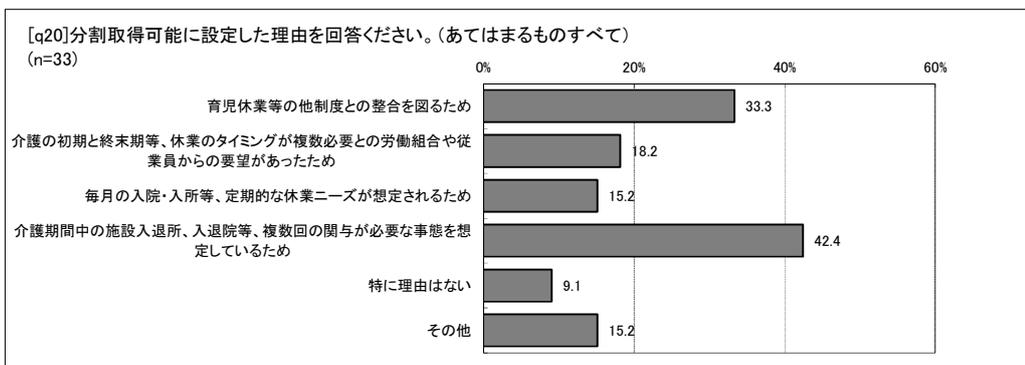
ア) 分割可能回数



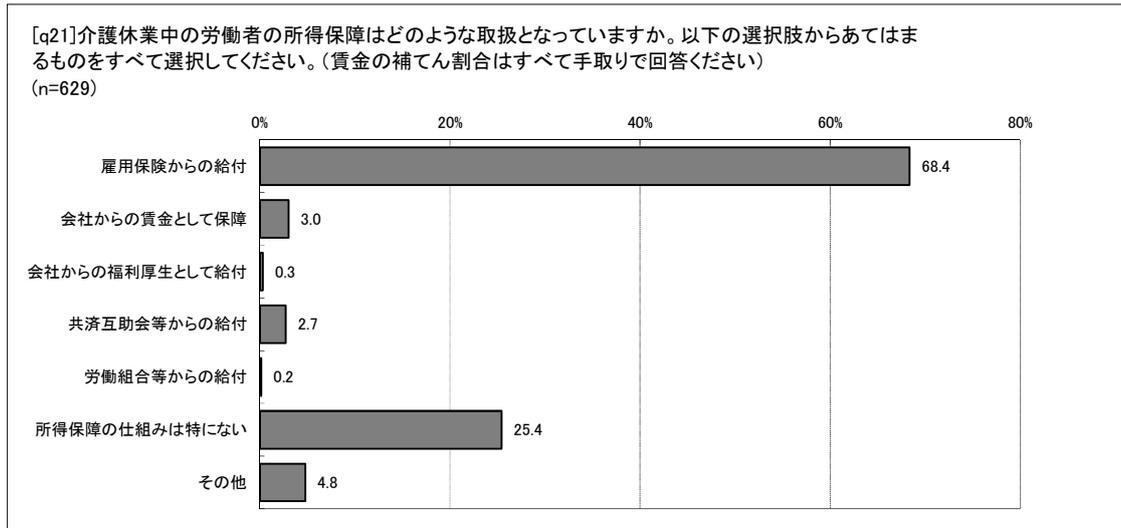
※分割可能回数「4回」、「6～9回」の回答は0件であった。

イ) 理由

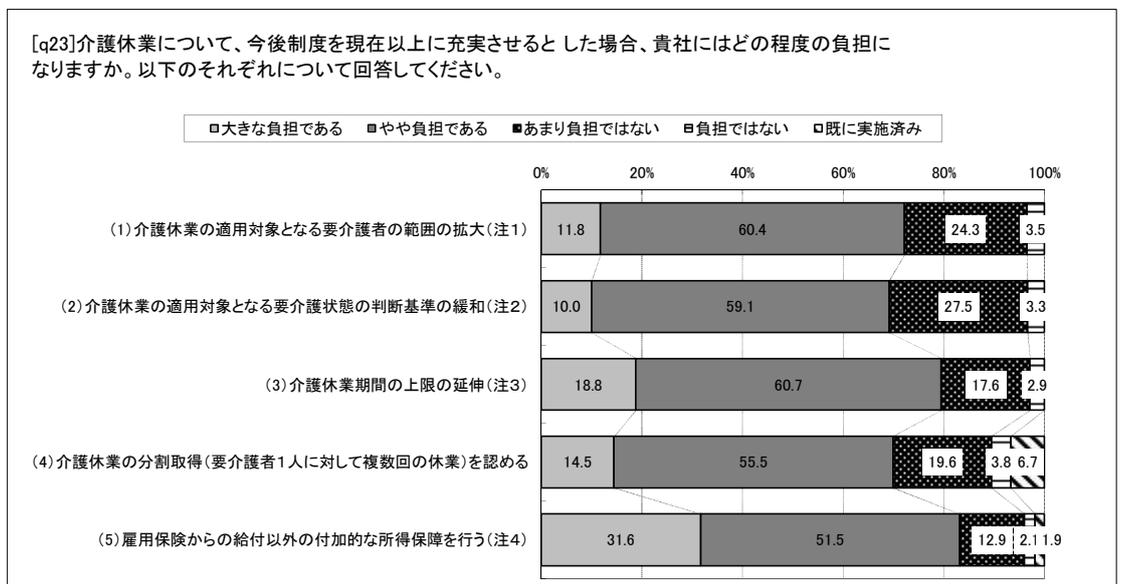
【ア）で法定を超える水準（「2回」から「10回以上」まで）の回答があった企業のみ回答】



⑥ 介護休業所得保障



⑦ 介護休業制度拡充に対する負担感



※既に法定以上の制度をお持ちの場合には、現在の貴社規定よりさらに拡大する場合、とお考えください。

注1：同居・扶養規定の緩和や配偶者の兄弟姉妹など、法定範囲からの拡大など

注2：「育児・介護休業法」における「要介護状態」の定義よりも軽微な状態でも対象とするなど

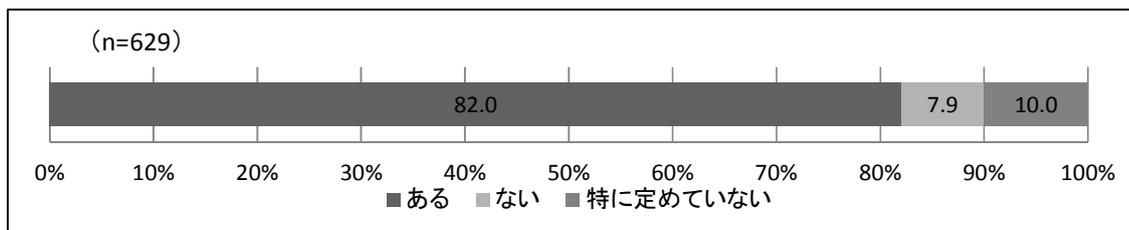
注3：「育児・介護休業法」における上限期間93日を超過する期間を設定するなど

注4：賃金として会社から支給されるもの、福利厚生として給付されるもの、共済互助会、労働組合等から給付されるものを含む

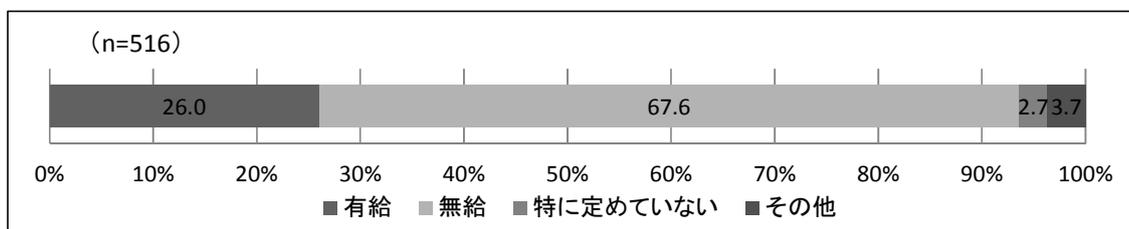
4) 介護休暇

- 介護休暇制度を持つ企業は82.0%であった。うち67.6%が無給の介護休暇であると回答。
- 介護休暇の取得単位は「1日単位」とするものが最も多く75.4%であった。「半日単位」は22.3%、「時間単位」は19.8%だった。
- 介護休暇の取得上限日数は「要介護者1人につき5日/年まで」が51.2%、次いで「特に定めていない」が25.4%であった。法定水準を超える設定を行っている理由は「子の看護休暇等の他制度との整合を図るため」が35.3%、次いで「特に理由はない」が31.8%であった。
- 介護休暇中の所得保障については「所得保障の仕組みは特にない」が58.5%、「年次有給休暇と同様の取扱」としたものが32.9%であった。
- 今後、介護休暇制度を拡充していくことに対する負担感について、「介護休暇の適用対象となる要介護者の範囲の拡大」に大きな負担感を感じる企業は11.9%、「介護休暇の適用対象となる要介護状態の判断基準の緩和」では10.5%、「介護休暇日数の上限の増加」は14.6%、「介護休暇の半日単位の取得を認める」は8.1%、「介護休暇の時間単位の取得を認める」は12.1%、「介護休暇の有給化」では25.9%であった。

① 介護休暇の有無

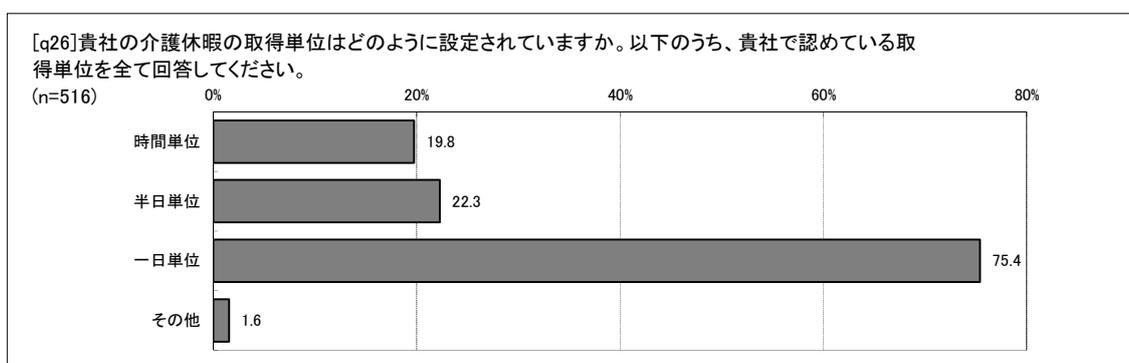


【介護休暇「あり」の場合、有給・無給の別】



② 介護休暇取得単位

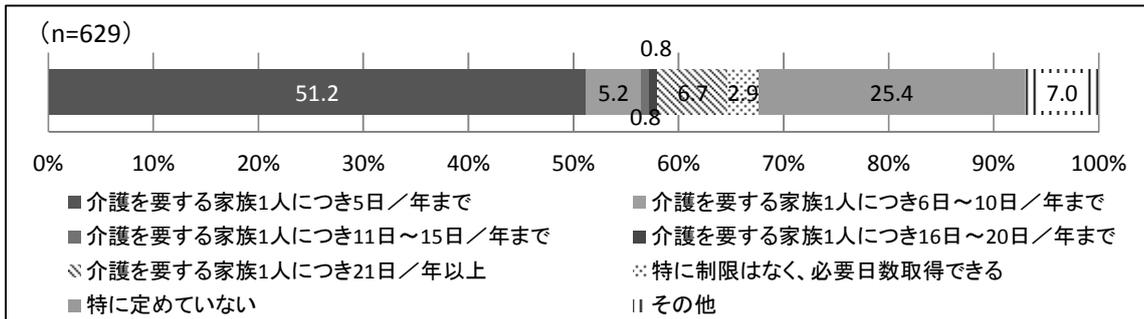
【① 介護休暇制度ありと回答した企業のみ回答】



③ 介護休暇取得可能日数上限

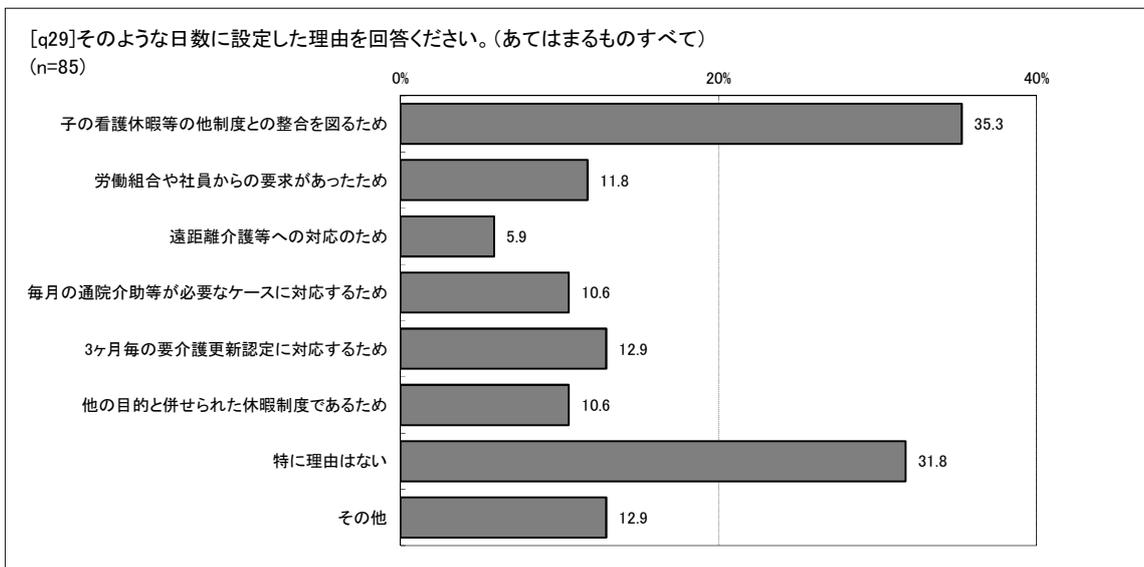
【①介護休暇制度ありと回答した企業のみ回答】

ア) 要介護者一人あたり取得可能日数

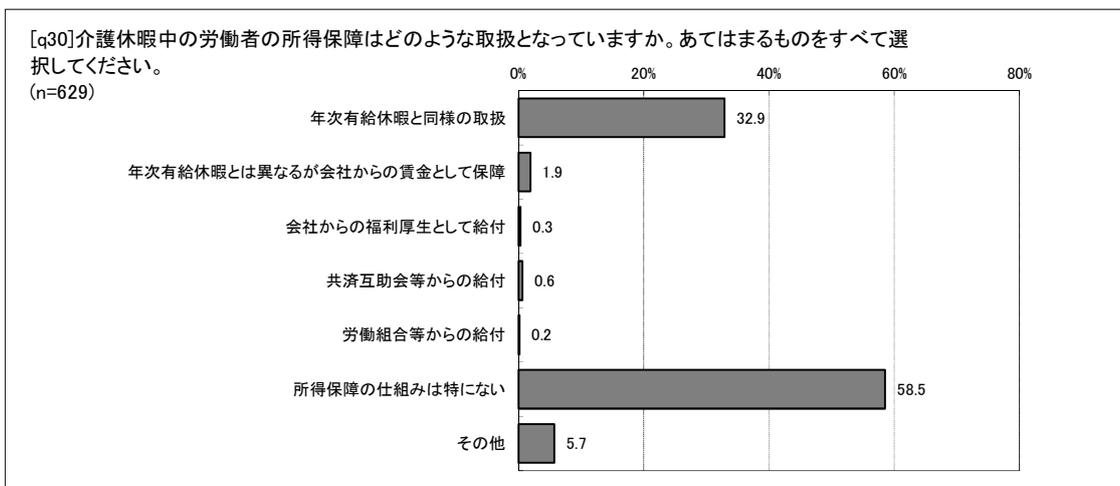


イ) 理由

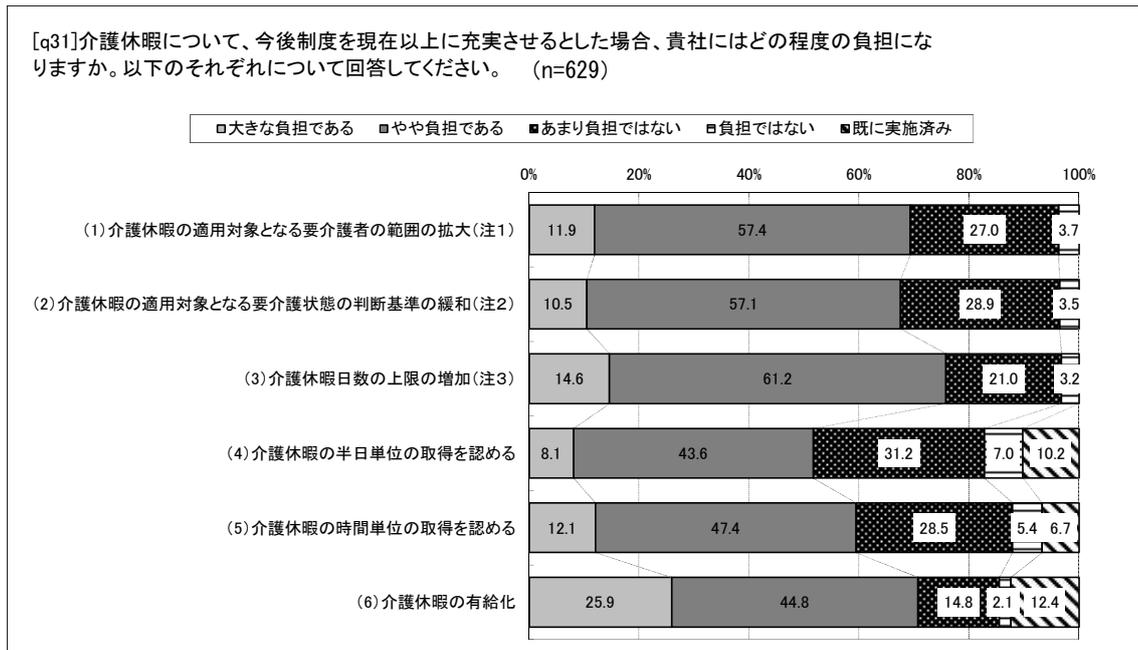
【ア) で6日以上/年の介護休暇が取得可能と回答した企業が回答】



④ 介護休暇中の所得保障



⑤ 介護休暇制度拡充に対する負担感



※既に法定以上の制度をお持ちの場合には、現在の貴社規定よりさらに拡大する場合、とお考えください。

注1：同居・扶養規定の緩和や配偶者の兄弟姉妹など、法定範囲からの拡大など

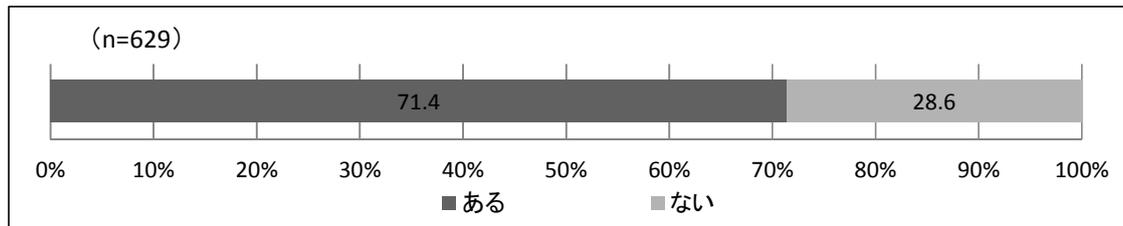
注2：「育児・介護休業法」における「要介護状態」の定義よりも軽微な状態でも対象とするなど

注3：「育児・介護休業法」における付与日数5日を越える日数の付与など

5) 介護を理由とした時短勤務

- 介護を理由とした時短勤務制度を有する企業は71.4%であった。
- 時短勤務の適用期間は「3ヶ月(93日)まで」が60.8%と最も多く、次いで「必要な期間だけ(期間は定めていない)」が13.1%であった。法定水準を超える期間設定の理由は「育児休業等の他制度との整合を図るため」との回答が52.8%と最も多かった。

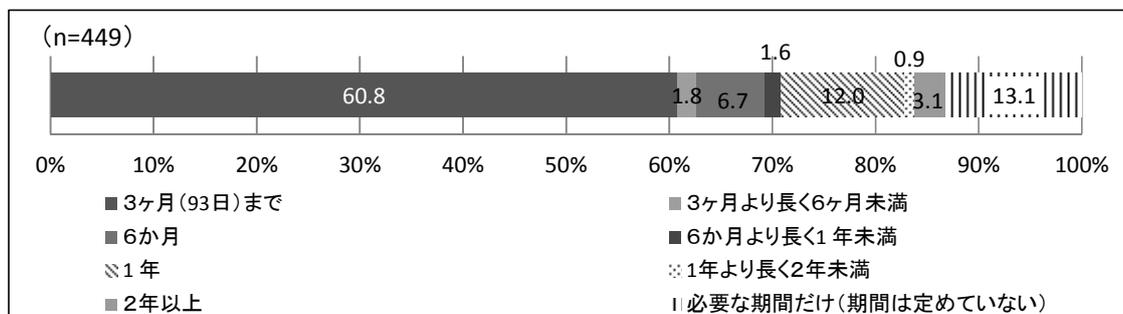
① 制度の有無



② 制度の適用可能期間

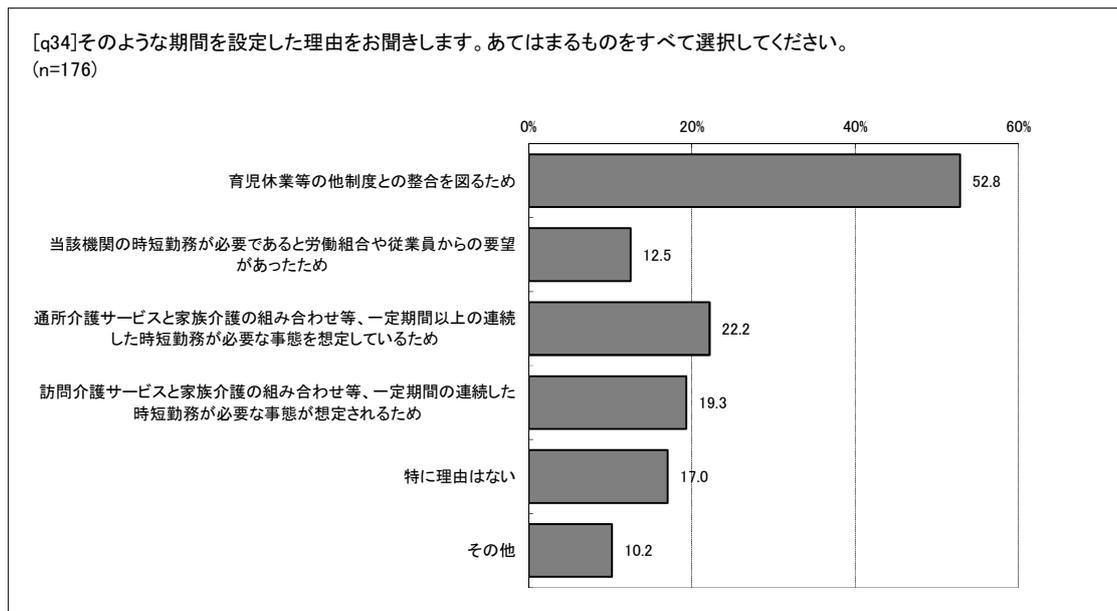
【①で制度ありと回答した企業のみ回答】

ア) 適用可能期間



イ) 理由

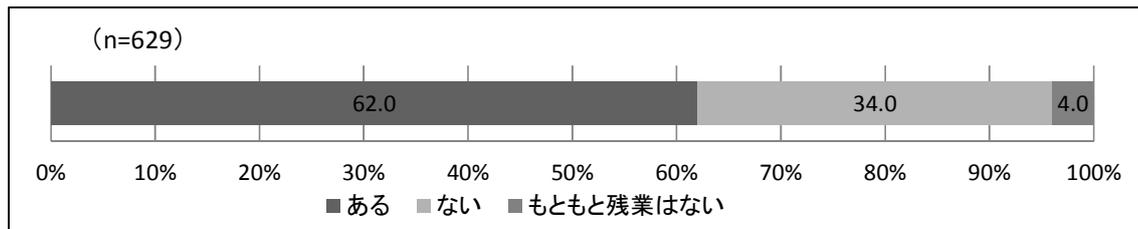
【ア)で「3ヶ月を超える期間」を回答した企業のみ回答】



6) 介護を理由とした残業免除

- 介護を理由とした残業免除の制度を有する企業は62.0%であった。
- 残業免除の適用期間は「1年」の回答が38.7%で最も多く、次いで「必要な期間だけ」が25.4%、「3ヶ月(93日)まで」が24.4%であった。
- 残業免除の方法については「残業時間に月単位で上限を設ける」が56.9%で最も多く、次いで「残業時間に年単位で上限を設ける」が47.2%、「一定の期間は一切の残業を免除する」が35.1%であった。

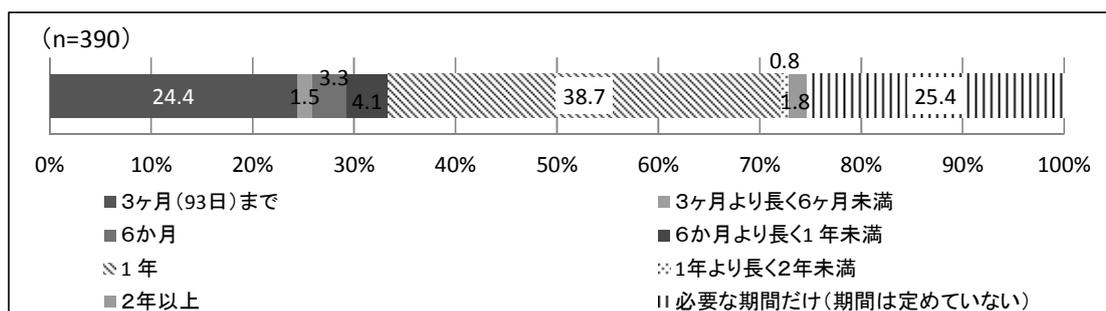
① 制度の有無



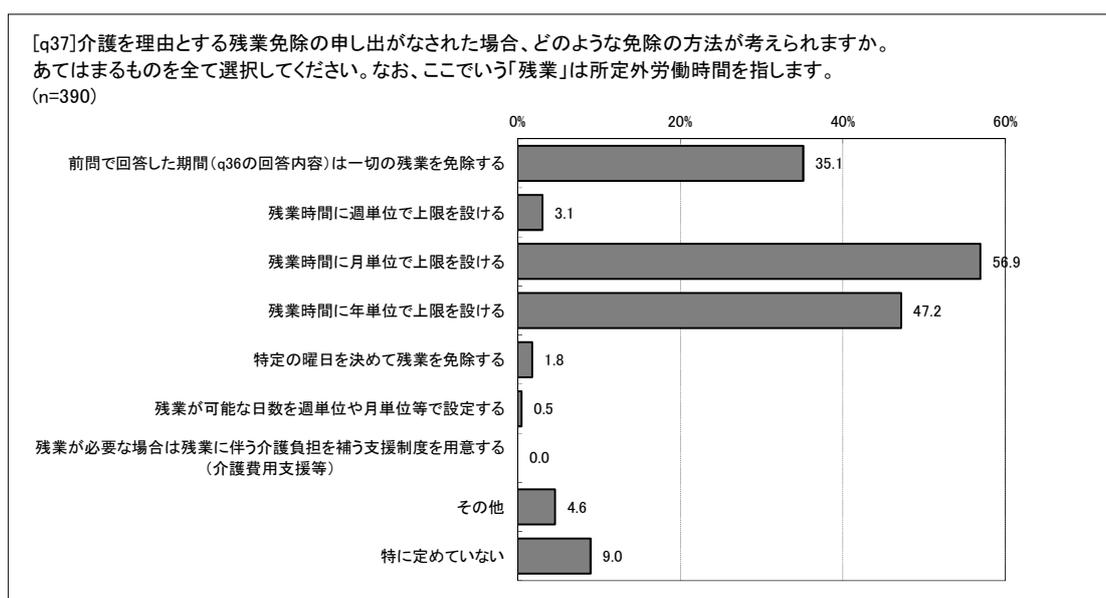
② 制度の適用可能期間

【①で制度ありと回答した企業のみ回答】

ア) 適用可能期間



イ) 残業免除の方法

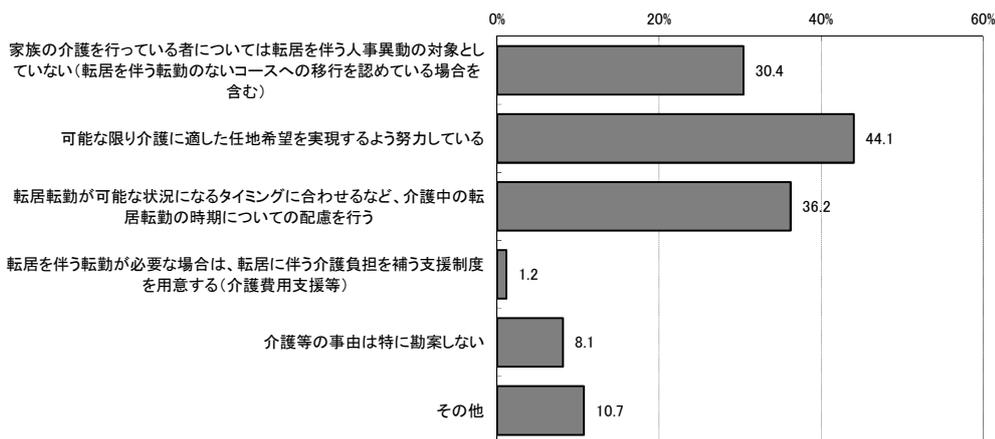


7) 転勤配慮

- 介護を理由とした転勤困難者に対しては、「可能な限り介護に適した任地希望を実現するよう努力している」との回答が44.1%で最も多く、次いで「転居転勤が可能な状況になるタイミングに合わせるなど、介護中の転居転勤の時期についての配慮を行う」が36.2%であった。

【転居を伴う転勤ありと回答した企業のみ回答】

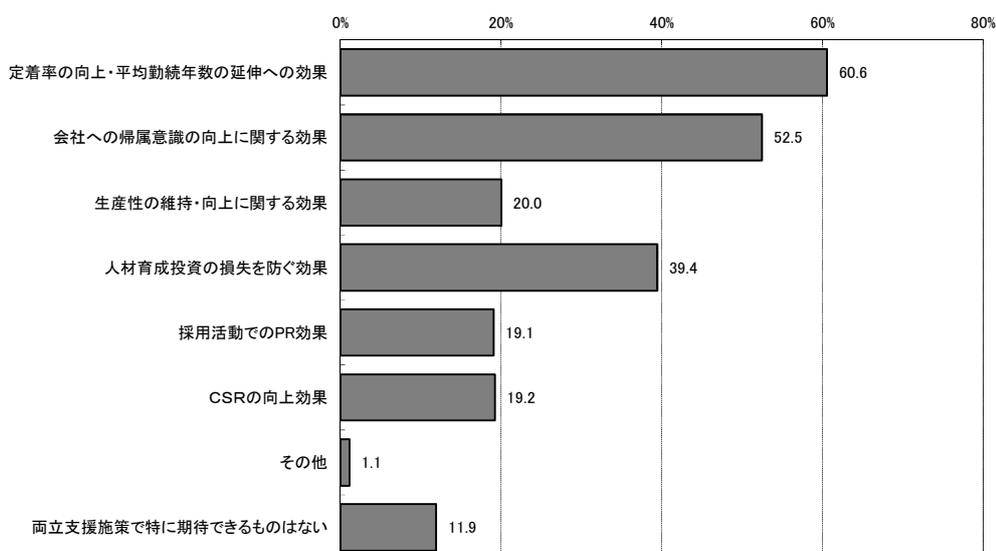
[q40] 家族の介護を理由とした転勤拒否や任地希望がなされた場合、どのように対応していますか。(あてはまるものを全て選択してください)
 (n=345)



8) 両立支援で期待される効果

- 仕事と介護の両立支援を行うことで期待される効果については「定着率の向上・平均勤続年数の延伸への効果」が60.6%で最も多く、次いで「会社への帰属意識の向上に関する効果」が52.5%、「人材育成投資の損失を防ぐ効果」が39.4%であった。

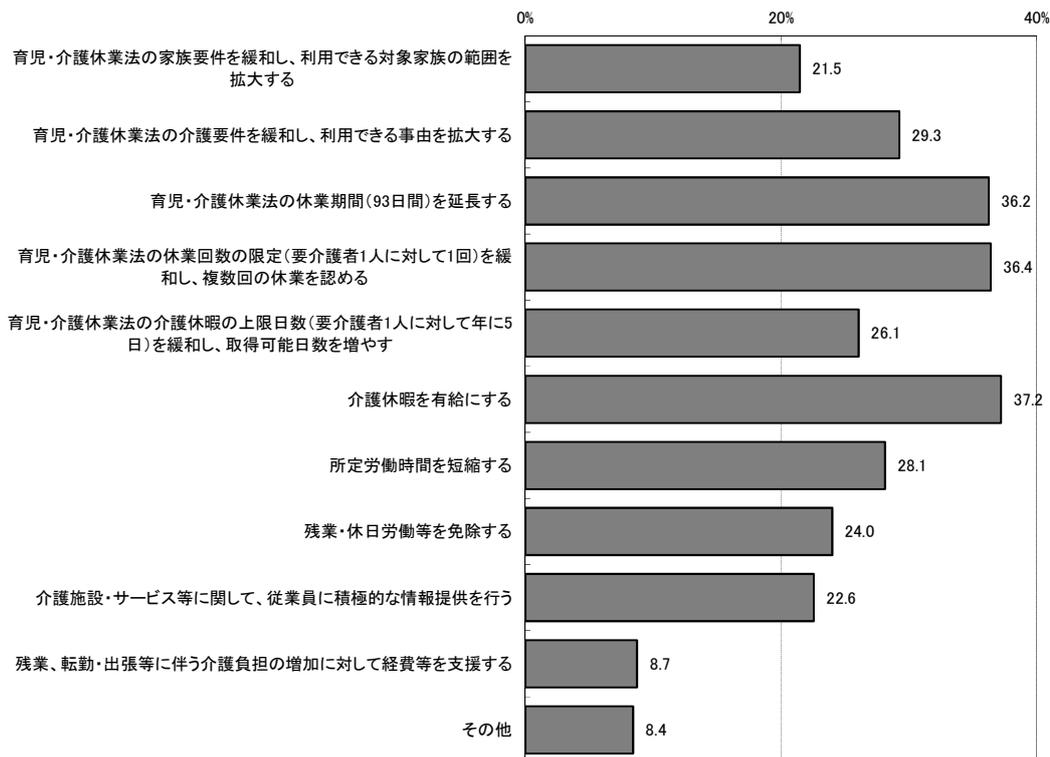
[q42] 仕事と介護の両立支援制度を整備することで、どのような効果が期待できますか。あてはまるものをすべて選択してください。
 (n=629)



9) 介護離職を防ぐために有効と考えられる方策

- 介護離職を防ぐための方策として有効と考えられるものとして「介護休暇を有給にする」が37.2%、「育児・介護休業法の休業回数の限定を緩和し、複数回の休業を認める」が36.4%「育児・介護休業法の休業期間(93日間)を延長する」が36.2%で高い割合の回答を得た。

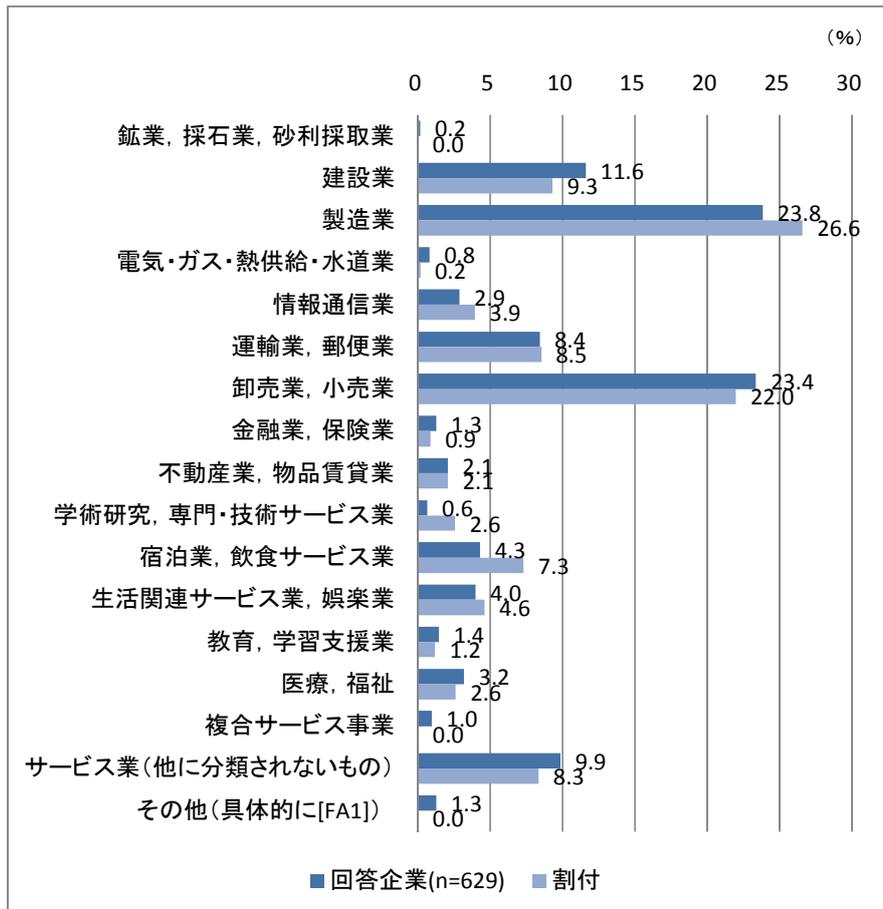
[q45]仕事と介護の両立を進める上で、どのような制度であれば介護離職を防ぐことができると考えますか。あてはまるものをすべて選択してください。
 (n=629)



10) 回答企業分布

- 企業調査については、経済センサスにおける産業別企業分布（農林水産・公務等を除く）を用いて信用調査データベースより比例抽出にて5,000件の発送名簿を作成・配布を実施。規模については従業員規模10～30人未満（1,500件）、30～100人未満（1,500件）、100～300人未満（1,000件）、300人以上（1,000件）の配分とした。
- 回収後の産業及び規模分布は割付設定に近似した比率となった。

① 業種



② 従業員規模

